

放課後子ども教室事例集

～第2回放課後子ども教室推進表彰教室～

放課後子ども教室事例集

～第2回放課後子ども教室推進表彰教室～



文部科学省

放課後子ども教室事例集
～第2回放課後子ども教室推進表彰教室～



文部科学省生涯学習政策局
放課後子どもプラン連携推進室

はじめに

文部科学省では、平成19年度より、全国の市町村が実施主体となり、放課後や週末等の子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、子どもたちに様々な活動を行う機会を提供する「放課後子ども教室推進事業」（放課後子どもプラン）を推進しております。

本事例集は、「第2回放課後子ども教室推進表彰式」において、表彰を受けられた全国各地の「放課後子ども教室」の優れた取組を広く紹介するために作成いたしました。

今後とも、各地域の取組を参考に、「放課後子ども教室推進事業」の更なる推進並びに一層の活動内容の充実のために御活用いただければ幸いに存じます。

末筆ですが、本事例集の作成にあたりまして、関係者の皆様方の多大な御協力をいただきましたことに心から感謝申し上げます次第です。

文部科学省生涯学習政策局
放課後子どもプラン連携推進室

目次

はじめに 1

第2回放課後子ども教室推進表彰教室

都道府県			実施場所	活動の特徴	学習活動	他事業との連携	
北海道	釧路町	とみはら放課後子ども教室	学内	自由	自主	児ク 本部	4
青森県	東北町	甲地小学区放課後子ども教室	学内	プロ	連携		5
岩手県	普代村	ふだいっ子広場	学外	自由	自主		6
宮城県	丸森町	筆っ子クラブ	学内	自由	自主		7
秋田県	由利本荘市	新山いきいき教室	学内	プロ	自主		8
山形県	鶴岡市	上郷地区放課後子ども教室	学外	自由	自主		9
福島県	川俣町	小島たのしい教室	学外	自由	連携		10
茨城県	常陸大宮市	小瀬っ子放課後子ども教室	学内	プロ	自主		11
栃木県	小山市	間小っ子ふれあいひろば	学内	自由	自主	児ク 本部	12
群馬県	昭和村	東小子ども教室	学内	自由		児ク	13
埼玉県	北本市	西小学校放課後子ども教室	学内	プロ	自主	本部	14
千葉県	四街道市	四街道地域子ども教室 “まじゅりんご”	学外	自由	自主		15
東京都	品川区	すまいるスクール伊藤学園	学内	プロ	自主 連携	本部	16
	葛飾区	綾南小学校わんぱく広場	学内	自由	自主		17
	三鷹市	中原はちのすけクラブ	学内	自由	プロ	児ク	18
	府中市	放課後子ども教室「府中第十小学校」	学内	自由	自主	児ク	19
	小平市	小平八小キラキラ☆らんど	学内	プロ	自主	児ク	20
	日野市	三小ひのっち	学内	自由	自主	児ク 本部	21
	福生市	六小ふっさっ子の広場	学内	自由	自主	児ク	22
	神奈川県	大和市	渋谷さんりんわんぱく広場	学内	プロ	自主	
新潟県	阿賀町	ふるさと学習クラブ	学外	自由	自主	児ク	24
富山県	上市町	元気ッズ「陽南教室」	学内	自由	自主		25
福井県	勝山市	野向子ども教室	学外	プロ	自主	児ク	26
山梨県	笛吹市	笛吹市放課後子ども教室	学内	プロ	連携		27
長野県	高森町	高森町ふれあいクラブ	学内	自由	自主	児ク	28
岐阜県	中津川市	下野放課後クラブ	学内	自由	自主 連携		29
愛知県	幸田町	荻谷放課後子ども教室	学内	自由	自主	児ク	30
三重県	いなべ市	いなべコミュニティスクール	学外	プロ	自主	児ク	31
京都府	長岡京市	長五小すくすく教室	学内	プロ	自主 連携	児ク	32
大阪府	茨木市	郡小学校区放課後子ども教室	学内 学外	自由	自主	児ク 本部	33
兵庫県	宝塚市	仁川小 放課後遊ぼう会	学内	自由	自主	児ク	34
和歌山県	白浜町	わあいわあい子ども教室	学外	プロ	自主		35
鳥取県	岩美町	さくらんぼキッズ教室	学内	プロ	連携	児ク	36
島根県	益田市	安田ボランティアハウス千鳥園	学外	自由	自主	児ク	37
岡山県	玉野市	玉野市地域子ども楽級	学内 学外	プロ	自主	児ク 本部	38
広島県	安芸太田町	加計小学校放課後子ども教室	学内	自由	自主		39
山口県	萩市	むつみ生涯学習資料館放課後子ども教室	学外	自由	自主	児ク	40
徳島県	徳島市	とみだアフタースクール	学内	自由	自主		41
香川県	土庄町	土庄町放課後子ども教室	学内 学外	自由	自主 連携		42
愛媛県	西条市	飯岡小学校放課後子ども教室	学内	自由	自主		43
高知県	日高村	能津放課後子ども教室	学外	自由	自主		44
佐賀県	唐津市	大良子ども教室	学外	自由	自主		45
長崎県	鹿町町	歌浦小学校区子ども教室	学内	プロ	連携	児ク 本部	46
熊本県	宇城市	松合小学校放課後子ども教室	学内	プロ	連携		47

都道府県

			実施場所	活動の特徴	学習活動	他事業との連携	
大分県	別府市	中部地区公民館放課後子ども教室	学外	プロ	自主	児ク	48
宮崎県	延岡市	名水っ子放課後子ども教室	学内	自由	プロ	自主	49
鹿児島県	喜界町	あらかわらび教室	学内	学外	プロ		50
沖縄県	那覇市	若狭小ふれあい教室	学内	プロ	自主	児ク	51

指定都市

			実施場所	活動の特徴	学習活動	他事業との連携	
宮城県	仙台市	西中田コミュニティスクール	学内	プロ	連携	児ク 本部	52
神奈川県	横浜市	中丸小学校放課後キッズクラブ	学内	自由	自主		53
		川上小はまっ子ふれあいスクール	学内	自由	自主	児ク 本部	54
新潟県	新潟市	関屋ふれあいらんど	学内	自由	自主	本部	55
愛知県	名古屋市	東山小学校トワイライトスクール	学内	プロ	自主		56
		矢田小学校トワイライトスクール	学内	プロ	自主		57
		放課後子どもプラン弥富	学内	プロ	自主	児ク	58
		小幡小学校トワイライトスクール	学内	プロ	自主		59
		常安小学校トワイライトスクール	学内	プロ	自主		60
		引山小学校トワイライトスクール	学内	プロ	自主		61
京都府	京都市	安井小学校放課後まなび教室	学内	自由	自主	児ク	62
大阪府	大阪市	九条北小学校いきいき活動放課後子ども教室	学内	自由	自主		63
		本田小学校いきいき活動放課後子ども教室	学内	自由	自主		64
		出来島小学校いきいき活動放課後子ども教室	学内	自由	自主		65
		新高小学校いきいき活動放課後子ども教室	学内	自由	自主		66
		東小路小学校いきいき活動放課後子ども教室	学内	自由	自主		67
		瓜破西小学校いきいき活動放課後子ども教室	学内	自由	自主	児ク	68

中核市

			実施場所	活動の特徴	学習活動	他事業との連携	
秋田県	秋田市	港北放課後子ども教室	学外	プロ	自主		69
愛知県	豊橋市	高山放課後子ども教室	学外	自由	自主		70
兵庫県	尼崎市	浦風こどもクラブ	学内	自由	自主		71
愛媛県	松山市	坂本放課後子ども教室きらきらクラブ	学内	プロ	自主		72
高知県	高知市	こどもひろば	学内	自由	自主		73
宮崎県	宮崎市	宮崎西小放課後子ども教室「西小っ子クラブ」	学内	自由	自主		74

参考資料

第2回放課後子ども教室推進表彰について	75
放課後子ども教室推進事業について	76
放課後子ども教室推進表彰要項	79

本事例集では、表彰教室の形態や特徴について、下記の内容により区分しています。

①実施場所について

学校内(学内) ……学校の空き教室や学校敷地内の施設を活用している。
 学校外(学外) ……児童館や公民館などの公共施設または民間施設を活用している。

②活動の特徴について

自由活動型(自由) ……子ども達の自主的な活動を基本とし、活動の多くを自由な時間(学び・遊び)としている。
 プログラム型(プロ) ……自由な時間(遊び・学び)以外でメニュー化したプログラムや活動を行う日が多い。

③学習活動の推進状況について

自主学習(自主) ……家庭学習の習慣づけなど、自主的な学習活動を推進している。
 学校と連携(連携) ……学校との定期的な打ち合わせや学習教材の活用など、日常的に学校と連携した学習活動を推進している。

④他事業との連携について

児童クラブ(児ク) ……放課後児童クラブと一体的実施あるいはプログラム等を共同実施するなどの連携がされている。
 支援本部(本部) ……学校支援地域本部事業とコーディネーターが兼務していたり、日ごろ安全管理員などの人的交流または情報交流を行うなどの連携がされている。

とみはら放課後子ども教室【北海道釧路町】

～地域の子どもは、地域で守り育てる～

◆事業の目的・理念

- 富原小学校区の家庭状況は現在、共働き世代が多く、子どもたちが帰宅しても一人で過ごすことが多いため、子どもたちが安心、安全に交流でき、集える場所として設置した。
- 安全管理員や学習アドバイザー、一般ボランティアなどの地域の大人が放課後子ども教室に参加し、世代間を越えた交流が図られている。今後、より地域の人の理解と協力を得るために会場を開放し、気軽に参加でき、地域の人が共に学びあえる「共室」を目指す。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	216日/年間	
参加人数	18人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	●	—
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	●	●

教室の実施場所

- 富原小学校の多目的教室、交流室、体育館、前庭など
- 土曜日の特別プログラムなどは、野外や社会教育施設等でも実施

教室の開催日

- 月～金曜日 授業終業後～17:30(学校で定めた帰宅時刻の30分前まで開室)
- 土曜日 不定期で「創作体験」、「野外体験」、「お楽しみ会」などのプログラムを実施
※土曜日等に開催するプログラムは、全町内の小中学生を対象として交流を図っている
- 長期休業時 13:00～17:00(冬期15:30)プログラム内容、実施日などは、スタッフミーティングの中で決定している

参加対象者

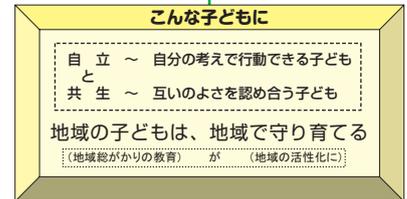
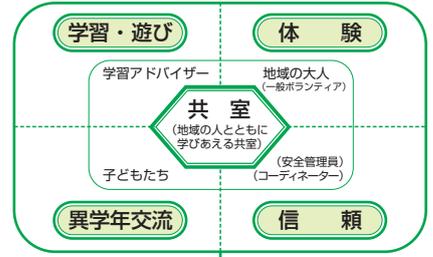
- 富原小学校に在籍する小学生全員 ※全児童数678名に対し、163名が登録(加入率24%)

申込み手続きなど

- 新年度に学校を通じて全校生徒に配布し、子ども教室で申込書受付、教育委員会へ提出。
- 登録料：年間1千円(保険代・教材費等)、他に必要に応じて教材費の実費負担がある。

【釧路町放課後対策事業理念】

～子ども教室でこんな子どもに育ってほしい～



活動内容

- 通常の開室日～教室に来てから30分間は「学習時間」を設けており、子どもたちは、安全管理員や学習アドバイザーから学習のサポートを受けながら宿題や復習など自主学習を行なっている。火曜日と木曜日は体育館の日として同好会活動が開始されるまで、自由に遊ぶことができ人気がある。また、スタッフによる絵本の読み聞かせや、一般ボランティアによる「将棋、囲碁の日」、「編み物の日」など設けている。
- 土曜日プログラム～地域間交流事業として位置付けて開催し、釧路町内の各小・中学校、児童館及び保護者などを対象として実施している。過去に行なった事業では、「キャンドル教室」、「考古学教室～勾玉づくり」、「デイキャンプ」などを実施。
- 長期休業プログラム～スタッフミーティングで実施内容を決定し、「宿題の日」や「工作の日」として実施している。「工作の日」では、「凧作り」、「マイはしづくり」などを実施。



翌月の子ども教室の利用予定が記された「TOKOだより」(コーディネーター作成)が学校から児童に毎月配付される



低～高学年が、宿題やそれぞれの学年にあったプリントを選択して一緒に勉強する



町内の小・中学生、保護者全員を対象として、交流、自然体験を目的とした地域間交流事業

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 一般ボランティアは随時募集を行なっている。コーディネーター及び安全管理員、学習アドバイザーについては、大学生を含めた地域の人材から選出している。
- 配置人数 コーディネーター1名、安全管理員3名、学習アドバイザー1名、その他一般ボランティアで対応をしている。
- 学校・学級担任とは、毎日密接に情報交換している。
- 安全管理員が学校支援地域本部事業のコーディネーターを兼ねているため、事業の連携がスムーズに図られている。

事業を実施して

- 平成19年9月に「とみはら放課後子ども教室」がスタートし、最初は戸惑い気味であった「学校」、「子ども」、「保護者」にも徐々に浸透し、現在では、「学校内の放課後子ども教室で、放課後に子どもたちが自由に活動している風景」が当たり前ようになってきた。教室では、「高学年が低学年に勉強や遊びを教える」、「一般ボランティアのおじいちゃんに将棋を教えてもらう」など、異学年交流や地域の方々との「ふれあいの場」になっている。
- 事業の運営方針は、コーディネーター及び教頭、PTAらで構成されている釧路町放課後対策事業運営委員会で協議し、現場や保護者からの声が反映されるよう努めている。また、実際のプログラムは、月に一度開催されるスタッフミーティング内でスタッフ間の情報を共有しながら検討している。この事業を通じて「地域で子どもを見守る」といった意識を醸成していきたい。

甲地小学区放課後子ども教室【青森県東北町】

◆事業の目的・理念

●放課後や週末等に小学校を活用し、地域の方や関係機関等の参画を得て、子どもたちとともに学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の取り組みを実施する。このことにより、子どもたちの学習の定着が習慣化し、将来子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれるような環境づくりを推進する。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	278日/年間	
参加人数	24人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

●甲地小学校内
図工・生活科室、多目的教室

参加対象者

●小学校1年生～3年生

教室の開催日

●月～金曜日 13:00～18:00 ●土曜日 7:45～18:00
※平成20年度実績：年間開設日数 281日 延べ6,374人(1日平均 約23人)

申込み手続きなど

- 新1年生1日入学の機会に、保護者対象説明会を開催。
- 保護者は、5時会員・6時会員のいずれかを選択し、申込書に記入。
- 年会費(3,000円)は、後日の通知によって納入。
- 加入申込は、町立図書館・各子ども教室・中央公民館等で受付。



日本舞踊講座

活動内容

活動の準備(2階図工室)

- 名簿に、各自出席のスタンプを押し、連絡ファイルを提出
- 個別音読を、指導員に聞いてもらう
- 読み聞かせや紙芝居などを視聴

学習活動の時間(1階多目的教室)

- 宿題・課題に各自取り組み、学習指導員に学習相談(子ども教室での宿題学習は、学校学級担任とともに了解)
- 学習いす(パイプいす)や消しゴムくずの後始末

自由遊び等の時間(2階図工室)

- グループか個人で自由遊び(お絵かき、折り紙、ブロック組み、積み木、工作、カルタ、トランプ、ドミノ、ままごとセットほか)
- TV番組やDVDを視聴
- 車椅子児童(男子1名)や大手術病後児(女子1名)と、共同活動しながら、約束ごとを守る…(よく守られている)
- 特別支援学級児童(男子1名)との活動も、分け隔てしない…(自然体でなされている)

活動終了

- 各自遊びの後片付け
- 連絡ファイルを受け取って帰る(ほとんど保護者の迎え)

特設講座

- ①日本舞踊講座
日舞教室主宰講師により月4回
- ②リトミック講座
ピアノ教室講師により月1～2回

年間行事

- ①調理実習
町施設で町栄養士が指導
- ②ヘルシーっ子教室出前講座
町保健衛生課主催
- ③日本舞踊発表会・施設慰問
講師、保護者、施設の協力

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
 - ①教室主事(コーディネーター)
短大卒以上で、幼稚園教諭免許又は保育士の資格を有し、学童クラブの指導員の経験をもつ者。
 - ②学習指導員(学習アドバイザー)
短大卒以上の者。
 - ③子ども支援員(安全管理員)
高校卒以上の者。
- 配置人数
教室主事(コーディネーター)を1人、学習指導員(学習アドバイザー)を1人、子ども支援員(安全管理員)を2人を配置。*学習指導員は、安全管理も兼ねる。
- 学校・学級担任とは、毎日密接に情報交換している。
- 保護者との情報交換は、子ども教室との連絡が過重にならない程度に工夫し継続している。
(連絡ファイル相互記入・児童送迎時の会話・月刊教室だより・保護者あて文書・電話連絡など)



リトミック講座：音楽に合わせて自由に表現したりする楽しい音楽遊びです

事業を実施して

- 農林水産地域の子どもの教室ではあるが、下校後や長期休業等の預かりの基盤として十分に機能している。
- 地域や保護者の期待を担って、学習相談にウェイトをおいている。
- 学級と重なる季節の行事は行わないがさしたる不満はない。
- 子どもたちも楽しみにしている自由遊びの時間は必ず確保している。
- 準備や後片付けは、可能な限り子どもたち自身に行わせている。
- 日本舞踊やリトミックの講座導入で、なじみの薄かった文化にも、子どもや保護者の関心が向いてきた。

ふだいっ子広場【岩手県普代村】

～子どもの素顔が見える場所～

◆事業の目的・理念

- 学校や社会教育施設等に安全・安心に活動できる子どもの居場所を設け、地域の大人の協力を得て、小中学生を対象とした放課後や週末におけるスポーツ・文化活動等の様々な体験活動を通じた地域住民との交流活動を進める。
- 働く親の支援のため、村保健福祉課と連携し延長利用を実施する。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	260日/年間	
参加人数	14人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

- ふれあい交流センター(旧村役場庁舎)
- 普代村社会体育館

教室の開催日

- 月～金曜日 15:00～17:00 ●土曜日 9:00～12:00
- 延長利用(月～金) 17:00～19:00

参加対象者

- 普代小学校の学区内に在住する小・中学生
- 延長利用については村内の全小学生

申込み手続きなど

- 申込み手続きは不要。自由に参加し、参加者は受付簿に名前と時間を記入。
- 延長利用の希望者は、申込用紙を教育委員会事務局に提出。



体育館の日は大人気！

活動内容

- 施設内の設備を利用した自由遊びが中心。(卓球、パソコン、折り紙等)
- 体育館で開催の時はバレー、バドミントン、バスケット、長縄跳び等。
- 自主的に学校の宿題に取り組む子どもが多く、学習アドバイザーが支援を行っている。
- 不定期に他事業との合同開催やゲストを招いたイベント等を行っている。
- 村内で学童保育の実施が無いため、希望者は延長利用で対応している。村内の他の2つの教室にも迎えのバスを出し、ふだいっ子広場で延長利用が出来るようにしている。(延長の時間は17:00～19:00)



登録制で19時まで利用可能
必ず保護者が迎えに来る 小学校の長期休暇中も利用可能



みんなで長縄跳び

コーディネーターや地域の方々などの参加

●採用・募集

村内全戸にチラシを配布し公募のうえ面接

●配置人数

コーディネーター 1名
学習アドバイザー 1名
安全管理員 2名
週に1日、老人クラブの方が安全管理員として参加

事業を実施して

- 放課後の居場所として定着し、学校でも家庭でもない「子どもの空間」での素の子どもの表情が見られ、自主的な活動に広がりがでている。
- 延長利用の実施により、保護者のニーズに応え、子どもたちもその時間を有意義に過ごすことができている。
- コーディネーター等の指導者が積極的に活動し、他の事業にもボランティアとして参加していて、人材育成の効果も出ている。

筆っ子クラブ【宮城県丸森町】

～学校・家庭・地域・行政が一体となった取組～

◆事業の目的・理念

- 「地域の子どもは、地域で育てる。」という方針の下、学校を拠点として子どもたちが安全・安心に放課後を過ごす場所を求める地域の要望に応え、学校・家庭・地域・行政が連携・協力して子どもたちの健全育成にあたる。子ども相互の遊びを主とする体験活動などをとおして、心豊かでたくましい子どもを育てることを目的とする。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	●	—
参加人数	193日／年間 4人／1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	●	—
他事業との連携	自主学習	学校と連携
	●	—
	児童クラブ	支援本部
	—	—

教室の実施場所

- 丸森町立筆甫小学校「筆っ子クラブ」専用教室

教室の開催日

- 当該小学校の授業日(月～金曜日)
下校時刻(午後4時)から午後6時まで

参加対象者

- 筆甫小学校に在籍する小学校1年生～6年生(全児童対象)

申込み手続きなど

- 「放課後子ども教室登録申込書」に必要事項を記入し、教育委員会生涯学習班あて郵送で申し込む。保険料として、児童一人あたり800円(年額)を徴収する。



家族的な雰囲気の中での活動

活動内容

- 筆甫小学校は山間部に位置する全校児童19名の小規模校である。学区が非常に広く、10km以上の距離を通学してくる児童もいる。保護者の送迎が必要とされる事情もあり、活動時間は学校の下校時刻である午後4時から保護者が迎えにくる午後6時までとなっている。
- 午後4時まで児童は、恵まれた自然環境の中、校地内で自由に活動する。その後、校舎内にある放課後子ども教室専用の教室で地域の指導者との交流活動を行う。
- 活動の中に、宿題に取り組む時間を設け、指導者が学習アドバイザーを兼ねて学習活動を行っている。専用教室には、短作文用紙やスケッチブック等が準備されており、児童が自由に表現活動ができるようになっている。
- 指導員との交流活動として、こま回し、竹トンボ、メンコ、お手玉といった「昔の遊び」をととした活動を行っている。



読み聞かせをする児童

授業終了後～ 校庭等で自由に友達と遊ぶ
16:00～ 筆っ子クラブ開始(元気にあいさつをして教室に入ります)
本の読み聞かせ など
16:30頃～ 宿題の時間(各々の課題に取り組みます)
17:00頃～ 自由遊び(お絵かき・昔遊びなど)
※保護者が迎えに来た児童から元気に帰りのあいさつをして順次お帰ります。

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
地域の方々のお力を借りて子どもを育成するため、地域の各種団体やPTA等に趣旨を理解していただき、協力を得ている。
- 配置人数
毎日1名の安全管理員により運営している。
- 学期に1回程度、安全管理員・学校・教育委員会が一堂に会し、意見交換や子どもたちの様子などについての情報交換を行い、よりよい運営を目指している。

事業を実施して

- 放課後子ども教室を実施して、登録児童がのびのびと活動する姿が見られる。児童同士の縦のつながりがとても強くなり、児童自ら下級生の面倒をみる姿がとても印象的で、学校生活とは異なる関係づくりが見られ、児童の精神的な成長が感じられる。
また、地域の大人の方との交流も、新たな人間関係の構築に寄与しており、児童の成長に良い影響を与えていると感じられる。
- 安全管理員の方々も、放課後子ども教室に関わったことによって、「地域の子」という気持ちを更に強くし、我が子・我が孫の気持ちで児童に接していると感じられるようになっていく。
また、児童一人ひとりの性格や行動を理解した上で、各々の接し方を管理員同士で情報交換するなど、児童が過ごしやすく、より良く成長できるよう子どもに向き合う姿が見られる。

新山いきいき教室【秋田県由利本荘市】

◆事業の目的・理念

- 放課後や週末等に小学校の余裕教室等を利用して、子ども達の安全・安心な居場所を設け、各種団体や地域の大人の参画を得て学習や文化活動などの様々な体験活動を行う。また、活動を通して大人と子ども、異学年の子どもが交流し、社会性や公共性、自主性等の豊かな人間性を涵養する。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	157日/年間	
参加人数	54人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	—	●
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	—	—

教室の実施場所

- 新山小学校教室(絵本の部屋)、なかよしホールなど

教室の開催日

- 月～金曜日 13:30～16:00

参加対象者

- 新山小学校の学区内に在住する小学生

申込み手続きなど

- 外国語教室(英語、ハングル語)とパソコン教室は事前の申込みが必要。それ以外は自由参加。



ハングル語教室

活動内容

- 自主学習の支援の他、パソコン教室・外国語教室(英語、ハングル語)、踊りの教室を実施している。
- パソコン教室等の各教室では特技や知識を持った地域の大人が講師として参加している。
- 踊りの教室では地域行事への参加(青年会議所主催「菖蒲カーニバル」等)や高齢者福祉施設を訪問しての踊り披露など、地域と積極的に関わりをもつ活動が展開されている。

平成21年度の主な活動

月	13:30～14:30	15:00～16:00
月	英語で遊ぼう (1～2年生対象)	英語で遊ぼう (3年生以上対象)
火	14:30～16:00 絵本の教室(放課後学習)	
水	14:30～16:00 絵本の教室(放課後学習)	
木	14:30～16:00 絵本の教室(放課後学習)	
金	14:30～16:00 パソコン教室(パソコンで遊ぼう)	



踊りの教室(高齢者施設の訪問)

コーディネーターや地域の方々などの参加

- コーディネーター**
活動の企画と教室スタッフの日程調整や学校との連絡調整等、教室の活動に関わる総合的な運営調整を担当する。教室に1名配置する。
- 安全管理員**
参加児童の活動支援や安全管理を行う。新山いきいき教室は12名の方が登録。
- 学習アドバイザー**
活動で特に内容の充実を図りたい場合に配置する。新山いきいき教室ではパソコン教室と踊りの教室で学習アドバイザーを配置している。

事業を実施して

<コーディネーターから>

- 安全管理員の方々には、学校との調整を密にさせていただき、とても良い形で実施されていると感じている。参加している子どもたちも、放課後のこの教室をとても楽しみにしており、安心して過ごせることや、色々な話を聞いてもらえるということもあり、子どもたちの心の安定にもつながっているように感じる。
- 学校を開き、地域の方々や保護者の方々と共に子どもを育てていこうとする意識が、この事業を通してさらに高まってきているように感じる。
- 子どもたちへのしつけや約束事については、年度当初に安全管理員全員で学校と共に、共通理解を図りながら実施していくことを確認している。

上郷地区放課後子ども教室【山形県鶴岡市】

～地域で育てる地域の子ども～

◆事業の目的・理念

- 子どもたちに放課後の安全・安心な活動場所を提供し、地域の人々との交流を行うことで、地域の教育力と子どもたちの社会力の向上を目指す。
- 安全管理員などは、より多くの地域の方々に協力してもらい、子どもたちが様々な大人と関わりながら、家庭や学校だけでは得られない体験の場の提供を目指すとともに地域づくりのきっかけとする。

実施場所	学校内	学校外
	—	●
開催日数	250日／年間	
参加人数	18人／1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	●	—
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
—	—	—

教室の実施場所

- 鶴岡市上郷コミュニティセンターと付属の体育館、グラウンドなど

教室の開催日

- 月曜日～金曜日 下校時～18:30
- 土曜日・振替休日 8:30～18:30
- ※長期休業日については、地域の協力体制により4日程度（基本8:30～18:30）開催
- ※平成20年度実績:220日

参加対象者

- 鶴岡市立上郷小学校の学区内に在住する小学生

申込み手続きなど

- 申し込み用紙を上郷コミュニティセンター事務室と放課後子ども教室受付に設置し、随時受付。
- 保護者会を設置し、保険等について対応している。



大きいシャボン玉づくりに挑戦!



ペットボトルロケット飛ばし



グラウンドゴルフ体験

活動内容

- 子どもたちが友達と相談して何をして遊ぶかを考える自由遊びが基本。主な自由遊びは、野球、鬼ごっこ、郷土かるた、お絵かき、折り紙、トランプ、バドミントン、卓球など。
- 子どもたちは宿題などの自主学習をしてから自由遊びを行っている。
- 学習アドバイザーや安全管理員の特技を活かした体験活動（俳句教室、茶道体験、ペットボトルロケット大会、季節の行事、その他）
- 地域行事への参加のほか地域の方々との交流活動（そばうち体験、昔の遊び）
- 月1回のスタッフの会議で児童の情報の共有や対応の疑問などについて話し合う。
- 帰宅時は必ず保護者が迎えに来る。

	月	火	水	木	金	土・振替休日
活動時間	下校時～18:30					8:30 ～ 18:30
主な活動内容	宿題・自由遊びのほか不定期に地域の先生による体験活動					

学校側は、「子ども教室」に参加する児童を把握し、連絡票を代表児童に渡す。児童は集団下校でコミセンに移動。

コミセンで連絡票を安全管理員に渡し、参加者を確認。その後、子供同士自由に活動する。

児童の保護者・家族がコミセンに迎えに来る。全員の帰宅を確認し活動終了。



民話に耳を傾ける



草帽づくり

コーディネーターや地域の方々などの参加

●採用・募集

安全管理員や学習アドバイザーは地域内で募集を行った。また、コーディネーター等を通じてさらに協力者が増えた。参加児童の保護者も可能な時間帯で安全管理員として協力している。

●配置人数

コーディネーター1名を配置。教室活動時は、常時安全管理員2名を配置。土曜日等は、午前と午後に分けて配置。登録している安全管理員は30名程度。負担がかかり過ぎないようにコーディネーターが調整している。

事業を実施して

- 子どもたちからは、「みんなでいろいろな遊びができて楽しい。」「宿題をしてから遊ぶので、おもいっきり遊べて楽しい。」との声が聞かれる。
- 保護者からは、「地域の方が見守って下さり、有り難い。」「体を動かして遊び、早寝になった。」「友達と遊ぶだけでなく、地域の方と接し様々なことを体験し覚えてくる。」との声が聞かれる。
- 参加児童と保護者が、教室を行っているコミュニティセンターの清掃を行うなど、地域と関わるきっかけになっている。
- 安全管理員や学習アドバイザーは、それぞれが得意な活動を活かすことができていると、子どもとふれあい、頼りにされることが生きがいになっている。
- 「かかわり」「体験」「学び」ある本教室に関わる子ども・保護者・地域の協力員がそれぞれ喜びを感じることができた。

小島たのしい教室【福島県川俣町】

～子どもたちの明るい元気な声が地域にパワーを!～

◆事業の目的・理念

- 平成19年度、少子化が進む地区の中心であった小島小学校に併設された公民館を会場に、子どもたちの安全・安心な居場所としての「小島たのしい教室」を設立した。
- 地域のボランティアの協力を得ながら、遊びやスポーツ、文化活動、住民との交流活動などの取り組みをすることによって、子どもたちが心豊かで健やかに育まれるようにと願って運営されている。
- 現在、小島小学校は平成20年度から川俣小学校に統合されたため子どもたちはスクールバスで教室に帰ってくる。「たのしい教室」が地区内で唯一、子どもたちが集団で遊べる居場所となっている。

実施場所	学校内	学校外
	—	●
開催日数 参加人数	180日/年間 15人/1日平均	
	●	—
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	—	●
	—	児童クラブ

教室の実施場所

- 小島公民館のホール及び併設する旧小島小学校の体育館や校庭

教室の開催日

- 月～金曜日 14:00～18:00
- ※長期休業日、祝日、学校に特別な行事がある場合は除く

参加対象者

- 川俣町小島地区に在住の全児童

申込み手続きなど

- 参加申込書の配付及びとりまとめは、川俣小学校に依頼している。
- 参加料は無料。



サツマイモ掘り

活動内容

- 低学年児童は午後3時00分頃第1回目のスクールバスで、中高学年の児童は午後4時30分頃第2回目のスクールバスで公民館に到着して、たのしい教室に参加する。
- 宿題をすませた後、主に自由遊びが中心で、室内では読書、折紙、トランプ、将棋、体育館ではバドミントン、ドッジボールなどを行っている。また、外部のボランティア講師を招いて、「和楽器教室」「木工クラフト教室」「絵本の読み聞かせ」「羽子板・こまの絵づけ教室」「収穫祭」などの活動も行っている。
- 地域の方々の指導をうけながら、畑でジャガイモやキュウリ、トマトなどの野菜を育てる活動もしている。また、地域の方々からスイカやリンゴなどを差し入れていただくこともあり、地域との交流が図られている。
- 保護者から人1ヶ月600円(30円/日×20日)分のおやつが届けられるようになり、夕方の「おやつ時間」ができた。



「絵本の読み聞かせ」



「和楽器教室」

小島たのしい教室						
10月						
1 来るときは「こんにちは」、帰るときは「さようなら」と 笑顔であいさつをしましょう 2 みんなでなかよく、元気にすごしましょう 3 やくそくを守って、楽しくすごしましょう						
にち(日)	げつ(月)	か(火)	すい(水)	もく(木)	きん(金)	ど(土)
				宿題 自由遊び 1	宿題 自由遊び 2	3 休み 土曜学習
4	宿題 ボール遊び	5 楽しい 教室 お休み	6 宿題 自由 遊び	7 宿題 ボール遊び	8 宿題 ボール遊び	9 10 休み
11	12 体育の日	13 宿題 自由遊び	14 宿題 ドッジ ボールへ挑戦	15 宿題 三味線	16 宿題 自由遊び	17 18 休み 土曜学習

コーディネーターや地域の方々などの参加

●採用・募集

コーディネーター：地域から選出(地区公民館主事)
 安全管理員：地域から募集(管理員承諾書の提出)
 活動指導員：地域から募集(指導員承諾書の提出)
 現在、コーディネーター1名、活動指導員2名、安全管理員7名が登録

●配置人数

スタッフ(管理員・指導員等)は1日3名を配置するようになっている。

■地域の方々子どもたちの遊ぶ様子を見に来てくれる。

事業を実施して

- 〈子どもの声〉たのしい教室は友だちと一緒にいられるから落ち着く。この教室がなかったら、友だちと遊べなくて寂しい。
- 〈保護者の声〉午後6時まで見てもらえて大変安心で助かっている。宿題をさせてもらったり仲良く友だちと遊ばせてもらったりと本当にありがたい。
- 〈地域の方々の声〉たのしい教室に来て子どもたちの元気でにぎやかな声を聞くと、自分の家の子どもではなくてもこちらまで元気に明るくなってとてもいい。
- 〈指導者の声〉子どもたちのために、家庭ではなかなかできないことや子どもが興味をもって取り組みそうなプログラムをみんなで話し合いながら考えている。今では子どもたちの喜んで活動する姿を見るのがうれしい。
- 〈教育委員会の声〉指導員や地域のボランティアなどが、地域の核となっている「放課後子ども教室」の活動をとおして、「地域の子どもは、地域で守ろう」という意識を強く持っていると感じている。

小瀬っ子放課後子ども教室【茨城県常陸大宮市】

～体験・ふれ合い・学び合い～

◆事業の目的・理念

- 放課後「体験・ふれ合い・学び合い」をモットーとした子どもたちの活動拠点をつくり、様々な体験活動や地域住民・指導者等との交流、異学年との交流活動による学び合いの中で子どもたちの自主性や社会性、創造性を育む。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	169日/年間	
参加人数	23人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

- 小瀬小学校のランチルーム、運動場など
※活動内容によっては、図書室や体育館を使用することもある。

教室の開催日

- 月～金曜日 授業終了後～17:00
※下校は、保護者の迎え、又は、高学年と一緒に下校とする。

参加対象者

- 参加を希望する常陸大宮市立小瀬小学校の児童

申込み手続きなど

- 常陸大宮市放課後子ども教室運営委員会作成の「常陸大宮市放課後子ども教室推進事業の実施について」の文書と参加申込書を全児童に配付し募集を行う。参加料金は、600円の保険料のみである。



ワクワク！ころころ転がせばアイスクリームのできあがり

活動内容

- 子どもたちは、活動場所であるランチルームに集合後15時30分まで自主学習をし、その後は自由遊び(創作活動や外遊び)で楽しく遊んでいる。
- 週1回程度の割合で、市内外の外部人材、近隣の高校や県生涯学習センター等との連携により、様々な体験活動を実施している。活動の予定は、本校児童の全家庭に「小瀬っ子放課後子ども教室カレンダー」を配付し、日々の活動状況が誰にでも分かるようにしている。

〈代表的な体験活動〉

○平成20年度

- ・作って遊ぼう…竹馬作り・竹ぼっくり作り
- ・昔遊び「けん玉名人になろう」…けん玉・ベーゴマ・皿回し・紙鉄砲
- ・国際交流「Let's enjoy English」…みんなでゲーム・外国語学習
- ・子どもダンス教室

○平成21年度

- ・作って遊ぼう…しの鉄砲作り・連凧作り
- ・お花教室…水耕栽培・お花のお菓子作り・花の絞り汁でハンカチ作り
- ・県生涯学習センター…バルーンアート・タグラグビー・ジャンボシャボン玉
- ・高校生のおねえさんと遊ぼう…鬼ごっこ等の外遊び
- ・やってみよう…ころころりんパニアアイス
スクリーム作り・ミニ門松作り
- ・昔遊び「けん玉にチャレンジ」



集中！
けん玉名人にチャレンジ！

地域の方の協力をいただきながら、様々な体験(勉強やスポーツ・文化活動・国際交流など)や様々な人々との交流を推進しています。

平成21年 12月 小瀬っ子放課後子ども教室カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		自由遊び	自由遊び	休み(授業参観のため)	けん玉にチャレンジ	
6	7	8	9	10	11	12
		自由遊び	自由遊び	お花教室 クリスマスカード作り	高校生と遊ぼう(4時～)	自由遊び
13	14	15	16	17	18	19
		自由遊び	カルタで遊ぶ(ぼろぼろ)	グニャグニャなつづり(紙飛行機)	高校生と遊ぼう(4時～)	自由遊び
20	21	22	23	24	25	26
		自由遊び	ミニつづり	天徳誕生日		
27	28	29	30	31		
		みなさん、よいお年をおむかえください。				

お知らせ

いろいろな活動が盛りだくさんです。積極的に参加し体験しましょう。
「けん玉にチャレンジ」日本赤十字協会クリスマスカード作り「小瀬っ子さんカルタで遊ぶ」徳島県生涯学習センター「ミニつづり」西宮老人会会長 関谷実さん(保護者のみなさんへお礼の言葉を申し上げます)

本校の子どもたちは、11月20日(金)文芸科学館において、「熊形」をいじり、こころをまじし、熊の顔や身体部分の作りかたを学ぶ活動を行いました。熊の顔や身体部分の作りかたを学ぶ活動の様子を、このカレンダーに掲載させていただきます。ご協力ありがとうございました。(小瀬っ子放課後子ども教室)

小瀬一江・岸野子・藤 亮哉

※遊びや学習のアイデアをお持ちのかたは、ぜひ、担当まで声をかけてください。プログラムに入れていきたいと考えています。

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 配置人数 安全管理員は3名配置しており、常時2名が活動している。ただし、体験活動時は3名が参加し、子どもたちの安全管理に努めている。
- 体験活動の指導者 週1回程度の体験活動は、特技を持った地域の方や市外の方等の協力を得ている。体験活動の様子は、保護者の協力により映像として記録されている。
- 近隣の高校生ボランティア・県生涯学習センター等の協力 毎週来校する高校生は、元気に外遊びをする子どもたちの遊び相手となっている。県生涯学習センターのボランティアが、要請に応じ体験活動の提供をしてくれている。

事業を実施して

<安全管理員の声>

- 毎日子どもたちがケガをしないように見守っているが、自分自身も子どもたちと一緒に様々な体験や触れ合い、学び合いをしている。今後も子どもたちと共に成長していきたい。
- 子どもたちの笑顔は、安全管理員としてのやりがいを感じさせてくれ、自分自身の活動の源にもなっている。

<参加児童の声>

- 放課後子ども教室に参加して良いと感じるのは、何よりも他の学年の子と遊べることである。
- 放課後子ども教室に参加すると、地域の方々との交流があったり色々な物を作ったり、遊んだりできてとても楽しい。これからも、楽しい体験活動を実施してもらえると嬉しい。

間小っ子ふれあいひろば【栃木県小山市】

～安全で健やかな放課後活動と交流の場～

◆事業の目的・理念

- 放課後、子どもが自由に、また自主的に遊べる場を確保することにより、体験活動の充実を図る。また、同じ学校に通う異年齢集団での交流・遊びをとおして、児童の社会性や自主性、創造性等を養う。
- 地域が一体となって子どもたちを見守る環境を整備し、子ども同士の交流、子どもと大人の交流などをとおして、ふれあい学習の推進を図る。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	●	—
参加人数	33日/年間 125人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	●	—
他事業との連携	自主学習	学校と連携
	●	—
	児童クラブ	支援本部
	●	●

教室の実施場所

●小山市立間々田小学校内あじさいホール、図書室、プレイルーム・小学校校庭、体育館(修道館)、ピロティなど

教室の開催日

●毎週水曜日 授業終了後～16:30
(ただし、11月～2月は、16:00まで)

参加対象者

●間々田小学校1年生～6年生(全児童対象)
(ただし、1年生は、後期からの参加)

申込み手続きなど

- 学校を通じて配布される参加申込書に、スポーツ安全保険料600円(参加条件)を添えて受付日に申し込む。
- 参加料金は不要。また、必要に応じて教材費の実費負担がある。



はじまりの会と帰りの会

活動内容

- 活動内容は、子どもたちの自主的な遊びが中心
- 地域の人材を活かしたスポーツ・文化活動、創作活動(手芸)
- その他、季節行事にあわせた活動・外部講師によるイベント



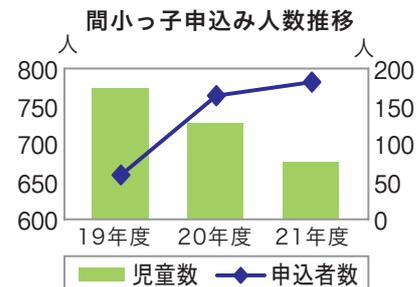
手作りのツリーでメリークリスマス



お手玉って、おもしろい!!



一緒に、あやとり



登録児童数	
平成19年度	56名
平成20年度	165名
平成21年度	183名



校庭での活動の様子

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 自治会関係者、子ども会育成会関係者、学童保育クラブ関係者、学校関係者等で運営委員会・スタッフ委員会が組織され、関係者への呼びかけや広報誌等により募集をしている。
- 配置人数 毎回スタッフ・ボランティアを併せて20名以上の参加があり、学習アドバイザー・安全管理員として活動している。
- 子どもたちの活動内容を広げる為、外部講師を依頼し、読み聞かせ・折り紙・バルーンアート・ドミノ等のメニューも用意している。

事業を実施して

- <子どもから>友達と遊んだり、地域の人と遊んだりするのが楽しみ。ものを作ったり、外で遊んだり、色々な勉強するのが楽しみ。
- <保護者から>家に帰ってしまうと、遊ぶ友達が限られてしまいます。「間小っ子ふれあいひろば」では、年齢や性別を問わずたくさんのお友達とふれあえる、貴重な場所となっています。ご指導してくださっている、地域のボランティアの皆様には本当に感謝しています。
- <指導者から>子どもたちとふれあえる貴重な機会。子どもたちももっと楽しく遊べるように手助けしていきたい。子どもたちが、単に遊びのみならず、礼儀を身につけるチャンスになれば良い。
- <学校から>地域ボランティアの方々との支援で、活動が充実しています。地域社会のなかで、子どもたちは、社会性や自主性、創造性等を育み、元気に仲良く活動しています。

東小子ども教室【群馬県昭和村】

◆事業の目的・理念

- 心豊かでたくましい子どもを社会全体で育むため、学校などを活用して、安全・安心な子どもたちの居場所（活動拠点）を設け、地域の大人を安全管理員として配置し、放課後や週末におけるスポーツや文化活動などの様々な体験活動や地域住民との交流活動などを支援する。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	35日／年間	
参加人数	80人／1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	●	—
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	—	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	●	—

教室の実施場所

- 放課後教室は、東小学校敷地内の子ども教室、東小学校のプレイルーム、校庭、体育館など

教室の開催日

- 放課後教室は、毎週金曜日14:30～16:30（冬季は16:00まで）
※年間30回程度開催
- 週末体験は、土・日曜日9:00～12:00 ※年間15回程度

参加対象者

- 放課後教室は、小学校1年生から6年生（全校児童対象）
- 週末体験は、保育園児・小学生・中学生および保護者

申し込み手続きなど

- 放課後教室は、学校を通して募集案内を配布。指定された申込日に小学校玄関にて参加申込。申込日以降は、教育委員会事務局にて、随時受付。参加費は無料。（参加者の保険は自己負担）
- 週末体験は、募集案内を学校を通して配布。参加申込は、教育委員会事務局まで。参加費は内容によって自己負担あり。



写真左上「落ち葉のアートづくり」
左下「ドッジボール」
右上「一輪車あそび」
右下「将棋教室」

活動内容

<放課後教室>

「地域の大人（安全管理員）の見守りによる放課後の自由遊びの場」

- 原則として、子どもたちが自分で何をするかを考えての自由遊び。安全管理員も一緒に遊ぶ。（主な遊びの内容は、お絵かき、工作、おり紙、なわとび、ドッジボール、三角ベース、おにごっこ、一輪車、鉄棒など）
- 安全管理員によるイベントの開催。（七夕・落ち葉のアート作品展・クリスマス・カルタ大会・豆まき、お楽しみ会など）
- 村の将棋同好会の参加協力で、将棋教室を学期に1回開催。（参加児童に人気のイベント）
- 体育指導委員、NPOネットしょうわの参加協力。（ニュースポーツ教室、昔の遊びなど）

<週末教室>

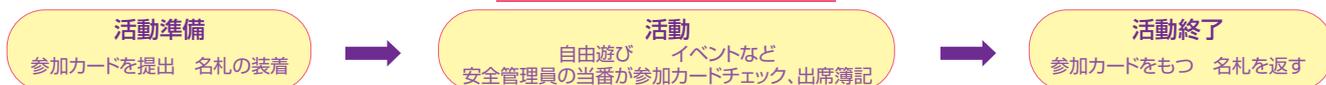
「村の各種団体・個人を指導者に招き、週末の体験教室」

- 親子料理教室（村保健福祉課とタイアップして行っている体験教室。指導者は食生活推進員。）生け花教室（指導者は池坊なでしこ会員。年2回実施。父の日または母の日とクリスマス）和太鼓教室（指導者は生越太鼓会員。7,8月）中国結び教室（指導者は中国結びの会ジャスミン。クリスマスリースや携帯ストラップ、プレスレットなど作成）



節分の日「豆まきイベント」

放課後教室1日の流れ



児童クラブとの連携

児童クラブ児童は、全員東小子ども教室に参加。児童クラブでは、子ども教室開催日は、おやつ時間をずらすなどして、全員が子ども教室に参加できるよう時間割などに配慮。安全管理員、学童指導員が協力して子どもたちの遊びを見守る。

- *学童の教室と子ども教室が隣接のため、連携が図りやすい。
- *年度はじめ、学期末情報交換会を実施。

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
コーディネーター…安全管理員の中から推薦
安全管理員…村広報に募集要項掲載、現安全管理員からの紹介など
協力団体…各種団体長からの呼びかけ、事務局からの協力・支援依頼など
- 配置人数 コーディネーター…1人 安全管理員…9人
- 協力団体（平日放課後） 体育指導委員、将棋愛好会、NPOネットしょうわなど

事業を実施して

- 東小子ども教室でのふれあいの中から、同じ地域に住む子どもと大人が知り合いになり、日常生活の中であいさつをかわしたり会話りするようになった。
- 「子どもたちのために」という思いが、東小子ども教室運営関係者（安全管理員・学校・学童・協力団体など）の活動の原動力となっており、関連機関が相互に支え合う組織づくりにつながっている。
- 原則として自由遊びという無理のないプログラムの実施により、子どもも大人も互いに楽しみながら活動している。
- 学年を超えて遊ぶことで、高学年生が低学年生の面倒を見られるようになったり、低学年生が話を聞けるようになった。
- 自由遊びを通して、子どもたちが自分で考え、工夫して積極的に遊びを楽しむ様子が多く見られるようになった。

西小放課後子ども教室【埼玉県北本市】

～地域ではぐくむ 地域の子どもたち～

◆事業の目的・理念

- 放課後や週末などに西小学校の「ふれあいルーム」、「まなびルーム」の2つの地域活動室や市のコミュニティセンター等を活用して、学習活動やスポーツ活動、文化活動や地域の方々との交流活動等を実施し、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる安全かつ安心な居場所づくりを推進する。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	●	—
参加人数	202日/年間 31人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	—	●
他事業との連携	自主学習	学校と連携
	●	—
	児童クラブ	支援本部
	—	●

教室の実施場所

- 月～金曜日 西小学校のふれあいルーム(地域活動室)、まなびルーム(地域活動室)、校庭、体育館、図書室など
- 週末 北本市コミュニティセンター

教室の開催日

- 授業のある月曜日から金曜日まで毎日(給食のない日を除く)
原則として授業終了時から16:50まで
- 授業のない夏季休業日と冬季休業日にも活動時間を設定
- 週末は前期・後期に分け、時間を固定せず企画によって活動時間を設定

参加対象者

- 西小学校1年生～6年生(全児童対象)

申込み手続きなど

- 年度当初に学校を通して参加申込書を配付。説明会の後、設定された受付日に参加申込を受け付ける。その後は北本市教育委員会生涯学習課の窓口で、随時申込を受け付ける。週末の活動については、学校を通して参加申込書を配付し教室で受け付ける。
- 傷害保険料(年600円)と教材費(年900円)の負担あり



地域の方と囲碁の対局

活動内容

●事業内容

- ①学びの場を設けることにより、予習、復習、補習等自主的な学習の支援をする。
- ②体験の場を設けることにより、文化活動、体験活動、スポーツ等の支援をする。
- ③交流の場を設けることにより、地域の方々や他学年の友だちとの交流活動を支援する。
- ④その他目的の達成のために必要な活動をする。

●具体的な活動内容

- ☆まなびの時間(月曜日～金曜日) 宿題や読書、プリントなどの自主的な学習に取り組む。コーディネーターや学習アドバイザーが自主的な学習の支援を行う。
- ☆ふれあいの時間(月、火、水、木曜日) 月曜日はスポーツ吹き矢、バドミントン、ソフトバレーボールなどのスポーツ活動、火曜日・水曜日・木曜日は工作や折り紙、物づくり教室や囲碁教室、音楽教室などの文化的活動を行う。学習アドバイザーのほかに、地域の方々や指導員として様々な体験活動の支援を行う。
- ☆お楽しみタイム(金曜日) 金曜日は体育館や校庭でボール遊びや集団遊びなどの活動を行う。
- ☆その他の活動(お楽しみタイムなどの時間に設定) 定期的な活動のほかに、紙芝居、クリスマス会などの活動を随時取り入れる。

21年10月の活動から				
月	火	水	木	金
			1 宿題及び自主学習 集団ゲーム 中庭遊び 音楽教室	2 宿題及び自主学習 読書活動 お楽しみタイム
5 宿題及び自主学習 お絵描き等自由遊び スポーツ吹き矢	6 宿題及び自主学習 算数・国語教室 中庭遊び 工作・折り紙	7 宿題及び自主学習 算数・国語学習 中庭遊び 物づくり教室	8 宿題及び自主学習 中庭遊び 囲碁教室	9 宿題及び自主学習 読書活動 お楽しみタイム
12 体育の日でお休み	13 宿題及び自主学習 算数・国語教室 中庭遊び 工作・折り紙	14 宿題及び自主学習 算数・国語学習 中庭遊び 物づくり教室	15 宿題及び自主学習 集団ゲーム 中庭遊び 音楽教室	16 宿題及び自主学習 読書活動 お楽しみタイム
19 宿題及び自主学習 お絵描き等自由遊び スポーツ吹き矢	20 宿題及び自主学習 算数・国語教室 中庭遊び 工作・折り紙	21 就学時健診のため 休み	22 宿題及び自主学習 集団ゲーム 中庭遊び 音楽教室	23 宿題及び自主学習 読書活動 お楽しみタイム
26 宿題及び自主学習 お絵描き等自由遊び スポーツ吹き矢	27 宿題及び自主学習 算数・国語教室 中庭遊び 工作・折り紙	28 宿題及び自主学習 算数・国語学習 中庭遊び 物づくり教室	29 宿題及び自主学習 集団ゲーム 中庭遊び 音楽教室	30 宿題及び自主学習 読書活動 お楽しみタイム



毎日続ける「まなびの時間」

コーディネーターや地域の方々などの参加

●採用・募集

- ふれあいコーディネーター：地域コミュニティ委員会のメンバーから教育委員会が委嘱。
- まなびコーディネーター：教員免許を持つ者から面接後に教育委員会が委嘱。
- 学習アドバイザー：教員免許を持つ者から面接後に教育委員会が委嘱。
- 安全管理員：ふれあいコーディネーターの推薦をもとに教育委員会が委嘱。
- 指導員：放課後子ども教室の目的に賛同する方から、活動内容に合わせ随時採用。

●配置人数

- ふれあいコーディネーター1名、まなびコーディネーター1名、学習アドバイザー5名、安全管理員11名、指導員23名

事業を実施して

- 子どもから… 友だちとたくさん遊べて宿題もできた。色々なイベントがたくさんあって、とても楽しかった。
- 保護者から… 活動の内容が計画的に決められており、放課後を有意義に過ごすことができた。学習に対する集中力が以前と比べられないほどついた。色々な体験をすることやたくさんの人と接することが、子どもの自信につながった。
- コーディネーター・指導者等から… 校外で子どもたちに挨拶されたりすると、スタッフとして参加して良かったと感じる。現役時代の自分の経験を生かすことができ、幾分かでも地域や子どもたちに役立っていると思うとやりがいを感じる。
(※アンケート調査より抜粋)

四街道地域子ども教室“まじゃりんこ”【千葉県四街道市】

～子ども一人ひとりの願いに応じた居場所づくりを目指して～

◆事業の目的・理念

- 子ども一人ひとりの思いや願いが、大切にされ、自分らしさが実現される居場所。
～子どもの発想が大事にされ、大人の価値観に強制されない、解放される居場所～
- 学校や学年を超え、また、地域の人々と交わり合いながら市民としての学びができる居場所。

実施場所	学校内	学校外
	—	●
開催日数	260日／年間	
参加人数	9人／1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	●	—
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	—	—

教室の実施場所

- 四街道市大熊記念コミュニティセンター

教室の開催日

- 毎週木曜を除く毎日(平日:春夏秋) 15時～18時
- 毎週木曜を除く毎日(平日:冬) 15時～17時
- 土日祝祭日 13時～17時

参加対象者

- 市内の小・中学校の児童生徒等(主な参加者は実施場所近隣の小学校区の児童)

申込み手続きなど

- 市ホームページ掲載の市民活動団体紹介よりメール申込み。
- 教育委員会を通じて、市内全小中学校に活動紹介及び申し込み方法を記載したチラシを配布。
- 子ども同士が誘い合ったりさぼおとさんの声かけ。



大熊コミセンの庭で みんなで大縄跳び

活動内容

- **【室内活動】** お絵描き、新聞や掲示物作り、折り紙、トレー絵、お昼寝、紙飛行機作り、リサイクル工作、カプラ、宿題、自由研究、ゲーム、トランプ、ウノ、オセロ、ダーツ、囲碁、将棋、けん玉、独楽、ペットボトルボウリング、かくれんぼ、ごっこ遊び、ゆっくりのんびり過ごす etc.
- **【室外活動】** 滑り台、ブランコ、自転車遊び、ソフト野球、サッカー、ドッジボール、バドミントン、缶けり、縄跳び、水遊び、砂遊び、ごっこ遊び、自転車遊び、近くの山遊び、木登り、虫捕り、木の葉遊び、柿の実採り etc.
- **【体験活動】**
 - ① **農業体験**
まじゃりんこ村 ～サツマイモ苗植え、落花生種植え、雑草取り、サツマイモと落花生収穫⇒収穫祭
トラストたんぼ ～ 田植え、稲刈り⇒餅つき大会
 - ② **自然探索**
ムクロジの里 ～ 水辺探検(ザリガニ釣り、メダカ観察、湿原生き物観察)
どんぐりの森 ～ 森遊び(ハンモック、竹滑り台、ツリーハウス、ターザンブランコ、土掘り、焚き火)
 - ③ **その他** サマーナイトデイキャンプ(カレーライス作り、小物作り、肝試し、花火)
ミステリーツアー ～ まじゃりんこ村
→四街道総合公園→トラストたんぼ



トラストたんぼで田植え



クリスマス会

コーディネーターや地域の方々などの参加

- **採用・募集** さぼおとさん(ボランティア)：子どもとかわかることに興味関心のある方ならどなたでも可
- **配置人数**
 - 【安全管理員】 自然同好会会員、福祉NPO職員、子ども環境学会職員、幼稚園長、教育研究団体会員、退職教員、企業退職者、会社員、小学校講師など12名
 - 【アドバイザー】 大学生(千葉商科大学、千葉工業大学、千葉大学・千葉敬愛短期大学など)、企業内専門学校学生、フリーターなど10名
 - 【コーディネーター】 主任児童委員1名

事業を実施して

- 大人の価値観での運営を抑えてきたが、学校や家庭での価値観やフレームから解放された中でも、子ども達は過ごし方のルールを身につけるようになってきている。
- 市民活動団体との連携もより深まり、いろいろなイベントや会合などでも「さぼおとさん」が頼られるようになってきている。
- 「さぼおとさん」同士の交流が深まり、大人の居場所にもなっている。
- 発達障がいを持っている子や家庭的に複雑な子どもの件で学校との交流が出来るようになり、学校からも「まじゃりんこ」の存在が高く評価されるようになってきている。
- 共有施設での開設だからこそ、他団体の方々も温かい目で見られるようになるなど、間近で子どもを見る方々の目が優しくなってきた。

すまいるスクール伊藤学園【東京都品川区】

～心豊かな子どもたちを育む多様な体験活動の場～

◆事業の目的・理念

- 学校施設を活用し、放課後や土曜日、夏休みや冬休みなどに、児童と一緒にのびのび過ごせる居場所とする。
- 指導員、地域の方々、学校の先生を含めた様々な関わりの中で、児童が豊かな人間関係をはぐくむことができる場とする。
- 遊びやスポーツだけでなく、学習も含めた内容を実施することで、学力のボトムアップを図る。

実施場所	学校内	学校外
●	●	—
開催日数	294日/年間	
参加人数	136人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
—	●	●
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
●	●	●
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
—	—	●

教室の実施場所

- 小中一貫校伊藤学園内に専用スペース
※共有スペースとして、校庭、アリーナ及び、図書室や家庭科室、視聴覚室等、放課後の学校施設

教室の開催日

- 月曜から土曜日 ※ただし、祝日年末年始(12/29～1/3)は休み
- 学校がある日は放課後から午後6時まで
- 学校が休みの日は午前9時から午後6時まで

参加対象者

- 小中一貫校伊藤学園の小学生および学区内に在住し国立・私立等に在籍する小学生

申込み手続きなど

- 入学前に保護者説明会を開催。
- 参加登録申請書を年間参加登録費(年間550円)を添えて申し込み。
その他保険料(年間650円)および必要に応じ教材費の実費負担あり。



すまいるスクール伊藤学園みんなあつまれ!

活動内容

- すまいるスクール伊藤学園では、「勉強会」、「教室」、「フリータイム」を中心に、多様な内容の事業を実施している。「勉強会」は、学校の授業と連携し、教員免許を持った指導員が、国語と算数の指導をしている。「教室」は茶道や囲碁や各種スポーツなど、体験活動や趣味的な活動を、保護者や地域ボランティアの協力を得て行っている。「フリータイム」は、宿題や読書で静かに過ごしたり、活動的に伝承遊びやスポーツをするなど、自由に過ごす時間としている。



こどもえんにち107名参加

6月の予定表							
日	月	火	水	木	金	土	
1	振替休日	2	勉強会	3	勉強会	4	勉強会
5	勉強会	6	勉強会	7	勉強会	8	勉強会
9	勉強会	10	勉強会	11	勉強会	12	勉強会
13	勉強会	14	勉強会	15	勉強会	16	勉強会
17	勉強会	18	勉強会	19	勉強会	20	勉強会
21	勉強会	22	勉強会	23	勉強会	24	勉強会
25	勉強会	26	勉強会	27	勉強会	28	勉強会
29	勉強会	30	勉強会	31	勉強会		

コーディネーターや地域の方々などの参加

- **採用・募集**
担当指導員：品川区役所職員
非常勤職員：教員免許を有する者
- **配置人数**
担当指導員を含め12名
- 地域ボランティアの方々が多数参加一部業務委託

事業を実施して

- 学校という安心、安全が確保されている場所で、いろいろな経験が出来るということで保護者からは高い評価を得ている。児童からは友達と遊べる、教室・イベントが楽しいなどの声が聞かれる。
- 大勢のともだち、すまいるスクールの指導員、ボランティアの方々、PTAや保護者の方々、そして学校の先生との様々な関わり合いの中で、子どもたちは豊かな人間関係を築くことのできるたくましさ、生きる力を育んでいる。

綾南小学校わんぱく広場【東京都葛飾区】

～小学生の安全で楽しい居場所「わくわくチャレンジ広場」～

◆事業の目的・理念

- 主に放課後の子どもたちに安全に遊べる場所を提供し、自由に遊べるようにサポートする。
- 遊びを通して、学年の異なる子どもたちや地域の方々と交流することにより、自主性や社会性・創造性を育む。
- 地域の方や保護者と協力し、子どもたちが健全に遊べるための環境作りを推進する。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	●	—
参加人数	211日/年間 63人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	●	—
他事業との連携	自主学習 学校と連携	—
	児童クラブ	支援本部
	—	—

教室の実施場所

- 綾南小学校の教室(メインルーム)、校庭、体育館、図書室など

教室の開催日

- 月～金曜日 下校時～17:30 ●夏・春休み 14:00～17:30

参加対象者

- 綾南小学校在学の全学年

申込み手続きなど

- 毎年、年度末に学校を通じて配布するわくチャレ登録申込書と保険加入料400円/年を提出。参加は無料。(それ以降は随時、メインルームにて直接申込みができる。1年を通して申込可能。)
- 学習・文化・スポーツプログラムは事前申込制。手芸教室など作品制作するものは同時に実費を集める。



お茶会の様子

活動内容

- 基本は自由遊び。
- 学習、文化・スポーツ推進校として自由遊びと並行してアドバイザーによる学習教室・実験教室・手芸教室・キンボール教室を実施している。
- 近隣の学童クラブ指導員とわんぱく広場スタッフによる定期的な情報交換の場を自主的に設けている。

綾南小「わんぱく広場12月の予定表」

	月	火	水	木	金
メインルーム		(2じはじまり)	(1じはじまり)	(2じはじまり)	4しゅうだんげこう (2じ30ぶんはじまり)
としよつ			お茶会(2年生)		
こうてい				サッカー	
たいいかん		バスケットボール	ドッジボール	わくわくタイム キンボール	バレーボール ドボン
メインルーム	7 (2じはじまり)	8 (2じはじまり)	9 (1じはじまり)	10 (2じはじまり)	11 (2じはじまり)
としよつ	わんぱく てらこや	よここちゃんの 手芸教室		からくり 科学教室	
こうてい				サッカー	
たいいかん	バスケットボール	ドッジボール	ラケットテニス	わくわくタイム キンボール	バドミントン
メインルーム	14 クラブ (2じはじまり)	15 (2じはじまり)	16 (1じはじまり)	17 (2じはじまり)	18 (2じはじまり)
としよつ	わんぱく てらこや	よここちゃんの 手芸教室 室3.4.5.6			
こうてい					
たいいかん	ドッジボール	たっしゅう ラケットテニス	キンボール大会!	バドミントン	バスケットボール
メインルーム	21 (2じはじまり)	22 (2じはじまり)	23 (1じはじまり)	24 (2じはじまり)	25しゅうぎょうし (2じはじまり)
としよつ	わんぱく てらこや				
こうてい					
たいいかん	たっしゅう ラケットテニス	ドボン		バスケットボール	ドッジボール
メインルーム	28	29	30	31	つごころによりながい けんこうになるほあひが あります
としよつ	1月7日(木)までわんぱく広場はお休みです				わんぱく広場 メインルーム ☎3694-6381 〒125-8585葛飾区綾南1-1-1
こうてい					
たいいかん					



キンボール教室



手芸教室

コーディネーターや地域の方々などの参加

●採用・募集

- ・運営委員長の推薦により決定・区が委嘱する。
- ・現場で活動するスタッフは100%地域の方々(保護者およびOB、自治町会、青少年委員、PTAなど)

●配置人数

- ・一日当たり、メインルーム3名・校庭2名・体育館2名の計7名。
- ・内訳はリーダー1名、サブリーダー6名。

■学習・文化・スポーツアドバイザーは区が推薦・委嘱する。

学習教室…わんぱくてらこや
文化教室…よここちゃんの手芸教室、お茶会
スポーツ教室…キンボール 実験教室…からくり科学教室

事業を実施して

- 100%地域の方がスタッフなので、子どもにとって地域での顔見知りが増えて防犯対策にもなっている。
- スタッフは保護者やそのOBが多く、学校との連携がスムーズにとれて個々の子どもへの対応が迅速にとれる。子どもたちの情報を共有することができている。
- 保護者は、放課後そのまま学校で遊べるので安心。休日に会ったスタッフと子どもが挨拶を交わすのを見て、地域で守られていると感じている。

中原はちのすけクラブ【東京都三鷹市】

～地域の子どもは地域で育てる～

◆事業の目的・理念

●三鷹市地域子どもクラブ事業として、学校を拠点とした子どもたちの安全で安心な居場所、遊び場づくりに取り組んでいる。子どもたちの思いやりや行動力、協調性、前向きに生きていく力など、心の豊かさは学校生活だけではなく、家族や同じ地域で暮らす多くの人々と触れ合いながら得られるものと考えている。また、子どもとのふれあいを通して、大人たちも交流を深めることにより、地域教育力向上や地域コミュニティづくりにつながる結びつきを大切にしている。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	237日/年間	
参加人数	50人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

●中原小学校の校庭、体育館、図書館、図工室、コンピュータ室、理科室、家庭科室など

教室の開催日

●月、火、木、金曜日 16:00～17:00 ●水曜日 15:00～17:00

●土曜日 9:30～12:00、13:30～15:30

参加対象者

●中原小学校児童(みんなDEパソコンは近隣の東台小学校地域子どもクラブと共催のため、東台小学校児童も参加)

申込み手続きなど

- 4月にクラブ紹介と申込み用紙を配布し、校庭開放事業は児童全員が登録をする。その他の開催事業へ参加を希望する児童は、事業ごとに参加申し込みをして登録をする。
- 単発のイベントはその都度案内を出し、希望者は申し込む。 ●内容によって実費又は一部の負担あり。
- 未就学児が保護者同伴で参加できる事業もある。



泳げっかいこのぼり
手形で作ったこのぼり、どれかわかる？

活動内容

- 開閉事業として校庭開放、定期的なクラブ活動として4つの事業、単発のイベントとして3～6つ(21年度は6つ)の事業を行っている。年に1回学童保育所と共催事業を実施している。
- 校庭開放:平日の放課後に自由遊びのできる場所として校庭を開放している。一輪車、竹馬、サッカーボール、カラーボール、プラスチックバット、ホームベース、縄跳び等の遊具を用意している。
- 定期的なクラブ活動:ソフトバレーボールクラブ(5～6年生)週2回、みんなDEパソコン(3～6年生)月1回、言葉のアニメーション(1～6年生)学期に2回、中原小合唱団(3～6年生)毎朝と放課後週2回
- 体験広場(単発のイベント):21年度開催例…中原子どもまつり(学童共催)、こいのぼり作り、万華鏡作り、科学教室(天体望遠鏡作り)、ペットボトルタワー作り、発泡入浴剤作り

平成21年度 中原はちのすけクラブ 年間予定表							
日	月	火	水	木	金	土	
	中原小合唱団 7:45～8:15 対象:3～6年生	中原小合唱団 7:45～8:15 16:00～17:00 対象:3～6年生	中原小合唱団 7:45～8:15 対象:3～6年生	中原小合唱団 7:45～8:15 16:00～17:00 対象:3～6年生	中原小合唱団 7:45～8:15 対象:3～6年生	言葉のアニメーション 各学期2回 9:30～12:00 対象:1～6年生	みんなDEパソコン 第2土曜日 10:00～12:00 13:30～15:30 対象:3～6年生
		ソフトバレーボール 16:00～17:00 対象:5・6年生	*体験広場 万華鏡、発泡入浴剤作り、 こいのぼり作り、 中原子どもまつり	ソフトバレーボール 16:00～17:00 対象:5・6年生			
	校庭遊び場開放 16:00～17:00 対象:全学年	校庭遊び場開放 16:00～17:00 対象:全学年	校庭遊び場開放 15:00～17:00 対象:全学年	校庭遊び場開放 16:00～17:00 対象:全学年	校庭遊び場開放 16:00～17:00 対象:全学年	*体験広場 ペットボトルタワー作り、 科学教室(天体望遠鏡作り)	



科学教室
牛乳パック2本とレンズ3枚で天体望遠鏡を作ったよ。夜空の星も大きく見えて感動!

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 実施委員会を各事業の責任者及びPTAとの連携を図るためにPTAの役員1人を加え構成しており、現在19人の委員で企画運営をしている。代表とクラブコーディネーター各1人は地域の方、他は保護者と卒業生の保護者。各事業の安全管理者の募集を、保護者向けに4月に案内状を配布し行う。単発のイベントは、安全管理者の必要人数に応じ、学校と地域団体を通じて行う。
- 配置人数 1回の活動に対して… 校庭開放2人(登録20人)、ソフトバレーボールクラブ10人、みんなDEパソコン6人(登録15人)、言葉のアニメーション3人、中原小合唱団2人(参加児童保護者約40人)、単発のイベント3～10人。
- 特別な技術の講師として大学客員教授、中学校副校長が参加。補助講師として企業ボランティアが参加。アドバイザーとして小学校教員が参加。ボランティアとして中学生が参加。

事業を実施して

- 第一の目的は、児童の安全安心な居場所作りである。平日の放課後に、児童が安心して遊べる環境を確保することが最も重要と考えている。
- その上で、休日も含めたクラブ活動を通じて、様々な本物に触れる体験をして欲しいと願い企画している。また、学校を拠点とすることで、身近な友達と一緒に活動でき、たくさんの共通の思い出を培いながら成長して欲しいと願っている。
- たくさんの保護者、地域、学校、企業の方々参加協力に支えられ、クラブを継続できている。「子どもたちのよき成長の為に」という同じ思いを繋がりにして、大人の様々なネットワークの広がりを感じる。子どもたちが愛情深い地域環境で過ごせることにより、自分や他人や物を大事に思う心の優しさや豊かさが生まれ、人と協力して行う楽しさや個の力以上のものができる素晴らしいさを味わいながら、参加する意欲や前向きさが生まれているのを感じる。活動を通して子どもの生きる力が育まれることを願っている。

放課後子ども教室「府中第十小学校」〔東京都府中市〕

◆事業の目的・理念

- 小学校施設等を活用して、「遊びの場・学びの場」を提供し、子どもたちの健やかな成長を支援する。
- 地域や子どもたちの健全育成に関わる、各種団体の方と協力・連携しての地域交流を行う。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	264日/年間	
参加人数	33人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

- 府中第十小学校のワークルーム、校庭、体育館など

教室の開催日

- 月～金曜日 13:00～17:00
- 土曜日及び学校休業日 9:00～12:00、13:00～17:00
- ※10月～3月は16:30まで

参加対象者

- 府中第十小学校に在籍する児童

申込み手続きなど

- 事前登録制となっており、学校を通じて配布される登録申込書を記入のうえ、放課後子ども教室受付へ提出。
- 費用は原則無料。ただし、傷害保険料(1人につき、年度あたり600円)やイベント開催時(希望参加)の参加費用などの実費負担あり



メインルームでの自由遊び

活動内容

- 活動の中心は児童の自主的な遊びであり、活動中は、スタッフが児童が安全に安心して楽しい時間を過ごせるよう見守りを行っている。具体的には、室内でのトランプゲームやオセロ、校庭や体育館でのサッカー等の、多彩な活動を行っている。
- 学習面では、放課後子ども教室参加時には、まずは宿題を終わらせ、その後自由遊びを行うよう指導をしている。
- 学童クラブとはお互いのイベントに参加したり、比較的参加人数の少ない土曜日に一緒に活動している。



ストラックアウト大会



地域の方との交流イベント

曜日	月	火	水	木	金	土
1月の活動予定表	☆13:00～16:30 ★9:00～12:00、13:00～16:30				8 始業式	9
					☆自由遊び	★自由遊び
	11	12	13	14	15	16
	休み	☆自由遊び	☆自由遊び	☆自由遊び	☆自由遊び	★自由遊び
	18	19	20	21	22	23
	☆自由遊び	☆自由遊び	☆ドッチボール大会	☆自由遊び	☆自由遊び	★自由遊び
25	26	27	28	29	30	
☆自由遊び	☆自由遊び	☆自由遊び	☆自由遊び	☆自由遊び	★お正月遊び	

コーディネーターや地域の方々などの参加

- **採用・募集** 地域の方で、放課後子ども教室の目的に賛同する方。なお、コーディネーターは市職員。
- **配置人数** 学校実施日は4名。学校休業日は2名。
- 地域の子どもの健全育成に関わる団体の代表の方で構成された実行委員会を組織し、地域が集うイベントなどを行っている。

事業を実施して

〈参加者の声〉

- ・ やりたい遊びができる。
- ・ サッカーや野球など、たくさんの人数で遊べる。
- ・ 色々なイベントがあって楽しい。
- ・ 大人の人に工作などを教えてもらえるから。
- ・ 友達と遊んだり、勉強できたりするから。

〈保護者の声〉

- ・ 色々な大人の方や友達と接するので、たくさんの遊びを覚えてきた。
- ・ 色々なことに興味を持つようになった。
- ・ 学年やクラスの違うお友達ができた。
- ・ 今日遊んだことを子どもが話してくれ、家族の会話が増えた。
- ・ 学校へ行くのが好きになった。

小平八小キラキラ☆らんど【東京都小平市】

～ 地域で育てよう すこやかな子ども ～

◆事業の目的・理念

- 安全で安心して過ごせる楽しい放課後の居場所を提供!
- 地域・保護者が協調して子どもに豊かな体験・交流の場を!
- 学年を越えて、学びあい教えあい協力して得る健やかな育ちの支援!

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	306日/年間	
	参加人数 30人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	—	●
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	●	—

教室の実施場所

- 小平第八小学校の子ども教室、体育館、理科室、図工室、校庭など普通教室を1部屋提供していただき、ここを基地として子ども教室を運営
その他、近隣の市立鈴木公民館とも連携して実施



紙しばい (できあがった作品を手に)

教室の開催日

- 月～金曜日 14:40～17:00
- 土曜日9:45～11:45 14:00～16:00
夏休み等の長期休業中も開催
土曜日には「土ようひろば」として、午前中に特別講座を月2回程度実施。パライティに富んだメニューでスケジュールを組む

参加対象者

- 小平第八小学校の学区内に在住する小学生と、幼児・中学生の登録も受付可能

申込み手続きなど

- 各子ども教室は年度の始めに登録。 ●土ようひろば、ハイキング、多摩六都科学館連携などのイベントは、その都度、受付。

活動内容

- 全20教室で306回、参加児童数、延7,858人
- 他団体との連携企画
都立武蔵高校(パソコン、ミニバスケットボール)
多摩六都科学館(水・火薬ロケット、望遠鏡作り)
法政大学(ロボット・ソーラーカー作り)
- 夏休み紙しばいワークショップ
- 国際交流イベント「地球ひろば」
- 安全管理研修の充実
①キックオフミーティング(ひやりハットの情報共有)
②普通救命講習(毎年30人が資格取得)
③デスクトップシュミレーション(不審者対応訓練)
④安全みまもりMAP作成(毎年点検・更新)

放課後クラブカレンダー 10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 野球 2:00-4:00 パソコン 2:00-4:00
4	5	6	7 高橋4,5,6年 2:40-4:40 野球 2:40-4:40 よさこい 2:40-3:40 漢字 2:40-3:40	8 生け花1,2年 2:40-3:40 3-6年 3:45-4:45	9 普通4,5,6年 3:40-4:40 英語 3:40-4:40	10 ミニバスケット 2:30-5:00
スポーツフェスタ 振り替え休日						土ようひろば *めざせ得名人 10:00-12:00
		13	14 高橋2年 2:40-4:30 野球 2:40-4:40 よさこい 2:40-3:40	15 ソフトニス 3:40-4:40	16 普通3年 1:40-2:40	17 青少年 みんなの音楽会 1:00-
	18	19	20	21 高橋3年 2:40-4:40 野球 2:40-4:40 漢字 2:40-3:40	22 生け花1,2年 2:40-3:40 3-6年 3:45-4:45	23 英語 3:40-4:40
	市民まつり参加 2:40-3:40 数学観望,4年 2:30-3:30 ミニバスケット 5,6年 3:40-4:40 (小平第六小学校)					ミニバスケット 2:30-5:00 野球 1:30-3:30 普通 2:00-4:00 土ようひろば *めざせ得名人 10:00-11:30 *開催を断る 10:00-11:30
	25	26	27 高橋4,5,6年 2:40-4:40 よさこい 2:40-3:40	28	29	30
	普通2年 2:40-3:40 花組発表 2:40-3:40					ミニバスケット 2:30-5:00 ハイキング 黒瀬山



コーディネーターや地域の方々などの参加

●採用・募集

- ・「大人のしゃべり場」「異業種de話・飲」などの交流で地域人材の発掘!
- ・子ども教室の説明会を開催して、保護者の理解と協力を拡大!

●配置人数

- ・実行委員 校長・副校長以下16人
- ・コーディネーター 1人
- ・安全管理員 34人(延 419人)
- ・指導者 28人(延 498人)

■安全面で「みまもりネットワーク」の支援!

■PTAからの定期的人材の協力!

事業を実施して

- 楽しく活動し、集中力がアップした。 ●教室が異なる年齢構成のため、お互いを思いやる心が育ってきた。
- 地域の大人と気軽にあいさつや話ができるようになり、大人にとっても、子どもたちと関われることで、喜びが増した。
- 地域、学校、PTAなどが「子ども」をキーポイントとして、「より良くするため」の行動を、自然にとることができるようになってきた。
- 学校の積極的支援(特に施設提供)をいただき、学校と地域の連携が進んだ。 ●学校及び地域の情報交換の機会が増えた。

三小ひのっち【東京都日野市】

～地域の子どもは、地域で育てる!～

◆事業の目的・理念

- 「地域の子どもは、地域で育てる!」をモットーに、放課後の教室や校庭・体育館を開放、子どもを見守る地域の協力者である「ひのっちパートナー」を配置して、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを目的として実施している。
- 自由に過ごせる場所であることを基本とし、これに加えて週に1～2回程度、遊びや学びのプログラムを実施、様々な遊び・体験・交流・学習活動の機会を提供している。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	211日/年間	
参加人数	65人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

- 日野市立日野第三小学校会議室、体育館、校庭、ランチルームなど

教室の開催日

- 給食のある平日及び夏休み 午後1時30分～午後5時
※暗くなる前に下校することを原則としており、冬季は「下校の声かけ」を午後4時または午後4時30分に行っている。

参加対象者

- 市内在住・在学の小学生

申込み手続きなど

- ひのっちの受付教室又は子育て課窓口(市役所2階)に、登録書を提出 ※登録は小学校を卒業するまで有効
- 登録・参加共に原則無料



工作(ポージョボー人形作り)に熱中しています

活動内容

●安心して自由に遊べる・過ごせる居場所づくりが基本

地域の大人が子どもたちの自由な遊びを温かく見守り、優しく、時に厳しく接し、地域でしかできない子育ての場を創造している。

●学習アドバイザーによる遊びや学びのプログラムも実施

自由遊びのほか、地域の大人に学習アドバイザーとして参画を得て遊びや学びのプログラムを実施し、様々な遊びを通じて子どもたちの社会性、自主性、創造性等の豊かな人間性の涵養を目指している。

●主なプログラム

【工作・ものづくり】

- 「時間割表」作り ●可愛い「手さげ袋」作り

【スポーツ・レクリエーション】

- ユニホック ●卓球 ●ビーチボール ●ペーゴマ

【季節の行事】

- 母の日・父の日・勤労感謝の日のカード作り
- 七夕の短冊作り ●クリスマスオーナメント作り
- ハロウィンパーティ
- クリスマスパーティ ●節分豆まき



節分～鬼は外! 福は内!

学童クラブとの連携

- 校舎内に併設されている学童クラブの児童の参加も受け入れている。
- 活動場所を共有するときは、お互いに協力しながら全体の見守りを行っている。
- 学童クラブの児童がひのっちに参加する場合は、学童クラブ職員がひのっちの受付を行い、ひのっちパートナーの受付事務の負担の軽減を図っている。(試行中)

6月の予定(三小ひのっち)		
日	行事	受付時間
1日	ひのっち開校式	1時30分～5時
2日	ひのっち開校式	1時30分～5時
3日	ひのっち開校式	1時30分～5時
4日	ひのっち開校式	1時30分～5時
5日	ひのっち開校式	1時30分～5時
6日	ひのっち開校式	1時30分～5時
7日	ひのっち開校式	1時30分～5時
8日	ひのっち開校式	1時30分～5時
9日	ひのっち開校式	1時30分～5時
10日	ユニホック教室	1時30分～5時
11日	ユニホック教室	1時30分～5時
12日	ユニホック教室	1時30分～5時
13日	ひのっち開校式	1時30分～5時
14日	ひのっち開校式	1時30分～5時
15日	父の日のカード作り	1時30分～5時
16日	父の日のカード作り	1時30分～5時
17日	可愛い「手さげ袋」作り	1時30分～5時
18日	可愛い「手さげ袋」作り	1時30分～5時
19日	卓球教室	1時30分～5時
20日	卓球教室	1時30分～5時
21日	ひのっち開校式	1時30分～5時
22日	ひのっち開校式	1時30分～5時
23日	ビーチボール教室	1時30分～5時
24日	ビーチボール教室	1時30分～5時
25日	ビーチボール教室	1時30分～5時
26日	ビーチボール教室	1時30分～5時
27日	ひのっち開校式	1時30分～5時
28日	ひのっち開校式	1時30分～5時
29日	ひのっち開校式	1時30分～5時
30日	ひのっち開校式	1時30分～5時
31日	ひのっち開校式	1時30分～5時

「プログラム」

- 1日(水) 午後2時から「ユニホック」教室 場所: 体育館
- 15日(月) 午後2時から 父の日の「カード作り」 場所: ランチルーム
- 17日(水) 午後2時から 可愛い「手さげ袋」作り 場所: ランチルーム
- 18日(木) 午後2時から「卓球」教室 場所: 体育館
- 24日(水) 午後2時から「ビーチボール」教室 場所: 体育館

放課後は「ひのっち」で、楽しく過ごしてくださいね!

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集** ひのっちパートナー(安全管理員)と学習アドバイザーは、「地域の保護者」として子どもたちを見守り、育んでいく意欲を持ってひのっちに協力して下さる地域の方に登録いただいている。
当初、市の広報や地域の団体へのチラシ配布等により募集していたが、事業開始後は口コミなどで協力の輪が広がり、現在三小ひのっちではひのっちパートナーの募集を停止している。
- 配置人数** ひのっちパートナー5人を配置。遊びのプログラム開催時には、ひのっちパートナーのほか学習アドバイザーを適宜配置している。

事業を実施して

- 自由な集団遊びの中で、同じクラスだけでなく他のクラスや異学年の子どもたちとの交流が盛んになった。また、幅広い年齢層のひのっちパートナーとの異世代間交流が図られるようになった。
- 平成19年6月に市内の小学校全校(当時18校)で一斉に事業を開始した。事業開始から2年が経過し、学校や保護者などの理解も進んできている。
- ひのっちが、子育てに関わる人材の掘り起こしのきっかけとなり、地域ぐるみで子育てする環境づくりの推進に寄与している。
- 子どもたちの放課後の安全で安心な居場所づくりを実現するとともに、地域の大人(特に団塊世代以上の方々)の活躍の場としても大変有効に機能している。

六小ふっさっ子の広場【東京都福生市】

～地域のかかわり、広がる活動～

◆事業の目的・理念

- 放課後等に、児童が安全に過ごせる場所の提供。
- 学年を超えた児童相互交流の中で、児童の自主性、社会性、協調性等の育成。
- 児童の保護者及び地域住民と協力し、児童が健全に過ごすための環境づくり。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	237日/年間	
参加人数	36人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

広場の実施場所

- 福生市立福生第六小学校のなかよし談話室及び、校庭、体育館など

広場の開催日

- 月～金曜日 夏時間(4月～9月) 放課後～午後6時
冬時間(10月～3月) 放課後～午後5時
- 夏休み、冬休み、春休み等の長期休業中は午後1時から

参加対象者

- 当該小学校に在籍している小学生、及びその学区に住む私立・国公立の小学生を対象に実施

申込み手続きなど

- 緊急時に保護者の連絡先等を把握するため、事前登録が必要。登録済であれば、保護者の了承の下いつでも参加が可能。
- 参加、登録ともに無料。ただし、地域の皆さんの協力で特別なイベントを実施するときは、材料費等の実費相当額を徴収することがある。また、イベントが実施される日でも、並行して自由遊びが行われており、児童はどちらにも自由に参加することができる。



児童主催のお楽しみ演奏会

活動内容

- 学年の異なる友だちと一緒に学んだり、遊んだり、子ども同士の交流や自主的な遊びを大切にし、できるだけ子どもたちを管理せず自由に過ごせる空間を目指している。
- 高学年企画のイベントを開催するなど学年の異なる友だちの交流も盛ん。異学年の有志児童たちで、みんなで楽しめる企画作りやにぎやかなお祭りをを行うなど、工夫を凝らした様々な企画により、全体での交流が行われている。
- H.21.12月実施プログラム
貝がら工作、プラ板工作、卓球教室、クリスマスリース工作、百ます計算、草笛、紙芝居、ボール運動、パターゴルフ、ラッピング等 計14件



ボール運動のサポーターとサッカー



工作のサポーターと松ぼっくりで鶴の工作

利用実績 (H20年度)

- 小学校児童数 457名
- 六小ふっさっ子の広場 登録児童数 416名(登録率91%)
- 来室児童数 延べ8,518名 (1日平均 約36名)
- 開設日数 延べ237日

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
サポーター(ボランティア)
毎月発行しているおたよりの自治会への回覧や、ポスターの掲示等で募集。サポーター同士の交流等を目的に「サポーターのつどい」を開催しネットワークを広げている。
- 配置人数
統括指導員(コーディネーター)
…配置人数1名
指導員(学習アドバイザー)
…配置人数2名
安全見守り員(安全管理員)
…登録人数4名、配置人数1名
サポーター(ボランティア)
…登録人数76名、一日平均1.2名来室
- 地域の方にお手伝いしていただき、昔遊びやものづくり、読み聞かせ、学習サポート等、それぞれの得意分野を教えてもらい、様々な体験ができる環境づくりに努めている。

事業を実施して

- 「ふっさっ子の広場」開設以来、以前に比べ学年の異なる友だちでの交流の機会が増えた。また地域住民からの支援により、地域住民や保護者の積極的な広場への参加による世代間の交流が行われ、目的の一つである人との関わりの中で育まれる社会性や自主性、協調性を学べる環境ができた。

<保護者の声>

顔なじみの子どもたちはもちろんのこと、まったく接点のない児童とも触れ合う場が持てて、楽しみながら参加している。「ふっさっ子の広場」へ通うようになってから、子どもが地域であいさつできる大人が増えた。このことは、子どもの地域での安全につながっている。

渋谷きんりんわんぱく広場【神奈川県大和市】

◆事業の目的・理念

- 平成16年度から大和市・渋谷中学校学校開放管理運営委員会・渋谷きんりん未来の会の三者協働事業として「地域と学校の連携による大和市立渋谷中学校学校開放事業」が行われており、児童対象事業の一部が平成20年度から補助対象となった。
- 大和市立渋谷中学校を生徒のみならず地域住民にとっても学びの場とし、地域に開かれ地域に密着した学校開放を推進し「地域に根ざし、地域の未来を担う学校づくり」を実現することを目的とする。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	347日/年間	
参加人数	22人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

- 渋谷中学校の総合学習スペース、武道場など

教室の開催日

- 毎日 10:00~17:00
※上記時間帯で総合学習スペースの一部を市民一般に開放
※小学生の平日利用は放課後17:00まで
※休館日 月に1回の施設管理日、12月29日~1月3日

参加対象者

- 特に制限なし(主に渋谷小学校区)
- 各種事業に参加する場合は、事業によって対象あり

申込み手続きなど

- 登録は行わず自由に参加できる ●各種事業に参加する場合は、事業によって申込みあり



総合学習スペースには色々なエリアがあり、自由遊びや読書、パソコン体験などが可能。講座やレクリエーションなどの事業も行われる。

活動内容

- 自由遊び、読書、パソコン体験
- 総合学習スペースなどで行われる事業 映画鑑賞、パソコン、リコーダー、花、ドミノ、おはなし会、夏休み学習会、手芸、しめ縄、木工、UNO、切り文字、予定表作り、調理、大掃除、ディスプレイ
- 武道場・体育館で行われる事業 ドッジボール、ドッジ・ビー、ペタンク、バウンズボール



地域の人に教えてもらおう(花かご)



武道場で遊ぼう

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 市民団体である渋谷きんりん未来の会(理事13名、運営スタッフ27名)により運営されている。協力を希望する場合は渋谷きんりん未来の会に要相談。
- 配置人数 受付窓口には常時2名のスタッフが配置されている。小学生の利用が多く見込まれる休日や、事業運営に必要な場合には参加スタッフの増員がある。
- 講座(手芸、工作、季節の行事など)の支援や、スタッフ研修(子どもとの接し方、防犯・防災研修など)の講師として地域の方々の参加や協力がある。

●渋谷きんりん未来の会について

「地域と学校の連携による大和市立渋谷中学校学校開放事業」における施設の管理運営、講座企画等を行う協働事業の受け手として、地域住民・地域市民団体で発足。地域に開かれ地域に密着した学校開放を推進する目的のもと、実施する具体的な事業内容としては次の6点が挙げられる。

- 会議室・特別教室等の貸し出し等を通じた市民活動活性化事業
- 下和田地区の児童館機能、子どもや保育者、中高生、高齢者などの居場所としての事業
- 閉校した下和田小学校の思い出を伝える事業
- 国際交流や外国人青少年の支えあいの場としての事業
- 環境教育の支援事業
- 情報発信事業(「下和田の郷通信」毎月発行、ホームページ、小学生向けお知らせ配布等)

事業を実施して

- 少子化、核家族化の進行など児童を取り巻く環境の変化に対応できるよう、地域と連携しながら児童の安全な活動場所を作っていきたい。
- 様々な事業を行っているが、子どもたちの発案でUNO大会が開催されるなど成長が感じられる場面があった。何より子どもの希望を実現できたのがよかった。
- 自由な参加であり、訪れる子どもの顔ぶれも年々変わっているが、久しぶりに成長した姿を見せに来てくれる卒業生などもいてうれしく思っている。
- 例年行っている事業についての問い合わせがあるなど、活動が地域に定着してきたことを感じている。

ふるさと学習クラブ【新潟県阿賀町】

～地域と共に学び育てる「心のふるさと」～

◆事業の目的・理念

- 子どもたちが一人で過ごすことが多くなっている中、自由に考え行動できることを目的として、友達とかかわり、自主的に学習ができるよう手助けを行います。
- 子どもたちが、創作体験活動や「ふるさとの自然」を肌で感じたり、地域の人たちとの交流を通して、共に影響し合いながら成長することを目指しています。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	220日/年間	
参加人数	5人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

- 阿賀町ふるさと学習館(旧三川小学校校舎)

教室の開催日

- 月～金曜日 14:00～17:00 ●土曜日 9:30～11:30

参加対象者

- 旧三川小学校の学区内に在住する小学校3年生から6年生
※兄弟がいる場合は1年・2年も可

申込み手続きなど

- 申込書を学校に提出 学校→ふるさと学習クラブへ
- 申込み後、最初の活動日に保険料(スポーツ安全保険)を持参



仲良く宿題に取り組む子どもたち

活動内容

●平日の活動

【宿題・プリント学習の時間】

30分程度を目安に、学校の宿題等を実施。早く終わった児童や、希望する児童は学習館で用意したプリントで学習する。平日は比較的少人数のため、分からないところを尋ねてくる児童には、個別の指導を行っている。

【創作体験活動の時間】

版画の作成、塗り絵など、学習とは別に準備している。夏休みなど、長期休業中には熱心に通う児童が多い。

【あそびの時間】

空き教室を利用した鬼ごっこや探検。体育館でのハンドベースボールやドッジボール遊びを中心に行っている。

●土曜日の活動

【創作体験活動】

毎週違ったプログラムを用意し創作体験活動を行っている。材料費がかかるので事前に参加希望を募り実施。自由な雰囲気の中、工作が苦手な児童もいきいきと創作活動に取り組んでいる。

また、地域の自然にふれあう機会として、川遊びなどの外遊びや公民館で行う「キャンプ事業」と連携した取組も行っている。



川遊び(夏休み番外編)



ハンドベースボール(あそびの時間)

◎創作体験活動

日程	活動内容
第1回	石拾い・石の工作①
第2回	石の工作②
第3回	マイはしを作ろう!
第4回	サンドイッチ作り
第5回	カイト作り
第6回	風鈴作り
第7回	カヌー体験
第8回	白いカレー作り
第9回	三角ヘリコプター
第10回	シーフードパスタ作り
第11回	紙のスタンド作り①
第12回	紙のスタンド作り②

※9月分まで

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集** 子どもとの親しみや関わりあいを重視し、教員OBや学校での勤務経験者をお願いしている。ボランティア(登録制)はプログラムの内容に応じて募集している。
- 配置人数** 運営体制としてコーディネーター1名、学習アドバイザー1名、安全管理員1名を配置。子どもたちの日頃の活動は、学習アドバイザーを中心に進めている。
- コーディネーター**は、放課後児童クラブの指導員も兼ねており、互いの事業の調整を図っている。

事業を実施して

- 学習アドバイザーの魅力に吸い寄せられるように、子どもたちの他、地域の大人も集まるようになってきて、旧校舎が以前の学校のように活気が出てきた。
- 子どもたちも活動を楽しみにしており、学校・保護者との連携も図られきた。特に、6年生が中心となってまとまりが出てきており、学校生活においても、リーダーシップを発揮するなど、その効果が表れてきている。
- 小集落が点在する地域のため、子どもたちは身近な遊び相手が少ない。子ども教室での体験活動や遊びを通じて、子どもたちは「心のふるさと」を育む大切な経験を積んでいる。
- 指導者には地域の人も加わり、お互いの顔が見える地域づくり・人間関係づくりが進んでいる。

元気ッズ「陽南教室」(富山県上市町)

～安心・安全な子どもの居場所づくり～

◆事業の目的・理念

- 地域の人々の参画を得て、子どもたちが安全に安心して過ごせる活動場所（居場所）を設け、子どもを預かるのではなく、子どもたちの自主的な活動を支援することを目的とする。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	200日/年間	
参加人数	18人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

- 陽南小学校のミーティングルーム、体育館

教室の開催日

- 平日(祝日を除く月～金) 授業終了後～18:30
- 夏休み 9:00～13:00

参加対象者

- 陽南小学校の校区内に在住する1年生から6年生までの全児童

申込み手続きなど

- 年度末に学校を通じて、配布される申込用紙に保険料を添えて実行委員会に申込む。なお、申込受付は年間を通じて、随時行っている。

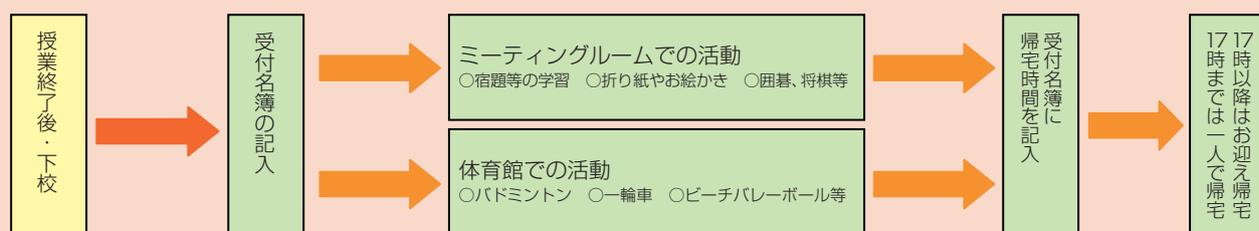


体育館でビーチバレー

活動内容

- 活動場所である陽南小学校のミーティングルームに隣接して体育館があり、放課後に子どもたちが自由に過ごすことができ、指導者も見守りやすい配置となっている。ミーティングルームでは宿題等の学習活動に併せ、お絵かき、折り紙、囲碁、将棋、オセロ等の遊び又、体育館ではバドミントン、ビーチバレーボール、ドッジボール、一輪車等の体力作りにと、子どもたちが自由な形で過ごせる安心・安全な場所を提供している。1年生から6年生まで全学年の児童が毎日のように訪れ、上級生が下級生の面倒をみる姿もみられ、時にはけんか等のトラブルも発生するが、指導者がそれを暖かく見守り、支えるスタイルが定着している。また、教室は18:30まで開催(夏休み除く)しており、共働き家庭等の保護者の要望にも応え、好評を得ている。

元気ッズ「陽南教室」の過ごし方



コーディネーターや地域の方々などの参加

- **採用・募集**
元教員、元保育士等の地域の方を中心に随時募集を行っており、事業に賛同していただける方に協力いただいている。
- **配置人数**
コーディネーター、学習アドバイザー、安全管理者を各1名ずつ配置している。



指導者と囲碁対局

事業を実施して

〈指導者から〉

教室は1年生から6年生が参加しているため、異学年の交流が自然とでき、また、地域での交流もできている。もちろん、子どもたちだけでなく、指導者として参加している地域の人々、迎えにくる保護者のいい交流の場となっています。

〈保護者から〉

放課後に子どもたちが安全に活動できる場所があり、安心して預けることができ、非常に助かっている。また、他の保護者の方や、お世話をいただいている地域の方々との交流ができ、嬉しく思っています。

野向子ども教室【福井県勝山市】

～地域の子どもは地域で育てる～

◆事業の目的・理念

- 地域の人たちと食育活動を中心にさまざまな体験活動、交流活動をおこない、子どもたちの自主性、社会性、創造性を育むとともに、地域教育力の活性化を図る。
- 伝統行事や伝統食文化に親しむことで、子どもたちの郷土愛を育む。
- 親や地域の人たちに子育ての楽しさを感じてもらうことで、家庭教育力を高める。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	292日/年間	
参加人数	19人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

- 野向児童ホール

教室の開催日

- 月～金曜日 13:30～18:00 ● 土曜日 8:00～18:00
- 長期休暇期間中は、月～土曜日まで8:00～18:00

参加対象者

- 野向小学校の学区内に在住する小学生(1年生～6年生)

申込み手続きなど

- 学校を通じて配布される参加申請書を子ども教室に提出する。
参加料金は、不要。ただし、必要に応じて教材費の一部負担がある。



「スキンシップダンス」にて

活動内容

- 地元特産の「えごま」を苗植えから栽培して収穫している。さらに、えごまを材料としたクッキング教室や地元の行事でえごまスイーツの販売をすることにより、食育を実践している。
- リトミック教室やクラフト教室などの体験学習をしたり、ハロウィンやクリスマス会などの季節の行事を行うときは、児童だけで行うのではなく、保護者や地域住民に積極的に参加していただき、地域交流や世代間交流の場としている。
- 地区の伝統行事とつながりをもって、子ども教室を行い、子どもたちの地域愛を育てている。
- 野向小学校の全児童が放課後子ども教室に登録しており、学校と毎日の子どもの様子を連絡しながら指導育成にあたっている。



えごまスイーツ販売体験学習

平成21年度の主な活動

4月	蓬摘み体験 団子祭り(伝統行事に参加)
5月	リトミック教室(スキンシップダンス)
6月	クッキング教室&木工教室(ほお葉めしづくり ほお葉風車作り) えごまの苗うえ(野向町の特産農作物) 親子ドッジビー教室
7月	紙工作教室(七夕飾り)
8月	えごまクッキング教室 木工教室(竹の水てっぽう) 寺子屋サイエンス(科学実験)
9月	こどもエアロビ教室
10月	えごまスイーツ販売体験学習(コスモス祭り) 縄作り体験 クラフト教室(秋のフレーム作り)
11月	えごま収穫体験
12月	紙工作教室(クリスマスカード作り)
1月	木工教室(凧作り)

コーディネーターや地域の方々などの参加

●配置人数

コーディネーター1名は、市内の他の放課後子ども教室を兼務している。学習アドバイザー2名と安全管理指導員1名は、常勤している。

■ボランティアで、地域の方が行事のサポートや体験学習の指導に当たっている。

事業を実施して

<子どもたちの声>

むかしの遊びを地域の人におしえてもらえておもしろかった。えごま作りを通して特産品のことがよくわかった。

<保護者の声>

いい社会勉強をさせてもらえるのでうれしい。子育てについて一緒に話せる仲間ができてうれしい。

<学習アドバイザーから>

地域とのつながりが深まり新しい企画が次々生まれ、マンネリ化しないので、子ども達もたのしく活動できている。

笛吹市放課後子ども教室【山梨県笛吹市】

～学校、地域との連携による実施～

◆事業の目的・理念

- 小学校において、放課後の時間帯に学習内容の復習やスポーツ、文化活動等、様々な体験活動を実施することにより、交流活動を通し豊かな人間性を育まれるような環境づくりを推進する。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	147日/年間	
参加人数	44人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

- 富士見小学校、石和西小学校の教室、体育館、校庭

教室の開催日

- 富士見小学校 月・水・金 15:10～15:55 火・木 16:00～16:45
- 石和西小学校 月・水・金 15:00～15:45 火・木 15:45～16:30

参加対象者

- 富士見小学校
4年生から6年生の希望者(復習教室、体験教室)
- 石和西小学校
4年生から6年生の希望者(復習教室)、全学年の全児童(体験教室)



自然観察についての学習

申込み手続きなど

- その都度、学校で申込書等を配布し、参加希望児童は、学校に申込書を提出する。

活動内容

●復習教室

- ・算数、国語の復習
- ・各自が持ちよった課題学習

●体験教室

- ・昔遊び、俳句、料理、茶道、音楽(合唱、器楽)、囲碁、将棋、パソコン、工作、百人一首、絵画、書道、水泳、サッカー、ミニバス、パタンク、華道、昔話の会、自然観察、琴、篠笛など



篠笛教室

12月の活動内容

月	日	曜日	石和西小学校	富士見小学校
12	1	火		復習教室
	2	水		復習教室
	3	木		復習教室
	7	月	復習教室	
	9	水	体験教室(書道)	
	14	月	復習教室、体験教室(書道)	
	15	火		復習教室
	16	水	体験教室(書道)	復習教室
	17	木		復習教室
	18	金		復習教室
	21	月	復習教室	
	28	月		復習教室 体験教室 (正月飾り、パソコン、将棋、百人一首、オセロ)

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 退職教員で組織するNPO法人「学びの広場ふえふき」の方々、コーディネーター、学習アドバイザー、安全管理員として指導。
- 配置人数 コーディネーターが1名、学習アドバイザー、安全管理員については、学校と調整をする中で適宜に配置。
- NPO法人「学びの広場ふえふき」は、役員としての理事、監事を置き、代表の理事長、その下に事務局長、事務局職員から組織され、教職員が退職後も長年の教職経験を生かして何らかのかたちで学校教育を支援し、市内の児童生徒の健全育成に役立ちたいという声を元に設立された。
構成員は、退職教職員を中心に72名が会員として登録しており、活動の運営に関しては、会員1人1人の特性を生かすため会員の意向調査を実施したり、専門分野で活躍されている地域の方々の協力を得て多彩な活動の企画に努め、また、学校と定期的に話し合いの場を持ち、活動の場の確保と内容の充実を図っている。

事業を実施して

<参加者の声>

- ・わからないことを、わかるまで教えてくれて嬉しかった。
- ・はじめて参加した時は、不安だったけど慣れてきて楽しい。
- ・「次は、こうしようね」とか「次もがんばろう」とかアドバイスをしてくれ本当に参加して良かった。

<保護者の声>

- ・勉強をはじめ、色々な体験もできるので、子どもたちも喜んでいる。

- ・家に帰って子どもだけで過ごすよりは、友達と仲良く過ごすことが出来るので、とても安心である。

<関係者の声>

- ・授業中では見られない姿も目にする事ができ、新たな発見のある場所でもある。
- ・様々な人、年齢の異なる子ども同志と出会い交流する中で、まっすぐに成長してほしいと願っている。

高森町ふれあいスクール【長野県高森町】

～地域の子どもは地域で育てる～

◆事業の目的・理念

- 児童が通い慣れている学校施設を活用することによって、その利便性による時間の確保と空間の確保を行う。
- 心から遊びなどを楽しみ、学年やクラスに分け隔てなく交流し、仲間づくりや互いに理解しあえる関係を築く。
- 児童も大人も共に生き共に育ち合う場を創造する。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	210日/年間	
参加人数	80人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	●	—
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	●	—

教室の実施場所

- 高森南小学校の体育館内専用ルーム、体育館など
- 高森北小学校プレイルーム、体育館など

教室の開催日

- 月～金曜日 14:00～16:30 ● 夏・春の長期休業

参加対象者

- 高森町の南・北小学校の学区内に在住する小学生

申込み手続きなど

- 新一年生については、入学説明会の際に申込書を渡している。
- 新2年生以降の学年については、教育委員会に直接手続きを行う。
- 参加料金は不要。ただし、当初に帽子代・保険料・教材費の負担をお願いしている。



ものづくり教室（木工体験）

活動内容

- 高森町の取り組み「ふれあいスクール」は、町内2校の小学校施設を利用して、1～6年生までを対象にした「ふれあいクラブ」[放課後子ども教室(文科省)]と、1～3年生までの低学年用の「学童クラブ」[放課後児童クラブ(厚労省)]で構成され、高森町教育委員会で運営委員会を設け、学校教育係が所管し一体的に運営している。
- 各学校には各2名担当教諭をおき、定期的にそれぞれのスタッフと連絡会を実施し、児童指導、安全対策等連携を図っている。
- 「ふれあいスクール」は、原則学校の登校日(「学童クラブ」の児童は土曜日も受け入れ)と夏・春の長期休業に開設し、加入は、年度末の指定期間内に保護者から直接申し込みを受け付け、教育委員会職員により面接を実施し、「ふれあいクラブ」が「学童クラブ」を判断している。

- 「ふれあいスクール」加入の子どもたちは、授業が終了すると、クラブ毎に受付を済ませ、専用のオレンジ帽子を着用し、決められた活動を行っている。

学校の授業終了【下校】		
一般児童	ふれあいクラブ (放課後子ども教室)	学童クラブ (放課後児童クラブ)
	体育館玄関に荷物を置き出欠表を記入	専用ルームで出欠表を記入
	オレンジ帽子着用 学習、体育館・校庭 裏山の森で遊び活動 (学校校舎内へは入らない)	オレンジ帽子着用 学習、体育館・校庭 裏山の森で遊び活動 (学校校舎内へは入らない)
16:30 完全下校帰宅	一般児童16:30(帽子返却)、完全下校 帰宅	16:30 専用ルームに集合
	出席確認 おやつ時間	
	専用ルーム・体育館・校庭 裏山の森で遊び活動	
	18:00 保護者迎え帰宅	

ボランティアによる紙芝居

コーディネーターや地域の方々などの参加

● 採用・募集

町の採用基準により、募集し採用しています。

● 配置人数(2校の延べ人数)

安全管理員：4人
学習アドバイザー：4人
コーディネーター：1人
その他ボランティア：10人

- 長期休暇(夏休み・春休み)を中心に地域のボランティアの皆さんをお願いして、竹とんぼ作りや布草履作り、水生生物調査等をお願いしています。又、保護者の皆さんも交代で参加をお願いし、親子の係わり合いの時間もお願ひしています。

事業を実施して

- 異年齢の子どもたちが集まる「ふれあいスクール」の場所は、自然と年上の子どもが年下の子どもたちの面倒をみている。学校での活動とは違う縦割りの生活は、多くの社会でのルールを身につけることができ、一定の評価が望める。
- 保護者からは、学校という安全面が確保された施設で活動することが、安心して子どもを預けることが出来ると評価されている。
- 年々参加者が増加しており、また、学校の児童数も増えていることから、学校内での場所の確保が難しくなっている。
- 保護者は子どもを任せることで、自分が親としての教育をしなければいけない立場を失いつつあり、行政の過剰な家庭支援が親子のつながりを失わせる要因にもなるため、現在事業のあり方を再検討している。

下野放課後クラブ【岐阜県中津川市】

～地域ぐるみで、学びあい、支えあい、きずなを深める～

◆事業の目的・理念

- 地域の子どもを対象として放課後に安全・安心な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域の教育力を集結し、子どもたちと勉強やスポーツ・文化活動等を地域ぐるみで行う。併せて、放課後の児童の「健全な生活」と、親の「就労と子育ての両立」の支援も行う。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	200日／年間	
参加人数	7人／1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

- 下野小学校内の専用スペース
※体育館の器具庫を改装し、専用居室としている。野外の活動は、主に運動場と駐車場を利用している

教室の開催日

- 学校のある日の放課後（下校時間～18:00まで）
※春・夏・冬休みなど長期の休みは除く

参加対象者

- 下野小学校に通学する1～6年生で参加を希望する児童

申込み手続きなど

- 学校を通じて「下野放課後クラブ活動趣旨」に同意の上、参加申込書を提出する。
- お菓子、活動費、保険代等の必要経費は参加者が負担する。



指導員の方々と和気あいの様子

活動内容

- 児童は『クラブの約束』を守りながら、宿題や読書、四季折々の行事、自由遊び等を実施。指導員は『指導員の心得』を徹底している。
- クラブの約束
(1) あいさつをしよう [こんにちは、おねがいします、ありがとう、ごめんなさい、さようなら]
(2) ルールをまもりましょう [クラブを離れる時は指導員に言ってから、他人の嫌がることはしない、物を大切に、おもちゃやゴミを片付ける]
- 指導員の心得
(1) 施設・遊具の安全の徹底 [不審者・災害・交通事故の発生の対応…マニュアルを作って徹底を図っている]
(2) 安心 [守秘義務(個人の健康面や友人関係)、仲良く遊ぶ指導をする]
(3) 事務 [活動記録・日誌の記帳]

一生懸命勉強!

◆下野放課後クラブの一日◆

1. 手洗いうがい 2. 宿題 3. おやつ 4. 遊び 5. 掃除 6. 迎え

◆お楽しみ会(四季折々の活動)◆

春: ひな祭り、お花見、端午の節句
夏: 七夕
秋: 落ち葉、木の実拾い、紅葉狩り
冬: クリスマス会、雪遊び、たこあげ

時 間 割	
～16:00	自由遊び
16:00～16:30	宿題・復習等
16:30～18:00	自由時間



みんなでボール遊び♪

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
下野区長を通じて下野住民にボランティア参加を呼びかけている。安全管理員(指導員)は常時募集している(資格は有さなくてもよい)。
- 配置人数
安全管理員(指導員)は常時1名(登録数6名)※通常、指導員や先生と呼ばれている。
- 活動の運営は、安全管理員を中心に下野住民の協力で行われている。
・ 学校との連携により参加児童一人一人の健康状態を把握しながら活動している。
・ 行政担当者の定期的な訪問により、安全管理員(指導員)による安全管理の徹底に努めている。

事業を実施して

- 地域、学校、行政との連携による地域ぐるみの取り組みが、地域のきずなを深める活動となった。
- 指導員は、毎日子どもたちを温かく見守りながら、楽しく活動をしている。また、この活動を通じて、企画・運営力が備わってきた。
- 地域の実情に応じたクラブ運営をしたことで、保護者より感謝の声が沢山寄せられている。

<保護者の声> 「仕事をしており、毎日下野放課後クラブで宿題をすませ、常に指導員の人と一緒にいるので安心しています。」

荻谷放課後子ども教室【愛知県幸田町】

～放課後の安全・安心な居場所づくり～

◆事業の目的・理念

- 小学生を対象として、安全・安心な活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を推進する。
- 児童が学年を超えた交流をするなかで、生活習慣を身につけ、自主的に約束を守ることができるように支援する。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	237日/年間	
参加人数	17人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	●	—
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	●	—

教室の実施場所

- 荻谷小学校の多目的室(学校行事等で多目的室を使用する場合は、図書室)、体育館、運動場など

教室の開催日

- 月～金曜日 放課後～18:00
- 夏・冬・春休み、学校振替休日 8:00～18:00

参加対象者

- 荻谷小学校の学区内に在住する小学生

申込み手続きなど

- 学校を通して入会案内を配布。入会申込書を町教育委員会に提出。入会決定を受けた児童は、参加予定表を提出して参加。
- 手数料 1ヶ月当りの利用日数が10日以下…1,750円 1ヶ月当りの利用日数が11日以上…3,500円。
- 安全管理面から、保護者によるお迎えを依頼。(夏・冬・春休み、学校振替休日は送迎を依頼)



荻谷小学校中庭での食事タイム

活動内容

- 教室では、一日の流れを次のような計画で実施している。下校して教室にきたら、宿題タイム⇒宿題が済んだところで、自由遊び⇒おやつタイム⇒自由遊び⇒教室での自由遊びで迎えを待つ。きちんとさせたいこととして《宿題タイムには静かに集中できること》・《トイレのスリッパをきちんと整頓できること》を意識している。生活習慣が身につく、自主的に約束を守ることができるよう指導している。
- 児童の自由遊びや自主学習を基本としている。教室に入るとすぐ自主的に宿題に取り組み、終わると運動場や体育館で、野球・サッカー・ホッピング・タイヤ跳びなどで遊ぶ。教室内では、お絵描き・折り紙・卓球・バドミントン・トランプ・UNO・将棋・百人一首・ブロック遊びなど、自分のペースで伸び伸びと活動している。夏・冬・春休み、学校振替休日など、長時間教室で過ごす日は、自由遊びや自主学習に加え共通のプログラムとして、カルタ作り、ビンゴゲーム、手作りのボーリング大会、ゲートボール大会、フルーツバスケット、シャボン玉作りなどで遊んでいる。



表彰状と子ども教室参加者

コーディネーターや地域の方々などの参加

●採用・募集

本事業実施にあたり、非常勤職員を配置している。事業実施における役割として調整役のコーディネーターは、教職経験のあるものを雇用。学習アドバイザー及び安全管理員(指導員と呼ぶ)は、町広報誌で公募したが集まらず、地域のPTA役員経験者、子ども会指導者等への声かけにより応募を募り雇用している。

●配置人数

非常勤職員として雇用するコーディネーター(1名)・指導員(4名)の内、月～金曜日は、通常3名で運営した。夏・冬・春休みは、1名の指導員を追加し、6名で運営している。

事業を実施して

<子どもから>

- 同学年以外の友達が増えた。
- 宿題がきらいで、いつも遅くにやっているので、放課後子ども教室に入ってよかった。
- 遊ぶときは、野球とサッカーが楽しかった。

<保護者から>

- 昼間、安全に過ごせる場所があってありがたい。
- ゲーム以外に関心を持たなかった子どもが、野球など外で遊ぶようになり、積極的に友達ともかかわるようになった。
- 他の学年の子どもとも、安全に遊べる場所が良い。
- スタッフの方が年輩の方が多く、保護者の子どもの頃の遊びを教えてもらい、健康的に遊んでいる。

いなべコミュニティスクール【三重県いなべ市】

～地域でつくる地域の学校～

◆事業の目的・理念

- 子どもたちや子どもの活動に関わる方々が皆イキイキと輝けるように、地域の方々による地域の学校づくりを目標に、だれもが安心して過ごせる場づくりとともに、その基盤となる人づくりの推進と、子どもたちの夢の応援をする。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	229日/年間	
参加人数	13人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

- 員弁コミュニティプラザ、いなべ市健康センター、東小学校体育館、校庭、野外など

教室の開催日

- 水曜日(月間1回) 15:00～16:30 ●土・日曜日 9:00～15:00
- 長期休暇 9:00～16:30

参加対象者

- 員弁町、北勢町の小学校区内に在住する小・中学生及び未就学児など

申込み手続きなど

- 参加者募集チラシに基づき事務局へ申し込む。
- 年間登録料1,000円+保険料600円、長期休暇等の単発教室は参加費100円。(材料費は実費負担)



自然体験教室夏のキャンプ(川遊び)

活動内容

●月1回の水曜日と毎週土・日に行われる通年教室(17教室)

和太鼓、和楽器、能、などの伝統文化体験教室。体操・ダンス、伝承あそび・ニュースポーツなどの体験教室。英語、合唱、科学、お菓子作り、郷土料理、お花などの教室。読み聞かせと手づくりあそび教室。自然・地域の名所めぐりなどの野外活動教室。

●夏休みなど長期休暇に行われる単発教室(31教室)

着付け、陶芸、料理、手芸、科学、木工、工芸、書道、絵画、楽器演奏、生物観察、化石、省エネルギー、バリアフリー体験、その他ものづくり体験教室。

- イベントとしては、6月に磯たんけん日帰りツアー、12月にこどもまつりを開催。

平成21年度の主な活動					
週	水曜日	土曜日		日曜日	
	午後	午前	午後	午前	午後
第1		和楽器クラブ	和の教室	エジソン工房ジュニア	いなべ名所100選おにぎり隊
第2		エプロンハウス		楽しい和太鼓	
		パンポピーズ		おはなしと手づくりあそび	
第3	あそびのひろば	自然体験・環境エコ		うちごはん	やさしい体操・楽しいダンス
		アソビながらたのしいのう			
第4		パンポピーズ	お花であそぼう	楽しい和太鼓	
		台所からサイエンス	みんなでハモネブ	ごちゃまぜカメレオン	

参加実績

平成20年度	
実施回数	206回
参加のべ人数	2,842人
平成21年度(見込み)	
実施回数	229回
参加のべ人数	2,825人



こどもまつりでの舞台発表(体操・ダンス教室)

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
チラシの地区回覧を介して事業への賛同者を随時採用
- 配置人数
コーディネーター 3名
安全管理員 1名程度
学習アドバイザー 1名程度
ボランティア 1名程度
- 地域の婦人団体、文化サークルの方々に講師を依頼している

事業を実施して

- 地域の中での認知度が深まり、関心を持ってサポートしてくれる人が増えてきた。
 - 中学生のOBが積極的に応援してくれるようになった。
 - 子どもたちには様々な体験ができ、異学年や地域の人々との交流ができてイキイキのびのびができた。
- <参加者から>楽しい。いろんな体験ができた。他の学校や異年齢の友達ができよかった。
- <保護者から>こどもがいろんな事に興味関心を持つようになった。やり遂げる力がついた。ものづくり体験のおかげで工夫するようになった。

長五小すくすく教室【京都府長岡京市】

～地域の見守りのなかで 学ぶ、ふれ合う、体験する～

◆事業の目的・理念

- 子どもたちの安心・安全な活動の場を創り出す。
- 多様な学びや体験機会を提供し、子どもたちの興味や関心、意欲を引き出す。
- 多彩な住民の参画を促進し、地域ぐるみで子どもたちを見守り育む気運を高める。
- 世代間の交流を促進し、子ども、地域住民、保護者がともに成長する。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	120日/年間	
参加人数	50人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

- 長岡第五小学校の特別教室、運動場、体育館など

教室の開催日

- 平日(主に火・水曜日) 授業終了後～16:10
- 土曜日 9:30～11:10
- 学校の長期休業日などにも随時開催

参加対象者

- 長岡第五小学校の学区内に居住する小学生

申込み手続きなど

- 準備が必要な活動や定員のある活動は申し込み制。その他は自由に参加。
- 活動予定を学校を通じて配布。校区運営委員会のwebサイトでも周知。



夏休みに開いた日食観察会(H.21.7.22)

活動内容

- 平日は、図書室開放(読み聞かせ、読書)や、漢字・計算などの学習支援が中心。茶道、ヨガなどの体験活動も実施。
- 土曜日は、住民が“特技”を持ち寄って、カメラ・パソコン・アロマ・考古学などの教室や、世界の言語遊び、ものづくりなど、多彩な活動を用意。陸上経験者による走り方教室、「おやじの会」による球技遊びなども実施。
- 地元食材を使った料理教室、府や市の派遣する特別講師による科学学習、地域行事と連携した活動なども随時実施。



コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 コーディネーターは、学校と地域からの推薦に基づき市教委が委嘱。学習アドバイザーと安全管理員は、地域の住民や団体などに依頼。学校の図書館司書や非常勤講師、中学生などの協力も得ている。
- 配置人数 コーディネーター(1人)を中心に校区の運営委員会を組織。学習アドバイザー・安全管理員は活動内容により1～2人を配置。登録者数は合わせて約60人。

事業を実施して

- 放課後の過ごし方の幅が広がった。また、放課後児童クラブの子どもたちと他の子どもたちが、活動をともにする機会が増えた。
- 群れて学ぶ楽しさ、発見の驚き、達成の喜びなどを覚えながら、いきいきと活動する子どもたちの姿が見られる。
- 子どもたちが親や教師以外の大人と関わる機会が増えた。礼儀や規範意識を身につけることにつながっている。
- 大人同士の出会いや交流の場にもなっている。そのことは地域の活性化や、防犯力・防災力の向上にも寄与していくものと考えている。

長五小のみなさん・保護者様

平成21年10月1日

10月「すくすく教室」のご案内

長五小放課後子ども教室運営委員会

日時	教室名・主催	場所	内容・持ち物など
67, 1314, 21, 2728	『漢字と計算』(前橋さん) 『図書室開放』(前橋さん) 福島 水(20日休み) 火 15:40～水 14:40～16:10まで	図書室(3F)	『計算』と『漢字』をドリルを使って学びます。読書支援・学習支援なども相談下さい。目標を決めてやってみましょう。
24(土) 9:30～11:10	①『スポーツ 歌き矢』(前橋さん) 10～11時 ～楽しいスポーツ「ふきや」集中心も高まります～ ②『カメラ教室』(前橋さん) ～デジタルカメラで楽しい写真を撮ろう～	やすらぎルーム(3F) 会議室(1F)	① 胸を一心に吹いて的を狙い、矢を飛ばします。雄叫みの練習になります。集中心も高まり体力もつきます。いっしょに指導します。6年生限定10名。参加費100円 ② デジタルカメラで楽しい写真を撮ってみたいですね。デジタル撮影も可です。校外での撮影もあります。作品はプリントします。親子参加歓迎
21(水) 14:40～16:00	③『茶道 体験』(前橋 藤田さん) ～茶道で楽しくマナーを身につけよう～	ランチルーム(2F)	お茶とお菓子いただき楽しくお茶を飲みたいです。同時に礼儀やマナーを身につけたい。お茶の心を学びたい。ふくさ・握りもち・お菓子。お菓子代100円 定員20名
17(土) 9:30～11:10	④『世界の言葉で遊ぼう!』(前橋さん) ～世界の言葉を歌やゲームやトランプゲームで遊ぼう～ ⑤『勾玉(まがたま)作り』(前橋さん) ～古代人のだからもの。勾玉を作ろう～ ⑥『キッズアロマ教室』(前橋さん) ～ミントの石けん作り インフルエンザ予防の季節にも～ ⑦『親子 パソコン教室』(前橋さん) ～お母さんも一緒に学びます～ ⑧『キックベース教室』(前橋さん) 男子ソフトボールサークル	やすらぎルーム(3F) 図工室(2F) 理科室(1F) 会議室(1F) 運動場(雨天時中止)	④ 英語・中国語・フランス語・世界100か国以上の言葉を覚えよう。歌やゲームに合わせて楽しく遊ぼう!クイズもあそびます。親子参加歓迎 ⑤ 勾玉作りが大好きな子もいます。ろうきといっしょに作ろう。おやじの会などで遊ぼう。親子参加歓迎 ⑥ 石けんの素にミントのハーブとアロマを入れて作る。好きな動物などの形に仕上げます。さっすうと作るのが楽しくなります。タオル特製。材料費100円、20名 ⑦ パソコンの前で各自のレベルに合わせて学びます。ワード・エクセル・写真・ゲームなど、お母さんも一緒に学びます。パソコンも準備してあります。持ち物も自由 ⑧ キックベースは、サッカーボールを使った球技ゲーム。楽しく遊べるゲームです。おやじの会・運動場の開放。親子参加歓迎
3(土) 9:30～11:10	『球技遊び』(NS おやじの会) ～ボールを使って楽しく遊ぼう～	運動場(雨天時 体育館)	運動のできる服装で来て下さい。水筒、タオル(雨天時上へく)持ってきて下さい。親子での参加大歓迎
10, 24(土) 9:30～10:30	『走り方教室』(前橋さん) 福島 水(13日休み) 福島 水(13日休み) ～走るスピードを上げてみよう～	運動場(雨天時 中止)	足の速い人はもっと速く、走るのが苦手な人は走るのがコツを教えます。運動のできる服装で来て下さい。水筒・タオル持参下さい
28(水) 14:40～16:10	⑧『ヨーガ教室』(前橋さん) ～ヨーガ・氣・整体で集中力を～	やすらぎルーム(3F)	『ヨーガ』は、心と体を鍛えます。姿勢、呼吸法トレーニングもあつきます。集中力が発揮できるのも、体強くなるので来て下さい

郡小学校区放課後子ども教室【大阪府茨木市】

～地域の子どもは地域で育てよう!!～

◆事業の目的・理念

- 放課後に、安全で安心な子どもの活動場所を確保し、地域ボランティアの協力により、低学年と高学年が一緒になって自由に伸び伸びと遊ぶと共に、学習習慣の定着をめざして活動している。

実施場所	学校内	学校外
	●	●
開催日数	180日/年間	
参加人数	50人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	●	—
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	●	●

教室の実施場所

- 郡小学校の運動場・体育館・余裕教室
- 地域のコミュニティセンター

教室の開催日

- 給食の有る 月曜日～金曜日 放課後～17:00

参加対象者

- 郡小学校の学区内に在住する小学生(1年生～6年生)

申込み手続きなど

- 参加登録用紙に記入の上、放課後子ども教室へ提出
- 随時受け付け



囲碁教室



学習のようす

活動内容

●1日の活動の流れ

参加カードを提出 → 名札を着用 → 宿題など学習 → 自由遊び → 後片付け
→ 名札を返却し、押印した参加カードをもらって帰宅。

●自由遊びは、子どもの自主的な遊びが中心。

余裕教室では、折り紙・オセロ・トランプ・カルタなどをして過ごし、校庭や体育館では、ドッチボール・おにごっこ・一輪車・卓球・のぼり棒・バトミントン・なわ跳び・コマまわし・ケンダマなどをして過ごす。

●水曜日は、コミュニティセンターで希望者のみ囲碁教室へ参加。

●また、随時 笹飾りや凧あげなどの季節感を取り入れた活動に取り組む。



笹飾り

	参加実績	
	H20年度	H21年度
在籍児童数	486人	480人
登録数	338人	390人
登録率	69.5%	81.2%
年間参加数	8,381人	6,363人

※H21年度は12月末現在



運動場での遊び



体育館での遊び



凧あげ

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 コーディネーター・安全管理員・学習アドバイザー・地域ボランティア等、放課後子ども教室の活動に賛同する方
- 配置人数 コーディネーター1名、学習アドバイザー2名、安全管理員4名(1日7人体制)。
- 地域の方々の理解を得るため地域行事に積極的に参加する。

事業を実施して

- 子どもの健やかな成長には、自主的な遊びで身に付けられる事が多い。できる限り見守り、成長に伴った自分の責任のもとで遊ぶことで、人と譲り合いや危険回避能力の向上、後片付けなど社会性を身に付けてもらえるようにしている。
- 子どもがより良く育つために、学校・地域が協力し合うことで豊かな場・コミュニティが生まれ、大人の学びの場ともなっている。
- 高学年の参加促進のため、新たな事業内容の工夫をする必要がある。

仁川小 放課後遊ぼう会【兵庫県宝塚市】

～自分の責任で自由に遊ぶ～

◆事業の目的・理念

- 異年齢間の自由な集団遊びをととして、心身ともにたくましく生きる力を育む。
- 保護者や地域住民からなるボランティアと、子どもの遊び全般をサポートする専門職のプレイリーダーが協力して、放課後の常設の遊び場を開催している。
- 子どもが予知して避けることのできない危険（ハザード）をプレイリーダーができる限り取り除き、子どもが乗り越えられる危険（リスク）は見守ることにより、子どもたちが自分の責任で自由に遊ぶことができている。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	225日／年間	
	65人／1日平均	
参加人数	自由活動型	プログラム型
	●	—
活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
学習活動の特徴	児童クラブ	支援本部
	●	—
他事業との連携	●	—

教室の実施場所

- 仁川小学校の運動場とコミュニティ室

教室の開催日

- 毎週月～水・金曜日 14:30～17:00、毎週木曜日 13:30～17:00
ただし、冬季(11月～2月)は16:30まで
- 第4土曜日 9:00～12:00
- 夏休み中の月～金曜日 14:30～17:00、冬休み中 14:00～16:30
ただし、年末年始と8月中旬の数日はお休み

参加対象者

- 仁川小学校の校区内に在住する子どもたち
幼児は保護者同伴で参加できる

申込み手続きなど

- 自由参加、申込み不要。当日、受付簿に名前を記入する。
- 参加費無料



運動場の土山は泥んこ遊びで人気のスポット

プレイリーダーとは？

遊び場に潜む危険を見つけて解決したり、遊具を整備したり、ケガへの対処方法や遊びを提供できる専門的知識を持った放課後遊ぼう会ならではの教室サポート員です。

活動内容

- 子どもたち**は学校から直接、または下校後に校舎内のコミュニティ室に来て、受付で名前を書く。その後、コミュニティ室と運動場において、自分の責任で自由に遊ぶ。自主的に宿題に取り組む子どもも多い。スタッフは学習ができる環境と遊び道具等を準備し、サポートしながら見守る。特にプレイリーダーは、安全管理、遊びの提供、遊具の整備やケガや事故への対応を担当している。
- 遊びの内容**
運動場…土山での泥んこ遊び、水遊び、長縄、縄跳び、鬼ごっこ、野球、ドッチボール、バドミントン、コマ、中国ゴマ、大工遊び、引き車、シャボン玉、ダンボールの基地作り等。
室内…卓球、カブラ(積み木)、レゴ、ドミノ、将棋、オセロ、トランプ、お絵かき、クラフト、読書等。
- イベント**
第4土曜日に年に数回、運動場において、ぜんざい等を作って食べたり、パン食い競争や水鉄砲で遊ぶ等のイベントを行っている。夏休み中に流しソーメンを実施している。
- 放課後遊ぼう会**は平成13年に仁川小学校保護者有志で立ち上げたボランティアグループである。平成15年度より公的助成を受け、プレイリーダーを雇用し、仁川小学校において常設の遊び場を開催している。現在、市内の8小学校区に会員(ボランティア)がおり、それぞれの小学校において、担当のプレイリーダーと協力して、定期的に放課後の遊び場を開催している。市内24小学校区中20校区で開催されている放課後子ども教室のうちの8校区分にあたる。



コミュニティ室でオセロ、カブラ、卓球、宿題などを行っている様子

コーディネーターや地域の方々などの参加

●採用・募集

- ・毎年、仁川小学校PTA会員にボランティアを募集している。
- ・仁川まちづくり協議会広報紙ではボランティア参加を呼びかけている。
- ・現在、仁川小学校区ボランティアは29名、うち26名がPTA会員。
- ・プレイリーダーは必要に応じて職業安定所を通じて募集。現在10名。
- ・校区を越えて参加しているサポーター(ボランティア)5名。
- ・コーディネーターは放課後遊ぼう会代表者が務めている。

●配置人数

- ・毎回、プレイリーダー2名とボランティア1～3名の合計3～5名。

事業を実施して

- 異年齢集団で自由に遊ぶことが、協調性や社会性、友だち関係を育むなど、学校生活や学校外でもいかされている。
- 幼児の参加により、日頃、幼児と接することのない児童に思いやりの心などが育まれている。
- ボランティアとして参加して下さる地域の方とのつながりが、子どもにも、大人にもでき始めている。
- <保護者の声>・プレイリーダーが見守ってくれるのが嬉しい。・仕事、懇談会や用事があるときも助かる。
- <参加者の声>・放課後遊ぼう会が楽しくて、学校生活そのものも楽しくなった。・家ではできない遊びができる。・宿題を自分でする習慣がついた。・学年、クラス、性別に関係なく遊べる。・いろんな学年に顔見知りがたくさんいることが自信になった。・顔見知りになった上級生と校外で会っても親しくしてもらえる。

わあいわあい子ども教室【和歌山県白浜町】

～みんなで、元気にあそんで楽しもう～

◆事業の目的・理念

- 子どもたちを中心とする体験活動や各種教室を開催し、子どもの自主活動を大切にしながら、「親と子・親と親・親と地域」が協力し合い、地域ぐるみの子育て活動の活性化を図り、住民同士のきずなを深め、安心・安全な子どもの居場所づくりをめざす。

実施場所	学校内	学校外
	—	●
開催日数	104日／年間	
参加人数	12人／1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	—	●
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
—	—	—

教室の実施場所

- 町立児童館、町立体育館、白浜町各小学校、地域集会所など

教室の開催日

- 主に土曜・日曜日 ●長期休暇中は平日も開催

参加対象者

- 町内の幼稚園・保育園児、小学生、中学生、保護者

申込み手続きなど

- 町内の保育園・幼稚園・小学校を通じて“案内チラシ”を配布し、参加希望者自身からの直接申込み、または、学校を通じて申込みをする。
- 内容によっては、随時参加できるものもある。また、参加費を徴収する場合もある。



はまっこクラブ「水でっぽうサバイバルゲーム」
2チームに分かれて対戦中

活動内容

- スポーツ教室、家族で野菜づくり体験、料理教室、はまっこクラブ(出前児童館)、囲碁将棋教室、自然観察教室、スーパードッジボール教室を開催している。また、内容によっては、保護者や地域の住民・団体(女性会・読み聞かせサークル等)に協力してもらうこともあり、地域の方々に安全管理員やボランティアとして参加・協力してもらっている。

《活動例》

- ◆**自然観察教室**…自分たちの地域の身近な自然に触れることにより、四季折々の自然の動植物に気づき、ふるさとの自然に興味や関心をもってもらう。今年度は「夏の虫や草花の観察をしよう」、「森を守った巨人、南方熊楠から学ぼう」、「木切れで工作をしよう」、「富田川でバードウォッチング」をテーマに年4回開催。
- ◆**はまっこクラブ**…地理的に児童館への来館が困難な地域の子どもたちに「居場所(遊び場)」を提供するため、地域の大人のボランティアや保護者が、運営スタッフとして中心になって活動する。開催日は毎月第3土曜日と決め、活動内容は、子どもたちの意見をもとにスタッフが計画・運営をしていく。子どもたちには初回参加時に登録をしてもらう。今年度は55名の登録があり、「科学実験」、「陶芸教室」、「水でっぽうサバイバルゲーム」などを開催。
- ◆**スポーツ教室**…スポーツ活動を通じて子どもたちの体力向上を図り、運動やスポーツに興味を持ってもらうことを目的に、今年は「スーパードッジボール」をメインに開催。開催日は毎月第2・4土曜日とし、参加者には年間登録をもらっている。今年度は45名の登録があった。
- ◆**料理教室**…旬の食材を使った料理を楽しみながら、調理方法や調理道具の基本的な使い方を学ぶ。また、地元女性会の方や、地域の職人さんに協力していただき、家庭でつくれる簡単なおかずや、プロの味を教えるなど、幅広いメニューをつくる。
- ◆**囲碁将棋教室**…地域の方々に教えてもらいながら、子どもたちのペースで学んでいく。毎週土曜日の午後に開催し、時間内であればいつでも来て自由に参加できる。



旬の食材を使った「おかずづくり」

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集** 町広報誌等を利用して広く募集し、地域ボランティアについては、年間を通じて随時受付。また、地域を限定するような教室については、その地域で運営スタッフを募集し、スタッフの手で運営してもらう。
- 配置人数** コーディネーター1名、安全管理員2名程度。
- 他に、地域の方々にボランティア登録をしていただき、都合のつく時に参加してもらい、人材を適材適所に配置できるよう努めている。

事業を実施して

- 普段会うことのない他校の子どもや、異年齢の子どもたちと接することにより、友だちの輪が広がり、上級生が下級生の面倒を見るようになってきた。
- 教室の活動内容だけでなく、出会えて遊べることを楽しみに来る子どもたちが増えてきた。
- 地域を限定して開催する教室では、地域で運営スタッフを募り、スタッフ中心で運営していけるようになってきた。また、地域の大人と保護者、保護者同士の交流の場となった。
- 親子で参加する活動が多いので、親が子どもの新たな一面を発見する機会ができた。

さくらんぼキッズ教室【鳥取県岩美町】

～地域の子どもは地域で育てる～

◆事業の目的・理念

- 子どもたちが安全で健やかに過ごせる居場所づくりを放課後児童クラブと連携しながら進め、地域の方々とのふれあいや関わり、異年齢集団の中での体験や活動をととして、思いやりや協調性など豊かな心を育む。
- 家庭・学校・地域が連携しながら、地域の子どもを地域で見守り育てていく体制づくりを図る。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	52日/年間	
参加人数	45人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	—	●
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	—	●
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	●	—

教室の実施場所

- 岩美南小学校の余裕教室、特別活動教室、体育館など

教室の開催日

- 月・金曜日 15:00～17:00

参加対象者

- 岩美南小学校の学区内に在住する小学生(全児童対象)

申込み手続きなど

- 実行委員会が作成した募集パンフレットを、学校をととして全児童に配布。
- 安全保険料(600円)を添えて申し込む。(登録制、年間随時申込受付)



放課後補充学習

活動内容

- 学習アドバイザーを中心に、放課後の補充学習を行っている。主にステップアッププリントによる復習、コンピュータを使っての学習である。また、その他5名の安全管理員と、宿題、読書、ものづくり、体育館や中庭でのキッズスポーツ活動(野球、ドッジボール、一輪車など)を行っている。

月	曜日	主な活動場所 (算数ランド・PC室)	学習 アドバイザー	安全管理員	主な活動場所 (体育館・前庭)	安全管理員	主な活動場所 (特活室・図書室)	安全管理員	安全管理員	安全管理員	放課後児童クラブ 指導員 指導員
6月	8日(月)	開講式・勉強	○	○	開講式・キッズスポーツ	○	開講式・読書	○	○	○	
	12日(金)	PC・勉強	○	○	キッズスポーツとドッジボール	○	お絵かき	○	○	○	
	15日(月)	PC・勉強	○	○	キッズスポーツとドッジボール	○	折り紙	○	○	○	
	19日(金)	PC・勉強	○	○	キッズスポーツとドッジボール	○	カード遊び	○	○	○	
	22日(月)	PC・勉強	○	○	キッズスポーツとドッジボール	○	紙粘土遊び	○	○	○	
	26日(金)	PC・勉強	○	○	キッズスポーツとドッジボール	○	読書	○	○	○	
7月	3日(金)	PC・勉強	○	○	キッズスポーツとドッジボール	○	折り紙	○	○	○	
	6日(月)	PC・勉強	○	○	キッズスポーツとドッジボール	○	カード遊び	○	○	○	
	13日(月)	PC・勉強	○	○	キッズスポーツとドッジボール	○	紙粘土遊び	○	○	○	
	17日(金)	PC・勉強	○	○	キッズスポーツとドッジボール	○	読書	○	○	○	
9月	11日(金)	PC・勉強	○	○	キッズスポーツとドッジボール	○	折り紙	○	○	○	
	14日(月)	PC・勉強	○	○	キッズスポーツとドッジボール	○	カード遊び	○	○	○	
	18日(金)	PC・勉強	○	○	キッズスポーツとドッジボール	○	紙粘土遊び	○	○	○	
	25日(金)	PC・勉強	○	○	キッズスポーツとドッジボール	○	読書	○	○	○	
	28日(月)	PC・勉強	○	○	キッズスポーツとドッジボール	○	読書	○	○	○	



宿題が終わったら・・・



ドッジボール

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 岩美町放課後子ども教室実行委員会には1名のコーディネーターを配置しており、実行委員長名で委嘱している。定期的に町内3教室の様子を報告していただいたり、活動に必要な物品の準備等も安全管理員と協力しながら行っている。
- 配置人数 1名
- コーディネーターは元保育園長ということもあり、子ども達の指導も的確で、常に子ども達と一緒に活動している。また、学習アドバイザーは岩美南小学校図書館職員、安全管理員は岩美南小学校卒業生、退職教職員、支援職員、保護者となっているため、学校と十分連携して実施している。

事業を実施して

<児童から>

- 参加できないときもあったけど、できるだけ頑張りました。わからないところを復習できて、自分のためになったと思います。これから中学校に入学するので、力をつけておきたいです。
- 2年生で習った算数のプリントをやって、まちがえずにできてうれしかったです。

<指導者から>

- 子ども達は、学校の教室とは違ったゆったりとした雰囲気の中で、どの子も一生懸命様々な活動に取り組んでいます。ヒントを出したり、図をかいたりしながら、わかるまで一緒に子どもたちに向き合います。「わかった!」という声やつまずきに気付いてくれた時はとてもうれしくなります。前学年の復習プリントを活用し、わかるまでゆっくり取り組んでいます。最後に、自分の到達度を確かめる振り返りカードを書かせています。

安田ボランティアハウス千鳥園(島根県益田市)

～地域の子どもを地域で育てる～

◆事業の目的・理念

- 地域ぐるみで子どもたちの「健やかな成長」と「生きる力」を育むことを目的として設置。
- 子どもたちの育ちの木を太く、高く、大きく育てる。
- 学校で習った勉強を自主的に復習や予習をする「学びの場」、自分たちで考えてゲームや昔の遊びを自由にする「遊びの場」、地域の人々や異年齢との交わりを生む「交流の場」、地域の生活習慣や日常生活を学ぶ「生活の場」、地域の伝統文化等を体験する「体験の場」の枝によって、いろいろな知識を学びながら大きい木と成長していくように見守っていく。

実施場所	学校内	学校外
	—	●
開催日数	207日/年間	
参加人数	35人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	●	—
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	●	—

教室の実施場所

- 益田市遠田町の私有地を借用
利用施設：敷地面積1,353㎡内に屋内施設2棟、広場、池3箇所、水車、三角ジム他

教室の開催日

- 月～金曜日(ボランティアハウス) 14:30～17:00 ※学校休業日は休園
- 月1回土曜日(プレーパーク) 9:30～17:00 ※親子体験学習

参加対象者

- 安田小校区内の小学生(全児童対象) ※土曜日は保護者も対象

申込み手続きなど

- ボランティアハウス：安田小学校新入生の入学説明会で、保護者にボランティアハウスの趣旨説明をし、後日学校を通じて申込書を配布。保護者承諾の参加申込書に参加費と保険料(年間2,000円)を添えて公民館に申し込む。
- プレーパーク：その都度、学校を通じて募集を行う。開催内容によって、教材費の参加者負担あり。



子どもたちの育ちの木

活動内容

- 地域ぐるみで子どもの育成に関わる気運が地区内で高まる中で、子どもの育ちに必要環境(広場、カルガモ池、水車、三角棒、ぶらんこ等)を、私有地を造成して地域で創り出した。その中で、子どもたちの創意工夫による自由な遊び(事故は自分の責任で)を子育てパートナー(安全管理員等)が見守り、安全管理や遊具の整備等遊び全般をサポートしている。また、年々園生(参加児童)が増加する中、室内での活動スペース確保に苦慮していたが、地域住民の主導で企業にも協力を求め、念願であった屋内施設を増築することができ、余裕をもって自由学習や読書、屋内遊びを行っている。
- 保護者にとっても安心して子どもを預ける拠点として、保護者と地域住民の交流の場所にもなっている。
- 毎月1回土曜日には、プレーパーク千鳥園として、地区公民館と子育てパートナーが共催で、親子体験活動を実施している。(下記活動予定表参照)

平成21年度「プレーパーク千鳥園」活動予定表

- 4月 山菜取りと天ぷら作り
- 5月 田植え
- 6月 いもの苗植え
- 7月 ソーメン流し
- 8月 海遊び
- 9月 稲刈り
- 10月 芋掘りと木工及び折り紙作り
- 11月 木工及び折り紙作り
- 12月 収穫祭としめ飾り作り
- 1月 凧作り・かるた・とんど焼き
- 2月 食品料理(うどん、パン作り)
- 3月 リサイクルはがき作り



活動の様子



施設の全景

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 募集：地区公民館を通じ、全戸に子育てパートナー募集用紙を配布する。
採用：特に資格は求めていない。
- 配置人数 毎月始めに担当表を作成し、参加している。登録された子育てパートナーが毎日3～4名体制で見守っている。現在登録者数は、40名。

事業を実施して

- 子どもたちで考えた自由な遊びを異年齢間で行うことで、上級生及び下級生に「相手を思いやる気持ち」が生まれてきた。
- 施設の遊具(一輪車、縄跳び等)を使ったり、園内を走り回ることなどの自由遊びを通して、体力や運動能力の向上につながってきた。また、学力向上につながる精神力の強化も期待している。
- 地域住民と地域の子どもたち、保護者が、千鳥園を通して知り合いになれたことで、日常生活の中であいさつや会話ができるようになった。
- 公民館を会場に1週間の通学宿舎を行う等、地域で子どもを育むことを通して地域住民がお互いに支え合うための地域づくりにもつながってきた。
- 子どもたちの育ちの木を太く、高く、大きく育てるための「学びの場」、「遊びの場」、「交流の場」、「生活の場」、「体験の場」として機能するとともに、地域ぐるみの子育ての象徴的な施設として、地域にとって大切な財産となってきている。

玉野市地域子ども楽級がっ きゅう【岡山県玉野市】

～みんなで広げよう！ 笑顔の輪！～

◆事業の目的・理念

●本事業は、学校週5日制を機に、地域ぐるみで子どもたちを育てるために、青少年育成団体、コミュニティ、PTA、ボランティア団体等の協力を得て、子どもたちに身近な地域の公民館や、社会教育施設、学校等を活用しながら、未来の日本を創る心豊かでたくましい子どもを育てるための体験活動や交流の場として開設し、市内全14小学校区で実施している。

実施場所	学校内	学校外
	●	●
開催日数	180日/年間	
参加人数	21人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

●公民館、小学校の図書室、体育館など

教室の開催日

●平日 15:00～17:00 ●土曜日 9:00～12:00

●長期休業中 9:00～12:00

参加対象者

●市内全14小学校区内に在住する小学生

申込み手続きなど

- 登録は各公民館で随時受け付けている。保険料や材料費の自己負担あり。
- 子どもの活動場所までの行き帰りは、原則保護者の責任において行う。
- 各小学校の新1年生の入学説明会にコーディネーターが出向き、子ども楽級リーフレットを保護者に配付するとともに、子ども楽級の紹介・説明を行う。



校長先生も参加して餅つき

活動内容

- 玉野市地域子ども楽級では、**地域の人材を最大限に活用**しながら、学校や家庭では体験できない様々な活動を計画的に実施している。また、毎回、活動の特性に合った安全管理員を配置しており、コーディネーターも全楽級にそれぞれ1名～2名配置している。
- 「地域の子ども地域で育てる」**の考えのもと、公民館長をはじめ、地域の方々の奉仕の精神に支えられた活動をおとして、子どもたちは**「感謝の心」**や**「思いやりの気持ち」**を身につけている。
- 通常、異学年の児童が集まり、伝統文化継承活動、ものづくり、自然体験、三世代交流活動、ニュースポーツ、環境教育等を実施。親子で参加する活動や、地域企業、社会教育施設、社会教育団体、専門学校等と連携した活動もある。子ども楽級の卒業生がボランティアとして再び子ども楽級の活動に参加するなど、**子どもの心に残る居場所**となっている。
- 放課後児童クラブと連携**した活動を定期的に行っている楽級もあり、放課後児童クラブ側の活動内容の多様化や、安全管理面の充実、子どものコミュニケーション能力の向上等の効果があった。
- 学習支援活動**を実施した楽級では、子どもの学力意欲の向上、家庭学習の習慣化、集中力の向上等の効果が見られた。



地域の方の指導で楽しくグラウンドゴルフ

活動プログラム(ちっこう子ども楽級)

- 5月：開級式(お楽しみ会)、竹笛を作ろう
- 6月：絵本とお話、お茶を楽しもう
- 7月：グラウンドゴルフ、歌とサックス
- 8月：カブラで遊ぼう、石鹸を作ろう
- 9月：絵手紙で祖父母に便り、手話で遊ぼう
- 10月：絵本とお話、お茶を楽しもう、楽しく歌おう
- 11月：英語で遊ぼう、川柳を作ってみよう
- 12月：絵手紙で年賀状、万華鏡づくり、凧づくり
- 1月：昔遊び
- 2月：お茶を楽しもう作って遊ぼう
閉級式(お楽しみ会)



楽しいソーラークッキング

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集** 玉野市放課後子どもプラン実施方針に賛同する方。
- 配置人数** コーディネーターを全14楽級に1名～2名配置。安全管理員は活動内容の特性に応じた人数を配置。
- 2か月に1度、コーディネーター連絡会(必要に応じて公民館長と合同)を開催し、ニュースポーツの実技研修や地域の教育力向上に関する講演会の開催、情報交換等を行っている。

事業を実施して

- 学校では目立たない子どもが、子ども楽級ではリーダーになるなど、子どもの自主性が育っている。
- 子どもたちが異学年の子どもたちとふれあう機会が増え、それぞれの児童のコミュニケーション能力の向上に役立っている。
- 地域の大人が、地域の子どもたちへの関心を高めたとともに、地域の大人が個人の学習成果や知識・経験を生かす場ができ、学びの循環が生まれた。

加計小学校放課後子ども教室【広島県安芸太田町】

◆事業の目的・理念

- 子どもたちの安心・安全な居場所づくりとして放課後に学校の余裕教室を利用し、地域の方々の参画を得ながら勉強やスポーツ・文化活動・地域交流等の取組を通して、地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりの推進を図る。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	288日／年間	
参加人数	11人／1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

- 加計小学校の理科準備室、体育館、運動場など

教室の開催日

- 月～金曜日 16:00～18:00（うち水曜日 15:00～18:00）
- 土曜日・長期休業日 8:30～18:00

参加対象者

- 加計小学校学区内の全児童（1年生～6年生）

申込み手続きなど

- 前年度末及び長期休業日前に小学校を通して全校児童へ募集チラシを配布。申込みは教育員会事務局生涯学習課へ。
- 保険料2,000円／年とおやつ代1,500円／月の実費負担あり



植樹活動に参加

活動内容

●活動日程《放課後常時》

16時～17時 学習時間(宿題・読書)
17時～18時 掃除・自由遊び

- 外国語指導助手(ALT)による英語教室の実施。
- 長期休業日には町内の団体(シニアクラブ、ゲートボール協会、女性会、ヘルスマイト)の協力を得て体験交流事業の実施。
- 図書館まつりやゲームハイキング、植樹活動等地域行事、イベント等へ積極的に参加。



ALTによる英語指導



ヘルスマイトと食事づくりでの交流会

長期休業日の日程表

時間	内容	備考
8:30	長期休みの宿題(自主活動)	
10:00	読書・図工など	町内各種団体との交流等
12:00	昼食	
13:00	スポーツ・文化活動	町内各種団体との交流等
15:00	おやつ・スポーツ・文化活動	
18:00	迎え	

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 採用については特に資格等は求めていない。事業の目的に賛同する方を随時採用する。
- 配置人数
コーディネーター1名、安全管理員10名、学習アドバイザー2名。
安全管理員は常時2名配置しているが、交流事業等を実施するときは増員をしている。
学習アドバイザー(元教員)による指導を週2日実施している。
- スタッフ会議を毎月1回開催し、翌月の行事、教室の課題や成果等を協議している。
メンバー：コーディネーター、安全管理員、学習アドバイザー、教育委員会職員(必要に応じて、学校長・教頭等も出席)
- 教員・保育士等を目指している地元加計高校生の体験の場としての受け入れも行っている。

事業を実施して

- 子どもたちにとって学校では学ぶことができない事業に参加でき、新たな発見や体験が得られた。また、地域の方々の協力により交流事業を行ったことで子どもたちと顔見知りになり防犯対策にも繋がった。
- 多くの保護者から放課後に子どもが安心して過ごせる場所ができたことが大変喜ばれている。
- 学校と地域の人のつながりができたり、学校としても安心な放課後の居場所ができた。

むつみ生涯学習資料館放課後子ども教室(山口県萩市)

～地域の子どもは地域で育てる～

◆事業の目的・理念

- 放課後の子どもの安心・安全な居場所を確保する。
- 地域内外で各種団体と連携し、自然体験、科学教室等様々な体験活動を実施する。
- 子どもたちの企画・運営による「むつみっ子まつり」等の取組を通して、地域行事への参加を図る。

実施場所	学校内	学校外
	—	●
開催日数	283日/年間	
参加人数	15人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

- むつみ生涯学習資料館(通常)
- ※ 体験活動の内容により、地区外での活動も実施

教室の開催日

- 月～金曜日 15:00～18:00 ● 土曜日・長期休業中 10:00～18:00
- 【参考 平成20年度実績 293日 延べ参加者数 3,353人】

参加対象者

- むつみ小学校の学区内に在住する小中学生

申込み手続きなど

- 学校を通じて配布される参加案内により、随時参加を受け付ける。
- 体験活動等はその都度事前に参加募集を行う。



むつみっ子まつり(6月)で企画・運営に中学生も大活躍!

活動内容

● 学び教室(宿題、予習・復習等の学習支援)

毎週月～金曜日(15:00～18:00)
土曜日・長期休業中(10:00～18:00)
日々の宿題のあと、各自で読書や自由遊び

● ものづくり・体験教室・本の読み聞かせ(毎月1回)

折り紙教室や絵画など様々な活動を実施

● むつみっ子まつり(年1回6月開催)会場: むつみ中学校

子どもたち(小6～中3)が実行委員会を組織し企画・運営
当日は遊び・お菓子づくり・バザー等のコーナーを運営

● むつみっ子探検隊(年4・5回程度開催)

地域内・外で、各種団体と連携し、自然体験、科学教室、料理教室など様々な体験活動を実施

● 児童クラブとの連携

毎月のものづくり、体験教室を合同で開催
両事業のスタッフ間で随時情報交換実施
年に数回実施する指導者研修会には合同で参加・交流

主な活動内容

通年: 学び教室(宿題、予習・復習等の学習支援)
毎月1回: ものづくり・体験・読み聞かせ
6月: むつみっ子まつりの企画・開催
7月: カヌーに挑戦しよう
8月: 電気教室・ものづくり教室
10月: 高齢者とグラウンドゴルフを楽しもう
1月: 地域の食材で料理づくりに挑戦しよう



読み聞かせにじっと耳を傾けて・・・



カヌー教室の様子

コーディネーターや地域の方々などの参加

● 採用・募集

地区内から一般ボランティアとして募集(登録人数15名)

● 配置人数

コーディネーター: 1名(他4教室と兼任)
学習アドバイザー: 2名

- 地域外への移動教室や外部講師を積極的に活用し、校区エリアを越えたスタッフ交流や人材育成・確保に努めている。

事業を実施して

<子どもの感想>

- ・ いろいろな事が体験できて楽しい。
- ・ 宿題や本読みなど、おばちゃんと一緒に毎日いろいろ学べる。

<保護者の声>

- ・ 年間を通じて子どもの居場所があり、安心できる。
- ・ 家庭や学校ではできない体験ができる。

<指導者の声>

- ・ 自分自身をみがくことができる。
- ・ 子どもと接することで、心身ともに若返ることができる。

<今後の方向性>

- 多くの地域の方々の協力により運営できている。今後も、地域の子どもたちや教室運営を支えてくれている地域の方々の希望に答えられるよう、より充実したメニューづくりに取り組みたい。

とみだアフタースクール【徳島県徳島市】

～地域の大人が力を合わせて運営する子どものホットな居場所～

◆事業の目的・理念

- 放課後、子どもたちが安心・安全に過ごせる居場所をつくる。
- 異なる学年や世代との遊び・交流を通して子どもたちの生きる力を育む。
- 地域で子どもを見守り育てる「地域教育力」を広げる。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	189日/年間	
参加人数	30人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	●	—
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	—	—

教室の実施場所

- 富田小学校の余裕教室、体育館など

教室の開催日

- 月～金曜日 14:00～17:30（長期休業期間中は除く。）
※平成20年度実績185日、平成21年度予定189日

参加対象者

- 富田小学校在籍の小学生（主に1～3年生）

申込み手続きなど

- 入学時の説明会等において配付される参加申込書により登録を行う。
- 参加料は不要。ただし、保険料、教材費等については実費負担あり。



かわいい花がたくさん咲いたね

活動内容

- 学習アドバイザーと宿題などの学習活動に取り組んだあと、教室では、ぬり絵やおセロ、ままごとなどを、体育館でボールや縄跳び鬼ごっこなどを楽しんでいる。
- ボランティアの講師が月に数回、太極拳や生け花、マジックなどを教えに来てくれるので、さまざまな世代の地域の方と交流でき、子どもたちは温かい見守りを感じて放課後を過ごしている。



短冊を笹に結んでもらおう

	月	火	水	木	金
基本メニュー	◆学習(宿題,その他)				
	◆教室での活動 ・おセロ、トランプ、ブロック、ぬり絵、ままごと等				
特別メニュー	◆体育館での活動 ・ボール遊び、縄跳び、鬼ごっこ等				
	特別講師による活動 ◆太極拳教室 ◆マジック教室 ◆活け花教室 ◆竹細工・木工教室 など (20年度の活動から)				



竹細工と木の貯金箱づくりに挑戦

コーディネーターや地域の方々などの参加

●採用・募集

事業の趣旨に賛同いただける地域の方を中心に実行委員会から依頼する。

●配置人数

学習アドバイザー 1名

安全管理員 3名(登録人数：8名)

- 地域のボランティア講師(太極拳、生け花、マジックなど)
- 富田小学校区においては、学童保育施設も児童館も設置されていないため、放課後に子どもたちが安全に過ごせる場の開設が待たれていた。そうした中、保護者の中から、子どもたちを見守り育てる環境を自分たちで作ってほしいという声上がり、何度も運営のための話し合いを重ねるなどの努力の結果、平成19年6月に開設することができた。

事業を実施して

- 富田小学校区においては、学童保育施設も児童館も設置されていないため、放課後に子どもたちが安全に過ごせる場として重要な役割を果たしている。
- 子どもたちは、地域の人々の温かい見守りの中で、異学年の仲間や異世代の大人(保護者や地域の高齢者)との豊かな交流をとおし、社会性・自主性・創造性を身につけている。
- 地域に住むさまざまな人々が、ともに協力し合って子どもたちを守り育てようとする意識が高まっている。
- 子どもたちを見守る活動への参加を通して、地域の大人の繋がり形成にも寄与している。

土庄町放課後子ども教室【香川県土庄町】

～子どもの居場所の1つの選択肢として～

◆事業の目的・理念

- すべての子どもが主体的に活動できる居場所づくり
- 少子化に負けない子どもたちのつながりづくり
- 地域の子どもの拠点づくり

実施場所	学校内	学校外
	●	●
開催日数	210日/年間	
参加人数	90人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	●	—
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	●
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	—	—

教室の実施場所

- 土庄教室—土庄小学校多目的室、体育館、運動場など
- 湊崎教室—旧土庄町立中央図書館、湊崎小学校体育館、運動場など
- 大鐸教室—町立大鐸公民館、旧大鐸小学校体育館、運動場など
- 四海教室—四海小学校礼法室、体育館、運動場など

教室の開催日

- 月～金曜日 授業終了～17:30 ●長期休業、振替休日等 9:00～12:30

参加対象者 〈全教室登録児童数 225人 (H21.12)〉

- 各小学校の学区内に在住する小学生 ※大鐸教室は旧大鐸小学校区児童

申込み手続きなど

- 登録無料 ※実費負担 (年度間保険料600円・月額教材費200円程度)
- 登録申込書と出席希望表を各教室コーディネーターへ提出。



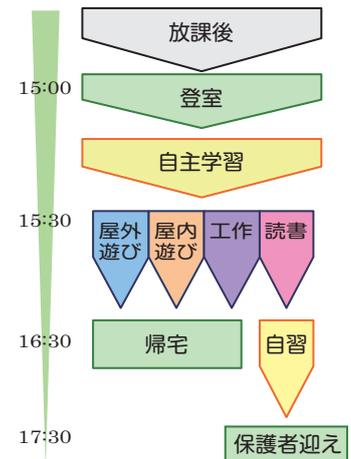
みんなでリズム遊び

活動内容

- 放課後各自登室し、最低限のルールのもとでそれぞれが主体的に過ごす。
- 学校日は、強制はしないが、初めは自主学習を勧める。
- 長期休業、振替休日等は自主活動に加え、季節行事、地域散策、他教室との交流などのイベントも実施。

登録スタッフ

- コーディネーター 4名
- 学習アドバイザー 9名
- 安全管理員 11名
- 学生ボランティア 7名



学習

登室すればまず学習「宿題しようね。」



振替休日

公民館でサンタクロスづくり



屋外遊び

校庭で鬼ごっこ



運動

体育館でドッチビー対決



長期休業日

シャボン玉で遊ぼう



うどん作りに挑戦



他教室との交流会「よろしくおねがいします」



事業を実施して

- 多くの子ども、保護者に好評を得ている。子どもにとっては、友人と遊びの約束をしたり、スポーツが経験できたり、日常の放課後に経験できないことが多く貴重な居場所となっている。
 - 仲間づくり……近所に友だちがいない児童も多く、子ども教室で学年を超えた仲間づくりができる。
 - 地域の居場所……小学校が統合された地域での居場所づくり。地域の方から「学校がなくなっても子どもの声が聞こえる地域に」との声
 - 地域交流……スタッフや地域の人とのふれあい。他教室との交流。
 - 安心・安全対策……放課後の子どもの安心・安全な居場所。

飯岡小学校放課後子ども教室【愛媛県西条市】

～地域の子どもは地域で育てる～

◆事業の目的・理念

- 安全・安心な子どもの活動の拠点づくり
(地域の教育力の結集&子どもの活動拠点の整備)
- 家庭、学校、地域と連携し、相互協力のもと、地域指導者及び子どもの育成
- 地域の大人や異年齢との交流をとおして穏やかで柔軟な感性をもてる子どもの育成

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	140日/年間	
参加人数	10人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	●	—
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	—	—

教室の実施場所

- 飯岡小学校の余裕教室
※余裕教室の一つを「放課後子ども教室」として利用

教室の開催日

- 月、火、木、金14:30～17:30

参加対象者

- 飯岡小学校の校区内の児童

申込み手続きなど

- 小学校を通じて全校児童に募集チラシを配布し、参加を募る。



昔あそび：こま回し

活動内容

- 5名のボランティアの方が、宿題、読書、読み聞かせ、遊び（昔の遊び、折り紙、室内ゲーム、工作、お話）などの子どもたちの活動を見守り、安全で楽しい時間を過ごすことができている。
- 子どもの指導においては、褒めたり、時にはしきつたりしながら、言葉遣いや態度等の道徳面の指導にも心がけ、子どもたちも素直にルールを守って活動することができている。

【主な活動】

○学習活動

学校が終わると一番に宿題を済ませる。上級生は下級生の勉強をみてあげるなど、みんなで教えあい、助け合いながら学習する。

○読書・読み聞かせ

昔遊びや自習の合間に、ボランティアの方による読み聞かせを行っている。読み聞かせを行うことで、社会常識や人生の大切な教訓を一緒に学ぶことができ、児童も楽しみにしている。

○遊び・自由遊び

こま回し、お手玉、羽子板などの昔の遊びを通して、当時の娯楽や文化を学習する。ボランティアの方が一人一人に丁寧に教えることで子どもたちも興味を持って活動できている。

時間帯	曜日	月	火	木	金
14:30～					
15:30～17:30					



自主的な学習



昔あそび

コーディネーターや地域の方々などの参加

●採用・募集

登下校の見守りをしてもらっている地域の方が、放課後に週4日3時間程度子どもたちの指導にあたっている。

●配置人数

一日の配置人数2名

■コーディネーターが学校と相談しながら教室の企画・立案に携わっていることで、円滑な運営が行えている。

事業を実施して

- 指導にあたるボランティアは、普段から子どもたちに馴染みのある方で、子どもたちの個性や雰囲気等をよく理解して対応することができている。
- 昔の遊びや昔話など、ボランティアの方たちの長年の経験や知識を生かした活動を通して、子どもたちは郷土のよき歴史や伝統を知り、自分たちの住んでいる地域への愛着を一層深めながら、郷土の歴史を学ぶことができている。
- 少人数での開催ではあるが、異学年の友達と集団で活動することにより、協調性や自主性が育まれ、思いやりを持つ心や家庭とは異なる集団での規律を学ぶことができている。

能津放課後子ども教室 [高知県日高村]

◆事業の目的・理念

- 地域社会の中で、放課後に、子どもたちに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境・居場所づくりを推進する。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	212日/年間	
参加人数	12人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

- 能津公民館
能津小学校の体育館、運動場

教室の開催日

- 月～金曜日 15:00～17:00 ●夏季休業中 13:30～17:00
保護者の都合により、迎えが遅くなる場合は17:30まで延長可
学校の授業時間の変更にも対応

参加対象者

- 能津小学校の学区内に在住する小学生 ※中学生も可

申込み手続きなど

- 参加者募集のチラシを学校便で配布し、参加希望者は所定の申込用紙を提出。
- スポーツ安全保険(年間600円)への加入を原則としている。その他実費負担あり。(夏季休業中おやつ作りなど)



外遊びの様子

活動内容

- 教室での過ごし方は自由であり、子どもの自己決定に委ねられているが、多くの子どもたちは、教室へ来るとまず宿題に取り組む。
- コーディネーターと指導員が子どもの質問に答えたり、漢字の筆順のチェックをするなど、子どもの自発的な学習活動を支援している。
- 運動場でサッカーや野球、テニス等のスポーツや遊具で遊ぶ子どもには、コーディネーターが付き添って一緒に活動している。活動の中で、子どもが興味を持ったテニスや日本地図のパズルなどの大会や検定試験を実施している。また、同村にあるもう一つの子ども教室と同時に開催することもあり、認定証や賞状を与え、結果も発表しながら、挑戦することの楽しさを一緒に味わっている。



日本地図パズルスピード
選手権優勝



テニス検定初級合格



紙粘土工作

活動日程表(平成21年夏休み日程表より)

日	曜日	行事予定	日	曜日	行事予定	日	曜日	行事予定
7/21	火	宿題・自由遊び	8/3	月	宿題・自由遊び	24	月	宿題・自由遊び
22	水	宿題・自由遊び	4	火	宿題・自由遊び	25	火	宿題・自由遊び
23	木	宿題・自由遊び	5	水	おやつ作り	26	水	おやつ作り
24	金	宿題・自由遊び	7	金	宿題・自由遊び	27	木	宿題・自由遊び
27	月	宿題・自由遊び	17	月	宿題・自由遊び	28	金	料理教室(四電)
28	火	宿題・自由遊び	18	火	工作(風鈴・紙粘土)	31	月	宿題・自由遊び
29	水	おやつ作り	19	水	おやつ作り	開設時間 13:30～17:00		
30	木	宿題・自由遊び	20	木	宿題・自由遊び			
31	金	宿題・自由遊び	21	金	宿題・自由遊び			

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
コーディネーターは教育委員会の臨時職員として採用。(他の子ども教室も担当)
学習指導員はNPO法人に人材派遣を依頼。
- 配置人数
コーディネーター 1名
学習指導員 2名(登録人数9名)
- 夏季休業中は、おやつ作りに地元ボランティアが参加している。

事業を実施して

- 教室を開設することにより、子どもたちは地域住民だけでなく、指導員やボランティアとの関わりが増え、教室が世代を超えた交流の場となっている。
- 教室での宿題の実施は、子どもの自発的な活動ではあるが、教室に来てすぐに宿題に取り組む上級生を見て、下級生も宿題に取り組むようになった。
- 能津小学校の協力により、毎月1回情報交換会を学校で行っている。学校と指導員が個々の子どもに関する情報を共有し、意見交換をする事により、皆で子どもを見守り育てる意識が高まった。

大良子ども教室【佐賀県唐津市】

～地域の子どもは地域で育てる～

◆事業の目的・理念

●全ての子どもを対象として、放課後や週末等に公民館などを活用し、地域の方々の参画を得て、子ども達に勉強やスポーツ、文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、子ども達が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

実施場所	学校内	学校外
	—	●
開催日数	130日/年間	
参加人数	18人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	●	—
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
—	—	—

教室の実施場所

●大良公民館 ●ポニースクール場 ●大良小中学校運動場 など

教室の開催日

- ポニー教室 毎週月、金曜日 15:00～18:00
- 山都美(やまとみ)学級 毎週水曜日 15:00～18:00
- 物作り教室 第3土曜日 9:30～12:30
- 水泳学級 夏休み期間(お盆まで)

参加対象者

●大良小学校の学区内に在住する小学生

申込み手続きなど

- 年度当初に小学校を通して申込み用紙を全児童に配布。申込書は直接公民館へ。
- 参加料金は保険料600円のみ。ただし、必要に応じて教材費の実費負担がある。

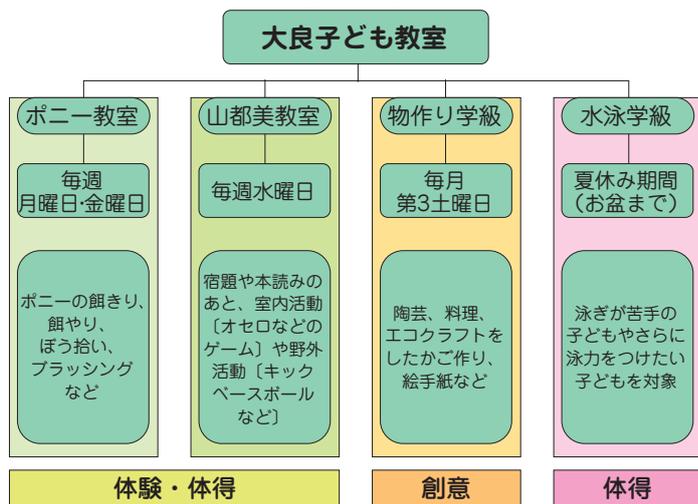


ポニー教室の様子

活動内容

- ポニー教室**…ポニーとのふれいを通じて、動物の優しさや生命感を体感してもらい生命尊重の心の育成を目的に実施。ポニーの乗馬体験のほか、餌やり、餌やりブラッシング、「ぼろ(馬糞)」拾いなどを行っている。
- 山都美学級**…参加する子ども達は、学習(宿題、本読みなど)後、室内活動(オセロ、将棋、碁並べなどのゲーム)や運動場での野外活動(キックベース、バドミントン、遊具での遊び)を行っている。
- 物作り教室**…陶芸、料理、エコクラフトを使用したかご作り、絵手紙、コサージュ作りなどを実施。
- 水泳学級**…外部から講師を招き、泳ぎが苦手な子どもやさらに泳力をつけたい子どもを対象に実施。

活動様式



物作り教室の様子

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集**
事業に賛同していただける方なら誰でも。
- 配置人数**
コーディネーター…1名
安全管理員…14名
ボランティア…内容によって住民の方々に依頼

事業を実施して

- 大型動物であるポニーの世話や乗馬体験をすることで馬と心を通わせる一体感を感じることができ、小動物とのふれあいでは普段体験できない生命の不思議を感じとり、生命尊重の心が育っている。
- 異学年が交流することで、学習でも遊びでも高学年の児童が進んで、低学年の児童をリードしたり世話をしたりする姿がよく見られるようになってきた。
- 放課後子ども教室に参加するときの約束である、「あいさつ」「靴ならべ」「後かたづけ」が習慣化してきている。
- ポニースクールの施設の管理面については、安全管理員を含め地域の方たちも関心を持ち、協力的である。

歌浦小学校区放課後子ども教室(長崎県鹿町町)

～学校を核とした「学びあい」による地域の活性化～

◆事業の目的・理念

- 放課後児童対策を地域が主導し、地域全体で子どもをはぐくむ。
- 事業を「学びあいの場」とし、生涯学習による「まちづくり」の拠点とする。
- 放課後児童対策と学校支援を融合し、教育活動の効率化を図る。
- 事業に対する家庭の参画を促進し、家庭教育力の向上を図る。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	160日/年間	
参加人数	30人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	—	●
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	—	●
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	●	●

教室の実施場所

- 歌浦小学校の音楽室、体育館、運動場など

教室の開催日

- 月～金曜日 15:00～16:30(水曜日を除く)
- 土曜日 9:30～11:30
- *長期休み期間中は毎週木曜日13:00～16:00開催

参加対象者

- 歌浦小学校の校区内に在住する小学生

申込み手続きなど

- 学校を通じて配布された参加募集チラシを歌浦小学校スクールエリア推進委員会(校区で学社融合を進める中心的な組織)へ提出する。
- 参加料は無料、但し内容に応じて実費負担がある。



駅伝一日先生(学校をきれいにしよう!)

活動内容

- 劇団フレンズ(演劇及び創作活動)*毎週木曜日開催
- 駅伝一日先生(地域の人材を活用した体験活動プログラム)*毎月第3土曜日開催
- なんちゃってなんでもクラブ(教職員と地域人材とが一緒に講師となり実施するスポーツ活動プログラム)(野球・ソフトバレー・バドミントン・卓球)*毎週月・火・金開催

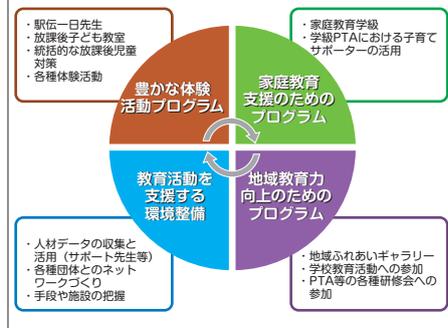
事業の特徴

- 運営:** 主催は教育委員会だが、事業の主管は歌浦小学校スクールエリア推進委員会が行っている。
*本町では、放課後児童対策を学社融合の取組の一つと位置付け、幅広い世代の交流を中心とした体験活動機会の充実を図っている。(詳細は右記参照)
- 連携:** 【児童クラブとの連携】
本町では、児童クラブを学校内余裕教室に設置しており、教室の開催場所も学校内であるためクラブと教室とのスムーズな連携が図られている。教室設置当初からの懸案事項であった、すみ分けの問題についても、クラブと教室とで十分協議を行いながら運営が行われている。
【地域との連携】
本町では、平成14年度より取り組んできた「学社融合推進事業」により地域住民の子育て・教育に対する関心が非常に高いことから、子ども教室の運営についても非常に協力的である。
- 内容:** ①本物の文化・芸術活動 *プロによる指導
②地域住民とのふれあいを重視した、各種体験活動
③地元事業所や企業と連携した活動
④子どもに幅広い選択肢を提供するための活動

学習アドバイザー等地域の方々などの参加

- 配置人数** コーディネーター: 5名
学習アドバイザー: 必要に応じて交渉し採用する
安全管理員: 必要に応じて採用する

スクールエリア(学校支援会議)の役割



スクールエリア推進委員会の役割



劇団フレンズの活動

事業を実施して

- 事業を通して幅広い年齢層が交流し、子どもたちの社会性やコミュニケーション能力をはぐくむことはもちろん、関わる大人の「生きがい」づくりにも繋がり、学校を拠点とした地域全体の活性化が図られている。
- 学校支援と放課後児童対策の中うまく取り入れることで、学校の理解も得やすく需要も高いため、協働する上でも非常にスムーズである。

松合小学校放課後子ども教室【熊本県宇城市】

～地域と学校がともに育てる放課後子どもプラン推進事業の新たなモデル～

◆事業の目的・理念

- 放課後に、地域の方々の参画を得て、学びや体験活動、地域住民との交流を通して豊かな人間性を育む。
- 子どもたちが安全で安心して活動できる居場所と地域の特性や伝統行事を取り入れた様々なプログラムを提供する。
- 「地域の子どもは地域と学校がともに育てる」という気運を地域の中に広げる。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	193日/年間	
参加人数	25人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

- 松合小学校の余裕教室
松合小学校のグラウンド、体育館など

教室の開催日

- 月～金曜日 15:05～17:05
※平成20年度実績：192日

参加対象者

- 松合小学校の全児童

申込み手続きなど

- 年度当初に小学校を通して申込書を全児童に配布。
申込みは小学校を通して教育委員会へ提出。
- 参加費は無料。



地域の方々によるそろばん個別指導

活動内容

- 本教室は、平成19年度少子化による学童保育所閉鎖に伴い、地域住民やPTAの音頭により、平成20年度から放課後の子どもの居場所として立ち上げられた。放課後子どもプラン推進事業の新たなモデルともいえる特色のある教室である。
- 地域の方々の特技を活かしたプログラムを企画しているが、特に、季節感を感じ、日本の伝統的な行事を意識した内容になるように工夫している。
- 月曜日の習字、水曜日のそろばんは、年間通して継続的に取り組み、希望者は昇級試験や検定試験にチャレンジしている。火曜日は、学校の教職員と地域住民との協働のもと学力向上のための学習プログラムを計画。体験学習や交流学習を木曜日と金曜日に実施している。地域の特性や伝統行事を大事にしながら、プログラムを企画運営している。
- 毎月、学校を通して児童宛活動プログラムを配布している。

【1週間の活動プログラム】

曜日	内容
月曜日	習字
火曜日	宿題、ドリル学習、パソコン学習
水曜日	そろばん
木曜日	読書、読み聞かせ、紙芝居、合唱
金曜日	伝承遊び、手芸、絵手紙、グラウンドゴルフ、いもづくり、季節に応じた体験活動等

【季節に応じた体験活動例(主に金曜日実施)】

季節	内容
春	折り紙によるかぶと・雛づくり
夏	いも植え、七夕づくり
秋	いも掘り、干し柿づくり
冬	正月遊び、独居老人苑の年賀状づくり



さつまいも植えのうねづくり

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 人材の確保・配置等** コーディネーターは、生来からこの地区に住んでおられる方で、人脈が豊富で人望も厚く、正に地域と学校とを結ぶコーディネート力を発揮されている。活動プログラムの企画・策定、学校との連絡調整や安全管理員、学習アドバイザー等の地域の協力者の確保・登録や配置を一人で行っている。
安全管理員の登録は5名で、曜日毎に一人ずつ配置している。地域協力員として、30名ほど登録しており、平日の月曜日から金曜日まで毎日4～5名ほどを配置している。
全児童数62名ほどの小規模校ではあるが、地域の方々の熱心な協力のもと、子どもたちの安全・安心な居場所の確保、様々な体験・交流活動や学習活動に取り組んでいる。

事業を実施して

- 児童数が減少傾向にあるため、放課後子ども教室専用の余裕教室がある。教室では、始まる前のあいさつ、ランドセルやくつの並べ方等の生活指導を重視し、子どもたちはスタート当初から比較すると格段に整理整頓やあいさつができるようになった。
- 子どもたちは、学校や家庭では出来ないような様々な体験活動や交流活動を行うことにより、向上心の高まりが見られるとともに、伝統文化のすばらしさに触れることができる。
- 地域協力員の方々は、地域の担い手育成という観点からのみならず、自らの生涯学習成果の活用場としても学校に出向き、子どもたちと触れ合うことで生きがいづくりの場となっている。

中部地区公民館放課後子ども教室【大分県別府市】

～地域の方が支援する様々な体験活動が子どもの生きる力を育む～

◆事業の目的・理念

- 登録制ではなく、その都度参加を呼びかけることによって、参加したいときに自由に参加できる体制をとる等、子どもを主体とした教室運営を心がけている。(原則無料)
- 地域の方々や大学生のボランティアにとって負担にならないよう、無理のない範囲での支援をいただいている。
- 公民館を拠点として、地域に住む子どもと大人(大学生から高齢者)のつながりを深めることによって、地域の活性化を図る。

実施場所	学校内	学校外
	—	●
開催日数	90日/年間	
	49人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	—	●
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	●	—

教室の実施場所

- 別府市中部地区公民館
(児童室・体育館・調理室・研修室・和室・会議室)

教室の開催日

- 水・金曜日 15:00～17:00 ●原則、第1土曜日 10:00～12:00
- 長期休業中は 9:00～12:00 ※平成20年度実績:90日

参加対象者

- 石垣小学校、緑丘小学校、春木川小学校の学区内に在住する小学生

申込み手続きなど

- 学校から配布される承諾書及び個人利用カードを1回目の参加時に中部地区公民館に提出する(原則無料)。2回目からは毎回、個人利用カードを提出する。定員のある講座は、その都度電話による申込みが必要である。(先着順、材料費を実費徴収することがある)



地域の方の指導による わらじ作り

活動内容

- 世界の文化にふれよう(世界10か国)、読み聞かせ、英語、折紙、ミニバレー、レクリエーション、工作、囲碁、自由遊び、料理、エコかるた、わらじ作り、手品、スポーツ教室、盆踊り、フラダンス、紙芝居、ヒップホップダンス、人権映画、ドミノ、手話、エプロンシアター、雑巾作り、草取り、おはじき、手芸など多種多様な体験活動を中心とした講座を行っている。
- エリア内に学童クラブが4つある。その4つの学童クラブの指導員等が引率をして公民館の子ども教室に参加している。また、子ども教室の学習ボランティアが出前講座として学童クラブに出向いて講座を行うなどの連携をしている。

活動の例				
月	日	曜	時間	主な内容
4	22	水	15:00～17:00	ミニバレー・英語・落語
	24	金	15:00～17:00	スポンジボール野球・お絵書き
5	1	金	15:00～17:00	囲碁・スポンジ野球
	8	金	15:00～17:00	工作(牛乳パック)・スポンジ野球・宿題
	9	土	10:00～12:00	スポーツ教室・宿題
	13	水	15:00～17:00	落語・英語・自由遊び
	15	金	15:00～17:00	囲碁・スポンジ野球・折紙
	20	水	15:00～17:00	料理教室(サンドイッチ)・ミニバレー・宿題
	22	金	15:00～17:00	お絵かき(ぬり絵)・スポンジ野球・宿題
5	27	水	15:00～17:00	料理教室(ゴマだんご)・ドミノ・英語
	29	金	15:00～17:00	手芸(フェルト人形)・スポンジ野球・囲碁・宿題



七夕笹飾り作り



吹奏楽ミニコンサート(鶴見台中の出前講座)

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集** 市報、公民館報、自治会、大学、公民館運営委員会、公民館講座の講師等の募集を行い、活動を支援いただける方をボランティアとして登録。その際に、参加できる日時や可能な内容、連絡方法等を記載してもらっている。
- 配置人数** 受付に2名以上の見守り援助者、各講座に2名以上の学習ボランティアを配置している。
- 子どもに指導を行うため、ボランティアに事前説明会を行い、子どもの理解や対応方法等の共通理解を図っている。

事業を実施して

- 参加する子どもは毎回、とても楽しみにしている。様々な体験活動は、子どもの生きる力を育むことにつながっている。
- 異年齢の子どもが交流したり、他の小学校の子どもと交流することにより、優しさや思いやりが見受けられ、社会性の向上につながっている。
- 地域のボランティアの方々は、子どもとかわかることでエネルギーをもらい喜んでいて、地域の方の知識・技能・知恵等が活かされて満足感を持っていただいている。
- 子ども・大学生・成人(保護者)・高齢者等のつながりが少しずつでき、地域社会の再構築のきっかけづくりとなっている。

名水っ子放課後子ども教室【宮崎県延岡市】

～子ども達と地域の仲間の笑顔とともに～

◆事業の目的・理念

- 放課後に小学校の余裕教室等を利用して、子どもたちの安心、安全な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会のなかで、心豊かに健やかに育まれる環境作りを推進する。
- 「地域の子どもは地域で育てる」という地域力のなか、学年や世代を超えた交流や様々な体験を通して自主性や社会性、創造性を育む。また、大人にとっても素敵な居場所となることをめざす。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	222日/年間	
参加人数	33人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

- 名水小学校図書室、体育館・余裕教室など

教室の開催日

- 月～金曜日 14:00～17:30

参加対象者

- 名水小学校の1年生から6年生

申込み手続きなど

- 学校を通じて参加申込書を4月に配布し募集・1年を通して随時登録申し込みが可能・登録更新は1年ごと
- 参加料金は不要。ただし、スポーツ安全保険代600円/年・活動内容に応じて材料費実費負担がある。



活動内容

- 平日は学年ごとに授業終了後子ども教室に来て30分の学習・その後好きな遊びを体育館・運動場・余裕教室などで楽しむスポーツ遊び（ドッチボール・バドミントン・リレーごっこ・長なわとび他）室内では製作・トランプ・オセロなど
- 週に1回は習字を行っている（安全管理員の中に習字塾の先生がいるため）
- 水曜日は全学年同じ時間に授業が終了するので全員で楽しい体験活動を取り入れている
昔の遊び・行事（ホタルかご・竹で作った水てっぽう・えの実てっぽう・和風・柳もち・門松づくり）
屋外体験（野外炊飯・そうめん流し・もちつき・校外視察）
地域の伝統（地域の祭りに参加・地域の特徴・クサツグの勉強・地域の偉人を知る）
楽しい手づくりおやつ（ミニピザ・みたらし団子・クッキー・もちピザ作りなど）



習字指導



将棋は楽しい



野外炊飯

コーディネーターや地域の方々などの参加

●採用・募集

コーディネーター…行政が採用 2教室を担当(企画・運営・学校、行政との連携調整)
安全管理員…学校が地域、保護者の中から選任(保護者・区長・民生委員・習字指導者等)
ボランティア…地域で特技を持つ人(ペットボトルロケット作り・もちつき・門松作り・国立大学付属延岡フィールドセンター)

●配置人数

コーディネーター1名・安全管理員登録14名(男4・女10)配置人数4名(支援児童2名在籍)

- 安全管理員は、月1回の校区内会議に参加・当月の反省次月の活動内容を計画・学校の防災訓練に参加・外部講師を招いての講話・救急法などの研修を受けている

事業を実施して

〈アンケート結果から〉

- 子ども…参加児童の98%が「楽しい」と回答している。そうめん流し・ダンボールハウス作り等の体験活動に人気がある。
- 保護者…昔の遊びなど家庭では、できない体験をたくさんしている。家でゲームをしなくなった。放課後そのまま学校内で遊べて安心。子ども教室のおかげで不安なく仕事ができる。
- 安全管理員…自分達の学校、地域という気持ちが高まった。地域で子どもたちと会話できるようになり元気がもらえる。異学年でひとつにまとまって遊び「思いやり」が育つ。安全管理員と児童の繋がりが地域に広がり、地域での支え合いに広がっている。
- 学校…地域との連携の場になり、地域の文化を伝えてもらい、教科やくらしの中に生きている。学校や地域で見守られ安心、安全である。

〈地域とのかかわり〉

- 子どもたちに対して、家庭や学校だけでなく地域も連携するようになった。子ども達が地域の夏祭りにポスターを描いたり貼ったりし、協力することもできた。また、餅つきを地域の公民館で行い、地域の方の手助けを受けることで「放課後子ども教室」を知っていたことができた。このように地域での大人と子どものふれあいや見守り活動に繋がっている。

あらきわらび放課後子ども教室【鹿児島県喜界町】

～一集落一校区の特性を生かして～

◆事業の目的・理念

- 一集落一校区の特性を生かし、子どもたちが地域の各関係機関の皆さんの参加・協力を得て、安全で健やかな居場所を確保し、充実した活動を展開する。また、関係機関等との具体的な役割分担や連携の在り方を模索しながら、地域に根ざした地域社会の教育力向上を図る。

実施場所	学校内	学校外
	●	●
開催日数	48日/年間	
参加人数	26人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	—	●
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	—	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	—	—

教室の実施場所

- 喜界町立荒木小学校体育館、校庭など
- 荒木集落公民館など

教室の開催日

- 毎週金曜日 16:30～18:30 ●土・日曜日は年間4回開催
- 長期休業中は年間11回開催

参加対象者

- 喜界町立荒木小学校の全児童

申込み手続きなど

- 特になし。全児童36名が放課後子ども教室に加入し、個々のスケジュールに応じて参加している。



町文化財保護審議会会長の案内による史跡巡り

活動内容

- 喜界町立荒木小学校の児童は、「荒木民俗芸能保存会」と「荒木サガマーエコクラブ」に属しており、民俗芸能伝承活動・環境学習(エコ活動も含む。)を中心に様々な活動を行っている。

平成21年度の活動予定

体験・創作活動

- 手話に挑戦しよう(年2回)
- 草木染めに挑戦しよう(年1回)
- 昔の遊びをしよう(年1回)
- 昔の玩具作りに挑戦しよう(年2回)
- お菓子(黒糖)を作ろう(年2回)
- しめ縄を作ろう(年1回)
- リース作りに挑戦しよう(年1回)
- マス(塩)作りに挑戦しよう(年1回)

民俗芸能伝承活動

- 民俗芸能の練習をしよう(高齢者とのふれ合い) 棒踊り・八月踊り・イトゥ(作業唄)・島唄など(年15回)

野外・スポーツ活動

- みんなで遊ぼう(卓球・パドミントン・バレーボールなど)(年7回)

学習活動

- エコについて学習しよう(年6回)
- 喜界島の史跡を探検しよう(年1回)



草木染めの様子



E Mボカシ作り

コーディネーターや地域の方々などの参加

●採用・募集

運営委員会委員に集落の各種団体長(PTA・集落区長・老人クラブ・婦人会・子ども会育成会・体育協会)を充て、地域全体で活動をサポートしている。また、学習アドバイザー・コーディネーターも運営委員会に加入しており、様々な活動が展開できるような協力体制が整っている。

コーディネーターは、社会教育指導員が兼務。学習アドバイザーは、荒木民俗芸能保存会及び荒木サガマーエコクラブ指導者。安全管理員2名は、子ども会育成会から。

- 配置人数 学習アドバイザー1名(常駐)、コーディネーター1名、安全管理員2名(常駐)

■協力体制 地域の方々にはその都度、各関係機関の長を通じ、協力を依頼している。

事業を実施して

- 荒木小学校児童が、環境学習や民俗芸能活動に活発に取り組んでいることから、さらに活動領域やコミュニティの場が広がるようにと放課後子ども教室を開設した。
- 地域の各種団体の皆さんの参加・協力を得て、子どもたちの安全で健やかな居場所を確保し、さらなる充実した活動と地域社会の教育力の向上につながればと思う。

若狭小ふれあい教室【沖縄県那覇市】

～地域の人々で見守る地域の子ども～

◆事業の目的・理念

- 地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取り組みを実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	178日/年間	
参加人数	15人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	—	●
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	●	—

教室の実施場所

- 那覇市立若狭小学校の多目的教室(ふれあい広場)、運動場、校庭、オープンスペースなど

教室の開催日

- 月～金曜日 15:00～16:30(夏期休業期間中を除く)
※平成20年度開催日数146日

参加対象者

- 那覇市に在住する小学生
- 主に若狭小学校の児童が参加している。

申込み手続きなど

- 学校を通し教室案内と申込用紙を配布。保険料を添えて申し込み。
- 参加料金は不要。ただし、必要に応じて教材費の実費負担がある。



～むかし遊びの様子～
音のなるおもちゃ作り(上)
竹馬あそび(右)



活動内容

- 学校生活が落ち着いた6月から活動を開始し、月曜日から金曜日まで活動プログラムがある。
- **学習支援**：指導員の手作りのプリントや各自の宿題、ドリル問題など
- **むかし遊び**：竹馬、コマまわし、けん玉、簡単な工作などの遊び
- **花作り**：プランターに花を植え、雑草を抜くなどの手入れ、校庭の美化活動
- **フィールドゲーム**：校庭や運動場を専用で使用できる日であり、ダンボールを使って遊んだり、ゲームやスポーツをする。
- その他に琉球舞踊(琉舞)、大正琴



～ふれあい広場で大正琴の練習～

平成21年度の主な活動

	内容	曜日	時間	場所
1	花作り	月	15:00～16:30	若狭小校庭
2	琉舞	月	15:30～16:30	若狭小オープンスペース
3	学習支援	火	15:30～16:30	若狭小ふれあい広場
4	むかし遊び	水	15:30～16:30	若狭小ふれあい広場
5	フィールドゲーム	木	15:30～16:30	若狭小運動場・校庭
6	大正琴	金	15:30～16:30	若狭小ふれあい広場

コーディネーターや地域の方々などの参加

- **採用・募集**
放課後子ども教室の目的に賛同する方。
- **配置人数**
『コーディネーター』1名(計6教室を担当)
『安全管理員』2名程度、『学習アドバイザー』配置人数:1名程度
『ボランティア等』1名程度(都合が合った場合のみ)
※昔遊びでは、地区の民生委員・児童委員が数名ボランティアで参加している。
- 活動プログラムの指導者は、児童クラブ、民生委員・児童委員、地域支援者等、各地域団体に曜日ごとに依頼しており、指導者への依頼や活動場所の調整、児童生徒への募集などを学校が関わり支援している。

事業を実施して

- 学校が、放課後子ども教室を「子ども達が地域社会の中で育つ場」と位置づけ、活動しやすい環境を整えているため、地域の支援者や活動団体、児童クラブ等が協力しやすい体制である。
- 子ども達にアンケートを実施した所、参加児童の大半が、友達が増えた、家庭での会話が増えた、地域の人と挨拶するようになったと答えており、楽しく参加、交流ができていっている様子が伺える。また、指導者からほめられる体験も多く、自信がついたと答える児童も多い。
- <指導者より>子ども教室で知り合った子どもたちに声をかけやすくなった。地域みんなで子どもを見守っているという環境をつくれる点が子ども教室の良いところだと思う。子ども達と触れ合えるのは楽しい。元気をもらっている。
- <学校より>地域の方々との異年齢交流があるためか子ども達が明るく落ち着いている。地域の方々が無心に関わってくださり、非常に感謝している。
- <保護者より>クラスや児童クラブ以外のお友達とも楽しく遊んでいるようで、安心しています。

西中田コミュニティスクール【宮城県仙台市】

(通称)西中田こみこみスクール

◆事業の目的・理念

- 地域の人を生かした活動や地域間の交流を図る活動により、放課後や休日の安全・安心な子どもの居場所づくりに努める。
- 地域住民が子どもたちとの活動に参画することを通して、地域と学校の連携や健全育成の基礎作りの一助とする。
- 本事業を通して、学校と地域が相互に学び合い助け合い、ともに教育力向上を目指す。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	222日/年間	
参加人数	22人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	—	●
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	—	●
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	●	●

教室の実施場所

- 西中田小学校北校舎内多目的室・特別教室など
※活動内容により体育館・校庭も使用

教室の開催日

- 月・水・木・金曜日 15:00～17:00
- 土曜日 9:30～16:00
ただし各講座は水曜・土曜、「こみこみ教室」は月・水・木・金曜に実施
冬季間はすべて16:30に終了、長期休業中は適宜実施

参加対象者

- 原則として西中田小学校 1～6年生 ただし「こみこみ教室」は主に3年生

申込み手続きなど

- 年間通して行う講座は、年度始めに募集する。単発で行う講座は、月1回発行の「こみこみ通信」で募集する。
- 児童クラブ補完事業である「こみこみ教室」は、前年度末に募集する。



12月開催の「たこたこあがり！」は児童館・子育て支援クラブとの共催行事。元児童館長を講師に、地域や学生のボランティアもお手伝いして個性豊かな凧が出来上がり、最後にみんなでたこ焼きを食べて大満足。

活動内容

●地域ボランティアによる講座

囲碁・書道・うたはともだち・百人一首・フラワーアレンジ・手芸・ビーズ・おりがみ・パソコン等

●地域団体・施設との共催事業

手話教室（柳生市民センター）たこたこあがり！（西中田児童館・子育て支援クラブ）和太鼓教室（西中田太鼓クラブ）西中田げんきまつり（西中田小PTA・他地域団体）春よ 来い来いコンサート（西中田小学校等）

●児童クラブ補完事業「こみこみ教室」

西中田児童館児童クラブに登録できない児童の居場所づくり

「こみこみスクール」12月予定表

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 ○こみこみ教室 ☆囲碁 ☆合唱 ☆おりがみ	3 ○こみこみ教室	4 ○こみこみ教室	5 午前 ☆囲碁 ☆書道 ☆百人一首 ☆土曜スタディ
6	7 ○こみこみ教室	8	9 ○こみこみ教室 ☆囲碁 ☆書道 ☆おりがみ☆合唱	10 ○こみこみ教室	11 ○こみこみ教室	12 午前 ☆合唱 ★トールペイント ☆土曜スタディ
13	14 ○こみこみ教室	15	16 ☆うたはともだち ☆囲碁 ☆おりがみ ○こみこみ教室	17 ○こみこみ教室	18 ○こみこみ教室	19 午前 ☆囲碁 ☆書道 ☆百人一首 ☆土曜スタディ
20	21 ○こみこみ教室	22	23 天皇誕生日	24 ○こみこみ教室	25 ○こみこみ教室 ★硬筆練習会	26 午前 ★硬筆練習会

12/27から22/1/4までこみこみスクールはお休みです！



市民センターで活動している手話サークルの講師とメンバーが、毎月第4土曜日に子どもたちと手話で交流。月1回の講座でも子どもたちの覚えの良さは大人顔負けで、毎回新しい手話を覚えている。

10月末から始まった「土曜スタディ」は、2～4年生の希望者を対象とした算数の学習で、現在29名の子どもたちが、保護者や学生のボランティアと一緒に、毎週土曜日10時から11時半まで学習に取り組んでいる。



学校支援地域本部事業との連携

平成20年12月より「仙台市学校支援地域本部」の指定を受け、21年度より放課後子ども教室事業と二本立てで事業を行っている。校舎内にある事務局でボランティアの募集や調整、連絡などを担うことで地域の主体的運営ができ、学校の負担軽減にもなっている。書道教室の講師が「書写」の指導補助に入るなど、子ども教室との連携も順調である。現在は「学習支援」「防犯・交通安全」「環境整備」を柱に行っており、特に「土曜スタディ」は、教員との連携により課外の学習支援として有効である。

コーディネーターや地域の方々などの参加

- **運営委員会** 学区内の町内会・自治会代表、学校、PTA役員等で組織する運営委員会が、市から委託を受け運営に当たっている。
- **採用・募集** コーディネーターは運営委員会で選定・承認。スタッフ（安全管理員）は、事務局で内定・運営委員会で承認。
- **配置人数** こみこみ教室は常時3名。講座開講日は適宜配置。講師等ボランティアは公募・推薦・口コミなどによる。

事業を実施して

- **地域住民は…** 活動の中での子どもたちとの交流、また地域主体での事業運営により、学校や教育に対する理解や関心が深まり、地域で子どもを育てる意識が高まってきた。
- **子どもたちは…** 常に多くの地域の大人に見守られ、心豊かに成長している。特に「こみこみ教室」では、少人数での家庭的な対応により、個別に支援が必要な児童も受け入れている。

- **教職員は…** 学校支援地域本部事業との一体化により、活動への理解が深まったことが活動の活性化や参加児童の増加につながっている。保護者も学校との連携が明確になったことで、活動への信頼感が増しボランティア等への意識も高まっている。
- **活動の中心は…** 主にPTA役員経験者が担ってきたが、今後は現役の保護者等の人材を育成し活動継続に努めたい。

中丸小学校放課後キッズクラブ【神奈川県横浜市】

～地域の子どもはみんなで育てる～

◆事業の目的・理念

- すべての子どもたちを対象に、小学校施設を活用して「遊びの場」と「生活の場」を兼ね備えた安全で快適な放課後の居場所を提供することを目的としています。
- 異年齢児や地域の人たちとの交流等の放課後の活動を通じて、子どもたちの社会性、自立心を養います。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	220日／年間	
参加人数	70人／1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	●	—
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	—	—

教室の実施場所

- 中丸小学校内の2室、校庭や体育館などの施設を使用するほか、近隣の公園等、校外の施設を利用することもある

教室の開催日

- 平日 放課後～19:00
- 土曜日・長期休業日等 8:30～19:00

参加対象者

- 中丸小学校の学区内に在住する小学生

申込み手続きなど

- 所定の参加申込書に必要事項を記入の上、中丸小学校放課後キッズクラブへ提出
- 参加料 17時まで無料、17時以降月額5,000円
1回利用800円(市民税所得割非課税世帯は月額2,500円)
- 傷害見舞金制度負担金 1人あたり年額500円



家族みんなで参加する恒例行事

活動内容

●学校のある日の放課後の自由遊び

キッズルーム……………ブロック、工作、読書、トランプ、パズル、ままごと、ビリヤード等
校庭……………一輪車、サッカー、野球、砂遊び等
体育館……………バスケットボール、マット遊び、バドミントン、各種ボール遊び等
第2キッズルーム…囲碁教室、編み物教室、工作、サイエンスクラブ(理科実験)等

●学校休業日

自由遊びと活動時間を長く必要とする特別行事

特別活動例：ランチ作り、お餅つき、近隣プレイパークでの活動、
スポーツ教室(カヤック体験、ヒップホップダンス、ダブルダッチ等)
お芋掘りと収穫祭(春:ジャガイモ、秋:サツマイモ)、遠足(水族館、陶芸体験、スケート等)、
季節の行事(お花見、七夕、節分)

6年生が中心となり企画運営した活動：夏祭り(クレープ、焼きそば、ジュース、ヨーヨー釣り、射的など)
キッズパーティー 4チームに分かれて鬼ごっこ、ティーパーティー(司会進行は6年生)

●午後5時以降参加する児童にはおやつを提供(実費負担 1回100円) 月平均提供数：209食

成長期の児童に提供するものであり、食育の観点から旬の食材、手作りを旨とする
週に1度は「一緒に作る日」とあらかじめ保護者に連絡し、参加児童とおやつ作り
提供メニュー例：カレーうどん・果物、ピザトースト・ゼリー、おにぎり・トン汁、
ホットケーキ・野菜スープ等

●登録率(在校児童で参加申込書を提出している) 83.3%(12月末日現在)

個別支援級在籍児童については100%登録

●スタッフには看護師が在籍 ケガの応急処置、体調不良の場合の看護にあたる(簡易ベッド 2台あり) 「紙漉き体験」



「燃焼と爆発」実験の様子



「紙漉き体験」



学校のプールで「カヤック教室」

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集 保護者、子育て支援者、総合型地域スポーツクラブ講師、元教員等、卒業生を中心とした大学生。

- 配置人数 5名体制を基本とするが、特別行事は必要に応じて増員。

- 囲碁教室、編み物教室、お餅つき、工作等は、地域の達人にサポートを依頼し、協力を仰ぐ。スポーツ教室は専門性の高い指導者と連携し、学年差によるクラス分け等効率的活動の展開を図る。

事業を実施して

<参加児童から>

いつも楽しく参加しています。これからもよろしくお願いします。頑張って企画した夏祭りが終わった後、チーフが泣きながら「ありがとう」と言ってくれたことが一番うれしかったし、思い出に残りました。

<保護者から>

自分を理解してくれる大人たちに見守られて、自分の居場所を見つけ6年生になりました。こどもはスタッフを信頼し、慕っていますし、親としても安心して参加させることができました。

川上小学校はまっ子ふれあいスクール【神奈川県横浜市】

～学校の中にあるみんなの居場所～

◆事業の目的・理念

- すべての子どもたちを対象にして、小学校施設を活用し、「遊びの場」と「生活の場」を兼ね備えた安全で快適な放課後の居場所を提供する（横浜市の設置目的）。
- 「体験による学び」が多様に行われ、子どもたちの主体性が自由に発揮される場。
- 高学年の児童も多く参加し、保護者や教員以外の第三の大人が関わる場である→結果、参加している子どもたちが“人まみれ”になる。
- NPO法人教育支援協会のノウハウ+地域力による多様なプログラム活動を実施。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	283日/年間	
参加人数	75人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

- 川上小学校の図工室、体育館、校庭など

教室の開催日

- 月・水曜日 14:30～19:00 ●火・木・金曜日 13:30～19:00
- 土曜日 8:30～19:00

参加対象者

- 川上小学校の学区内に在住する小学生

申込み手続きなど

- 傷害見舞金制度負担金（1人500円/年）の払込票を添付し、所定の申込書に必要事項記入の上、申し込む。
- 17:00以降は月極参加料5,000円または一時参加料800円及びおやつ代の実費を徴収。活動の実費徴収あり。



「わくわくデイ」で行われた地域主催の流しそめん大会

活動内容

- 全児童対象のイベントを毎日開催
…竹とんぼ・工作教室・手話ダンス・ハンドベルなど
- 保護者会を毎月開催
…民生・児童委員による子育て勉強会・手芸をしながら情報交換など
- 毎月1回、地域・学校・はまっ子による「わくわくデイ」を開催
…平均参加人数350人超の地域+子どもたちの企画イベント
- 希望者対象の「学習プログラム」を毎日実施→高学年の参加を促す
…放課後English・おもしろサイエンス・素読暗唱・算数国語の学習（シエルパ学習）
- 教職員との児童情報の意見交換を行っている

1週間の活動例		
	放課後～17:00	17:00～19:00
月曜日	工作教室	放課後English 小3・4
火曜日	ハンドベル	放課後English 小5・6
水曜日	カバゴン塾	素読暗唱/漢字塾
木曜日	手話ダンス	放課後English 小1・2
金曜日	リズムで遊ぼう	シエルパ学習
土曜日	わくわくデイなどイベント	

学年	登録児童数/登録率/平均参加人数							参加数(平均)
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全体	
在籍児童数	59	61	55	63	54	50	342	82
登録児童数	58	61	52	55	39	32	297	
登録率	98.3%	100.0%	94.5%	87.3%	72.2%	64.0%	86.8%	

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
区報や地域回覧板による公募及び現スタッフの紹介運営法人が採用
- 配置人数
登録スタッフは20名強 日々の活動への参加は4～5名 イベント時は地域の方も含め50名程度



地域の方々による大工仕事指導



素読暗唱（日本語活動）



放課後English（小学校英語活動）

事業を実施して

- 年2回開催している地域の方々や教職員、PTAとの運営評議会で活動の紹介をし、提案をいただいて、一緒に企画している。
- 毎週「学習プログラム」を実施することによって、高学年の登録・参加数が増え、異学年の交流やイベントが盛んになっている。
- 地域の方々の積極的な関わりがあり(特に父親)、地域の大人が児童を見知っていて、「地域の子どもたち」として接している。
- 子どもたちの活動を通じて、保護者と地域の方々との交流が放課後子ども教室で進み、子育ての相談なども行われている。

関屋ふれあいランド【新潟県新潟市】

～地域ぐるみで子どもたちの健全育成を図る～

◆事業の目的・理念

- 子どもたちに安心・安全な遊び場を提供すること。
- 子どもたちが異学年交流を通して、社会性を身に付け、様々な体験をすること。
- 地域の大人と子どもたちがふれあうことにより、地域ぐるみの青少年の健全育成を図ること。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	105日／年間	
参加人数	30人／1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	●	—
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	—	●

教室の実施場所

- 関屋小学校の集会室、ふれあいルーム、体育館、グラウンドなど

教室の開催日

- 月・水曜日 放課後～17:00 ●土曜日 9:15～11:30

参加対象者

- 関屋小学校児童
- 保護者が同伴した関屋小学校区内に在住の未就学児
- 関屋小学校区内に在住の大人で、児童と一緒に活動する人
(ただし、大人同士での活動や、個人の趣味・娯楽での利用は認めていない)

申込み手続きなど

- 児童はあらかじめ配ってある「パスポート」を提示して参加する。
- 未就学児、大人は受付で氏名を記入し参加する。



ふれあいランドお楽しみ会「クリスマス会」

活動内容

●日常の活動

- ・体育館では…鬼ごっこ、なわとび、一輪車、ドッジボール、ハンドベースボール、ドッジビー、バドミントンなど
- ・集会室では…卓球、押し花、ビーズ細工、しおりづくりなど
- ・ふれあいルームでは…オセロ、トランプ(カードゲーム)、おりがみ、すごろくなど
- ・グラウンドでは…サッカー、木登りなど

●毎月のイベント

- ・毎月、趣向を凝らしたイベントを開催している。
- ・夏休みには、1泊2日の日程で学校に泊まる会〈ふれらん合宿〉を開催している。隣接する新潟青陵大学や新潟大学の学生の参加も得て各種イベントを開いている。(右表参照)



ふれあいランド「ふれらん合宿」

平成21年度の主な行事予定

月	イベント	手作りコーナー・活動予定
4		・おりがみ ・こいのぼり壁飾り ・かぶとづくり
5	ふれらんフェスタ(23日)【学生担当】	・おりがみ(かぶと)他 ・押し花でしおりづくり
6		・貝の根付づくり ・おりがみ(七夕飾り)
7		・七夕飾り ・はがきに押し花を貼る ・ラベンダーの「レースサシェ」づくり
8	ふれらん合宿(23・24日) 【きもためし・コンサートは学生担当】	
9		・おりがみ ・豆人形のストラップづくり
10		・作品展の作品づくり ・おりがみ
11		・落ち葉のコースターづくり ・来年のえと(とら)をおりがみで折る
12	ふれらんお楽しみ会(クリスマス会)【学生担当】	・ちりめんのピエロづくり ・クリスマスのプレゼントづくり
1		・毛糸で遊ぼう月間 ・おりがみ
2		・おりがみ(お雛様づくり) ・送る会の小物づくり
3	大学4年生を送る会	・押し花 ・おりがみ

コーディネーターや地域の方々などの参加

●採用・募集

- ・コーディネーター…運営委員会の推薦により、新潟市教育委員会が委嘱する。
- ・運営スタッフ…随時募集しており、運営委員会が委嘱する。

●配置人数

コーディネーターは2名。運営スタッフは30名。運営スタッフは、関屋小学校PTA会員や自治会、民生・児童委員等、地域住民のボランティアで構成している。

- 夏休みに実施している「学校お泊り会」や12月の「クリスマス会」は、大学生に参画してもらい、運営している。

事業を実施して

- 子どもの自由遊びを基本としながら、毎月、スタッフ主催のイベントを開催したり、夏休みを利用した合宿・演奏会等を通して、子どもと地域の方々、大学生との交流を進めている。
- 遊びを通して高学年が低学年に教える姿も見られるようになり、異学年の交流が進んでいる。また、地域の方々、大学生との交流を通して子どものコミュニケーション力の向上につながっている。
- 子ども、保護者、学校の話…いろいろな道具で、大人や他の人たちと遊ぶことができるので楽しい。地域の方とふれあうことで社会性・自主性がはぐくまれると思う。親子共々喜んでいる。スタッフの皆様には感謝の気持ちでいっぱいである。
- 運営スタッフの話…子どもたちの笑顔に元気をもらっている。コーディネーターや多くのスタッフと交流でき、楽しい時間を過ごせることに感謝している。

名古屋市放課後子ども教室【愛知県名古屋市】

～東山小学校トワイライトスクール～

◆事業の目的・理念

- 放課後などに学校施設を使って学年の異なる友達と自由に遊んだり、学んだり、体験活動に参加したり、地域の人々と交流することを通じて、子どもたちの自主性、社会性、創造性を育む目的で実施。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	292日/年間	
参加人数	48人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	—	●
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	—	—

教室の実施場所

- 放課後学級ルーム（教室を改修し活用）、運動場、体育館など

教室の開催日

- 月～金曜日 授業後～18:00
- 土曜日及び長期休業期間 9:00～18:00
※日曜日、祝日、年末年始は休み

参加対象者

- 東山小学校の学区内に在住する小学生

申込み手続きなど

- 参加申込書を提出。
- 保護者負担 参加料：無料（別に負担金（保険関係費）あり）



講座「藤細工」

活動内容

多くの熱心な地域の方による豊かな体験活動が数多く行われている。

- 自由遊び ブロック、トランプ、なわとび、ドッチビー、オセロ、将棋、百人一首、ドミノ、パズルなど
- 体験活動 地域の方を講師としたものづくり、伝承遊び、スポーツ、伝統文化等の講座
○工作 ○紙工作 ○からくり工作 ○科学工作 ○手芸 ○小物細工 ○藤細工 ○和紙クラフト ○クラフト
○折り紙 ○絵手紙 ○ペンシルパルーン ○グランドゴルフ ○伝承遊び ○お手玉 ○編み物 ○ぜに太鼓
○英語遊び ○お話 ○ストーリーテリング ○紙芝居 ○昔話 ○ゲーム遊び ○アレンジフラワー
- 地域交流活動 地域ふれあい事業「かざりパンと藤細工」、「お気に入り万華鏡」
- 学びの活動
○学びの講座 楽しみながら学習に興味・関心をもつ。○自習タイム 宿題、復習、読書など。
○質問タイム 学習でわからないことを聞く、皆で考えるなど。



ハロウィンのかぼちゃのランタン作り

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 運営指導者
トワイライトスクール事業全般を総括し、学校・地域との調整など事業の円滑な運営の視点から、教職経験のある者がこれにあたる。（1名配置）
- 地域協力員(アシスタントパートナー)
子どもたちの活動の相手となり、身近な大人として子どもに接し、子どもの健全育成に理解のある地域の方々がこれにあたる。（1日2名程度従事）
- 体験活動講師
子どもたちに、ものづくりや伝承遊び、スポーツを始め、特技を活かして様々な体験活動を実施。
- 運営連絡会
地域の主な組織の代表者などで構成。運営に関する意見を頂いたり、地域協力員、体験活動講師の推薦を頂いたりしている。

事業を実施して

- 学校という安心・安全が確保されている場所で、学年の異なる子どもたちが一緒になって思い切り遊び、学ぶことで日常的な異学年交流や学習習慣の定着化が図られている。
- 地域協力員や体験活動の講師として地域の方々にご協力を頂いているほか、地域交流活動により、子どもたちと地域の大人との交流が深まっている。

名古屋市放課後子ども教室【愛知県名古屋市】

～矢田小学校トワイライトスクール～

◆事業の目的・理念

- 放課後などに学校施設を使って学年の異なる友達と自由に遊んだり、学んだり、体験活動に参加したり、地域の人々と交流することを通じて、子どもたちの自主性、社会性、創造性を育む目的で実施。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	292日/年間	
参加人数	36人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

- 放課後学級ルーム(教室を改修し活用)、運動場、体育館など

教室の開催日

- 月～金曜日 授業後～18:00
- 土曜日及び長期休業期間 9:00～18:00
※日曜日、祝日、年末年始は休み

参加対象者

- 矢田小学校の学区内に在住する小学生

申込み手続きなど

- 参加申込書を提出。
- 保護者負担 参加料:無料(別に負担金(保険関係費)あり)



10周年記念式典で和太鼓の体験

活動内容

多くの熱心な地域の方による豊かな体験活動が数多く行われている。

- 自由遊び ブロック、トランプ、なわとび、ドッチビー、オセロ、将棋、百人一首、ドミノ、パズルなど
- 体験活動 地域の方を講師としたものづくり、伝承遊び、スポーツ、伝統文化等の講座
○手芸 ○折り紙 ○お絵かき ○お花づくり ○ネイチャークラフト ○ぜに太鼓 ○和太鼓 ○民謡太鼓
○グラウンドゴルフ ○バドミントン ○カローリング ○室内ゲーム ○英語あそび ○茶道
- 地域交流活動 地域ふれあい事業「親子グラウンドゴルフの会」、「親子ふれあいバドミントンの会」、ふれあいお楽しみ10周年の会
- 学びの活動
○学びの講座 楽しみながら学習に興味・関心をもつ。
○自習タイム 宿題、復習、読書など。
○質問タイム 学習でわからないことを聞く、皆で考えるなど。



ふれあいお楽しみのでぜに太鼓を披露

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 運営指導者 トワイライトスクール事業全般を総括し、学校・地域との調整など事業の円滑な運営の視点から、教職経験のある者がこれにあたる。(1名配置)
- 地域協力員(アシスタントパートナー) 子どもたちの活動の相手となり、身近な大人として子どもに接し、子どもの健全育成に理解のある地域の方々がこれにあたる。(1日2名程度従事)
- 体験活動講師 子どもたちに、ものづくりや伝承遊び、スポーツを始め、特技を活かして様々な体験活動を実施。
- 運営連絡会 地域の主な組織の代表者などで構成。運営に関する意見を頂いたり、地域協力員、体験活動講師の推薦を頂いたりしている。

事業を実施して

- 学校という安心・安全が確保されている場所で、学年の異なる子どもたちが一緒になって思い切り遊び、学ぶことで日常的な異学年交流や学習習慣の定着化が図られている。
- 地域協力員や体験活動の講師として地域の方々にご協力を頂いているほか、地域交流活動により、子どもたちと地域の大人との交流が深まっている。

名古屋市放課後子ども教室【愛知県名古屋市】

～放課後子どもプラン弥富～

◆事業の目的・理念

●本事業は、トワイライトスクール（放課後子ども教室推進事業）と留守家庭児童健全育成事業（放課後児童健全育成事業）の良い面を取り入れ、すべての子どもに「遊び」「学び」「体験」「交流」「生活」の場を提供し、昼間保護者が家庭にいないことなどにより子育てへの援助を希望する家庭の子どもについては、あわせて、より生活に配慮した取組を行うなど、検討を進めている名古屋市放課後子どもプラン（仮称）創設のためのモデル事業として、平成21年度から実施している。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	292日/年間	
参加人数	55人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	—	●
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	●	—

教室の実施場所

●ライフルームとプレイルーム、運動場、体育館など

教室の開催日

- 月～金曜日 基本時間帯：授業後～17:00
延長時間帯：17:00～19:00
 - 土曜日及び長期休業期間
基本時間帯：10:00～17:00
延長時間帯：8:00～10:00、17:00～19:00
- ※日曜日、祝日、年末年始は休み

参加対象者

- 弥富小学校の学区内に在住する小学生
※延長時間帯を利用する場合は、一定の要件が必要です

申込み手続きなど

- 参加申込書を提出 ※延長時間帯を利用する場合には別途登録申込が必要
- 保護者負担 利用料：無料（別に負担金（保険関係費）あり）※延長時間帯を利用する場合には月額5,000円（おやつ代含む）が必要



清掃活動

活動内容

多くの熱心な地域の方による豊かな体験活動が数多く行われている。

- 自由遊び ブロック、トランプ、なわとび、ドッチビー、オセロ、将棋、百人一首、ドミノ、パズルなど
- 体験活動 地域の方を講師としたものづくり、伝承遊び、スポーツ、伝統文化等の講座
○楽しい工作 ○不思議な工作 ○手作り楽器 ○茶の湯を楽しもう ○おやつ作り
○楽しいカード作り ○英語で遊ぼう ○フラワーアレンジメント ○ドッチビー ○絵本作り
- 地域交流活動 地域ふれあい事業「親子で茶の湯を楽しむ」
- 学びの活動 ○学びの講座 楽しみながら学習に興味・関心をもつ。
○自習タイム 宿題、復習、読書など。
○質問タイム 学習でわからないことを聞く、皆で考えるなど。
- 生活に配慮した取組み およつ提供、連絡帳等を活用し児童の様子等の情報提供



およつの時間

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 運営指導者
モデル事業全般を総括し、学校・地域と十分連携・調整を図り、事業を円滑に行うことができる、教育的識見を有した者があたる。（1名配置）
- 子ども指導員
活動・生活の指導・援助、保護者に対する子育て支援を行う。児童福祉法最低基準第38条に定める「児童の遊びを指導する者」があたる。（1日2名程度従事）
- 地域協力員（アシスタントパートナー）
子どもたちの活動の相手となり、身近な大人として子どもに接し、子どもの健全育成に理解のある地域の方々があたる。（1日2名程度従事）
- 体験活動講師
子どもたちに、ものづくりや伝承遊び、スポーツを始め、特技を活かして様々な体験活動を実施。
- 運営連絡会
地域の主な組織の代表者などで構成。運営に関する意見を頂いたり、地域協力員、体験活動講師の推薦を頂いたりしている。

事業を実施して

- 学校という安心・安全が確保されている場所で、学年の異なる子どもたちが一緒になって思い切り遊び、学ぶことで日常的な異学年交流や学習習慣の定着化が図られている。
- 子ども指導員の配置により、子どもたちの活動や生活面での支援・保護者への子育て支援の充実が図られている。
- 地域協力員や体験活動の講師として地域の方々にご協力を頂いているほか、地域交流活動により、子どもたちと地域の大人との交流が深まっている。

名古屋市放課後子ども教室【愛知県名古屋市】

～小幡小学校トワイライトスクール～

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	292日／年間	
参加人数	43人／1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	—	●
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	—	—

◆事業の目的・理念

- 放課後などに学校施設を使って学年の異なる友達と自由に遊んだり、学んだり、体験活動に参加したり、地域の人々と交流することを通じて、子どもたちの自主性、社会性、創造性を育む目的で実施。

教室の実施場所

- 放課後学級ルーム(教室を改修し活用)、運動場、体育館など

教室の開催日

- 月～金曜日 授業後～18:00
- 土曜日及び長期休業期間 9:00～18:00
※日曜日、祝日、年末年始は休み

参加対象者

- 小幡小学校の学区内に在住する小学生

申込み手続きなど

- 参加申込書を提出。
- 保護者負担 参加料:無料(別に負担金(保険関係費)あり)



講座「ぜに太鼓」

活動内容

多くの熱心な地域の方による豊かな体験活動が数多く行われている。

- 自由遊び ブロック、トランプ、なわとび、ドッチビー、オセロ、将棋、百人一首、ドミノ、パズルなど
- 体験活動 地域の方を講師としたものづくり、伝承遊び、スポーツ、伝統文化等の講座
○手芸 ○将棋 ○囲碁 ○押し花 ○ぜに太鼓 ○楽しい踊り ○レッツダンス ○お茶のけいこ
○グラウンドゴルフ ○ドッチビー ○菓子を作ろう ○ことば遊び ○楽しい英語 ○英語遊び ○読み聞かせ
- 地域交流活動
地域ふれあい事業「ふれあい踊りの教室」、「ふれあいお茶の教室」、「ふれあい押し花教室」、「ふれあいいりボンフラワー教室」
- 学びの活動
○学びの講座 楽しみながら学習に興味・関心をもつ。
○自習タイム 宿題、復習、読書など。
○質問タイム 学習でわからないことを聞く、皆で考えるなど。



講座「将棋」

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 運営指導者
トワイライトスクール事業全般を総括し、学校・地域との調整など事業の円滑な運営の視点から、教職経験のある者があたる。(1名配置)
- 地域協力員(アシスタントパートナー)
子どもたちの活動の相手となり、身近な大人として子どもに接し、子どもの健全育成に理解のある地域の方々があたる。(1日2名程度従事)
- 体験活動講師
子どもたちに、ものづくりや伝承遊び、スポーツを始め、特技を活かして様々な体験活動を実施。
- 運営連絡会
地域の主な組織の代表者などで構成。運営に関する意見を頂いたり、地域協力員、体験活動講師の推薦を頂いたりしている。

事業を実施して

- 学校という安心・安全が確保されている場所で、学年の異なる子どもたちが一緒になって思い切り遊び、学ぶことで日常的な異学年交流や学習習慣の定着化が図られている。
- 地域協力員や体験活動の講師として地域の方々にご協力を頂いているほか、地域交流活動により、子どもたちと地域の大人との交流が深まっている。

名古屋市放課後子ども教室【愛知県名古屋市】

～常安小学校トワイライトスクール～

◆事業の目的・理念

- 放課後などに学校施設を使って学年の異なる友達と自由に遊んだり、学んだり、体験活動に参加したり、地域の人々と交流することを通じて、子どもたちの自主性、社会性、創造性を育む目的で実施。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	292日/年間	
参加人数	45人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	—	●
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	—	—

教室の実施場所

- 放課後学級ルーム、運動場、体育館など

教室の開催日

- 月～金曜日 授業後～18:00
 - 土曜日及び長期休業期間 9:00～18:00
- ※日曜日、祝日、年末年始は休み

参加対象者

- 常安小学校の学区内に在住する小学生

申込み手続きなど

- 参加申込書を提出。
- 保護者負担 参加料：無料（別に負担金（保険関係費）あり）



地域ふれあい事業「ペットボトルロケットづくり」

活動内容

多くの熱心な地域の方による豊かな体験活動が数多く行われている。

- 自由遊び** ブロック、トランプ、なわとび、ドッチビー、オセロ、将棋、百人一首、ドミノ、パズルなど
- 体験活動** 地域の方を講師としたものづくり、伝承遊び、スポーツ、伝統文化等の講座
 - 折り紙 ○腹話術 ○お茶 ○お花 ○お話と遊ぼう ○読み聞かせ ○お話タイム ○スポーツ
 - 合気道 ○昔遊び ○算数タイム
- 地域交流活動** 地域ふれあい事業「ペットボトルロケットづくり」
- 学びの活動** ○学びの講座 楽しみながら学習に興味・関心をもつ。
 - 自習タイム 宿題、復習、読書など。
 - 質問タイム 学習でわからないことを聞く、皆で考えるなど。



講座「お茶の手ほどき」

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 運営指導者**
トワイライトスクール事業全般を総括し、学校・地域との調整など事業の円滑な運営の視点から、教職経験のある者がこれにあたる。（1名配置）
- 地域協力員（アシスタントパートナー）**
子どもたちの活動の相手となり、身近な大人として子どもに接し、子どもの健全育成に理解のある地域の方々これがこれにあたる。（1日2名程度従事）
- 体験活動講師**
子どもたちに、ものづくりや伝承遊び、スポーツを始め、特技を活かして様々な体験活動を実施。
- 運営連絡会**
地域の主な組織の代表者などで構成。運営に関する意見を頂いたり、地域協力員、体験活動講師の推薦を頂いたりしている。

事業を実施して

- 学校という安心・安全が確保されている場所で、学年の異なる子どもたちが一緒になって思い切り遊び、学ぶことで日常的な異学年交流や学習習慣の定着化が図られている。
- 地域協力員や体験活動の講師として地域の方々にご協力を頂いているほか、地域交流活動により、子どもたちと地域の大人との交流が深まっている。

名古屋市放課後子ども教室【愛知県名古屋市】

～引山小学校トワイライトスクール～

◆事業の目的・理念

- 放課後などに学校施設を使って学年の異なる友達と自由に遊んだり、学んだり、体験活動に参加したり、地域の人々と交流することを通じて、子どもたちの自主性、社会性、創造性を育む目的で実施。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	292日／年間	
参加人数	34人／1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	—	●
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	—	—

教室の実施場所

- 放課後学級ルーム(教室を改修し活用)、運動場、体育館など

教室の開催日

- 月～金曜日 授業後～18:00
- 土曜日及び長期休業期間 9:00～18:00
※日曜日、祝日、年末年始は休み

参加対象者

- 引山小学校の学区内に在住する小学生

申込み手続きなど

- 参加申込書を提出。
- 保護者負担 参加料:無料(別に負担金(保険関係費)あり)



講座「折り紙で遊ぼう」

活動内容

多くの熱心な地域の方による豊かな体験活動が数多く行われている。

- 自由遊び ブロック、トランプ、なわとび、ドッチビー、オセロ、将棋、百人一首、ドミノ、パズルなど
- 体験活動 地域の方を講師としたものづくり、伝承遊び、スポーツ、伝統文化等の講座
○詩吟と工作を楽しもう ○手芸を楽しもう ○組みひもづくり ○ちぎり絵を楽しもう ○将棋教室
○琴に親しむ会 ○本に親しむ会 ○グラウンドゴルフ教室 ○英語となかよし ○編み物教室
- 地域交流活動
地域ふれあい事業「琴に親しむ会」
引山学区納涼まつりにトワイライトスクールとして参加
名東区民まつり香流川フェスタにて、英語の歌や踊りを披露
- 学びの活動
○学びの講座 楽しみながら学習に興味・関心をもつ。 ○自習タイム 宿題、復習、読書など。
○質問タイム 学習でわからないことを聞く、皆で考えるなど。



講座「本に親しむ会」

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 運営指導者
トワイライトスクール事業全般を総括し、学校・地域との調整など事業の円滑な運営の視点から、教職経験のある者があたる。(1名配置)
- 地域協力員(アシスタントパートナー)
子どもたちの活動の相手となり、身近な大人として子どもに接し、子どもの健全育成に理解のある地域の方々があたる。(1日2名程度従事)
- 体験活動講師
子どもたちに、ものづくりや伝承遊び、スポーツを始め、特技を活かして様々な体験活動を実施。
- 運営連絡会
地域の主な組織の代表者などで構成。運営に関する意見を頂いたり、地域協力員、体験活動講師の推薦を頂いたりしている。

事業を実施して

- 学校という安心・安全が確保されている場所で、学年の異なる子どもたちが一緒になって思い切り遊び、学ぶことで日常的な異学年交流や学習習慣の定着化が図られている。
- 地域協力員や体験活動の講師として地域の方々にご協力を頂いているほか、地域交流活動により、子どもたちと地域の大人との交流が深まっている。

安井小学校放課後まなび教室【京都府京都市】

～地域が見守り育む 自主的な「まなび」～

◆事業の目的・理念

- 学力向上の取組の一環として、児童の基本的な学力の定着や、自主的に学習する習慣づけを図る。
- 「地域の子どもは地域で育む」の基本方針のもと、地域や学生の参画を得て、放課後の子どもたちの安心・安全な居場所づくりを進める。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	214日/年間	
参加人数	16人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

- 安井小学校南校舎2階図書室

教室の開催日

- 月～金曜日 14:30～16:30 (低学年)
15:30～18:00 (高学年)
- 長期休業期間中は状況に応じて実施

参加対象者

- 安井小学校の1年生から6年生

申込み手続きなど

- 学校で案内を配り、参加者を募集する。
- 参加希望者は保険料600円を添えて学校に申し込み。参加料金は不要。



地域のスタッフに見守られ学習プリントで自学自習

活動内容

●日常的な学びの取組み

○宿題・予習・復習 ○読書活動

●体験活動（学習サポーター・地域の講師の指導によるものづくり活動）

- 読み書かせ…低学年を中心に、宿題等の学習が早く終了した子どもを対象に行い、読書への関心を高めている。
- 簡単な工作…年に数回程度、テーマ（例：「クリスマスミニツリーを作ろう」）を設定して体験活動を行なっている。
- 楽しい英語…ロンドンで長年生活していたサポーターの指導の下、楽しく英語に触れる活動を行なっている。

活動日程表

低学年（1・2・3年）						高学年（4・5・6年）					
時刻	月	火	水	木	金	時刻	月	火	水	木	金
14:30						15:30					
～						～					
16:30						18:00					

低学年（1・2・3年）: 宿題、予習・復習・自習用プリント、読書・読み聞かせ

高学年（4・5・6年）: 宿題、予習・復習・自習用プリント、読書・読み聞かせ、グループ学習、共同制作等の集団活動



クリスマスの飾り作り



アルファベットで創作活動



コーディネーターや地域の方々などの参加

●運営

安井小学校区で、学校・PTA・地域団体等による「実行委員会」を組織し、地域や学生等の参画を得て運営。学習アドバイザー・学習サポーターは教室・学校・教育委員会が募集している。

●配置人数

1日当たり学習アドバイザー1名 学習サポーター2名程度
コーディネーターについては、市が採用する元退職校長1名（他教室と兼務）

事業を実施して

- 〈子どもから〉放課後まなび教室に参加してから、宿題がしっかり出来るようになった。友達と一緒に勉強ができて楽しい。
- 〈保護者から〉放課後に安全に活動できる場所があって安心できる。宿題をしっかりやってきてくれるので、家での時間をゆったりと過ごすことが出来るようになった。
- 〈学習アドバイザー・学習サポーターから〉子ども達と親しくなることで、今まで以上に地域のつながりが深まった。地域で顔見知りの子どもの数が増えてあいさつしてくれるようになった。
- 〈学校から〉異学年と一緒に学習することで自然な交流ができ、個人の学習習慣に良い影響を与えてくれる。

九条北小学校いきいき活動放課後子ども教室【大阪府大阪市】

◆事業の目的・理念

- 都市化の影響、少子化や地域のつながりの低下等によって失われた、「暮らし」とともに子どもが育まれる環境を整え、健やかな育ちを支援する。
- 学校と地域との協力のもと、児童が多くの事柄を学ぶことができる様々な体験や活動プログラムを通じて、児童の個性を生かし、自立性、創造性、社会性などを育み、児童の健全育成を図る。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	290日/年間	
参加人数	29人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	●	—
	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	—	—

教室の実施場所

- 九条北小学校の普通教室（活動室）、グラウンド、体育館など

教室の開催日

- 授業期間中の平日：放課後～18時
- 土曜日・長期休業中：9時～18時

参加対象者

- 九条北小学校の学区内に在住する小学生

申込み手続きなど

- 九条北小学校いきいき活動室にて所定の申し込み用紙を提出。
- 利用料金は不要。ただし、災害補償制度運営費として児童1人あたり500円(年額)の保険料実費負担がある。



地域のボランティアによるお花見を兼ねた紙芝居

活動内容

- 地域的に、「子どもたちは地域が育てる」という風土ができており、日常の活動に加え、地域とのつながりが深く、老人会や女性会と、遊びやスポーツの交流をしている。
- 「いきいき」（子ども教室）の行事に老人会を招いて、プレゼントや出し物発表をする。お年寄りの方にも喜んでいただいている。
- 発表の一環として手話にも取り組んでいる。
- 進学先の中学生を招き、コンサートをやっている。



老人会とのクリスマス会

九条北小学校いきいき活動放課後子ども教室 活動予定表

日常活動	将棋やオセロなどの対戦ゲーム、トランプや百人一首のカードゲーム、積み木やカブラ、あやとり、創作活動(折り紙等)、ボール遊び、鬼ごっこ、縄跳び、一輪車、竹馬、けん玉、コマ回し など
行事関係	
春休み	老人会との交流（お花見会、グランドゴルフ）
1学期	各種競技会（将棋、オセロ） 絵手紙教室
夏休み	盆踊りの練習をして地域盆踊りに参加 折り紙教室など
2学期	工作教室 各種競技会（グランドゴルフ、百人一首） 老人会との交流（クリスマス会、ゲーム大会）
3学期	カルタ大会、百人一首競技会、 オセロ大会

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
(財)大阪市教育振興公社にて一括募集・採用
- 配置人数
【コーディネーター（囑託指導員）】 ・登録：2名 ・配置：1名
【安全管理員（地域指導員）】 ・登録：10名 ・配置：5～6名
【ボランティア等（いきいきパートナー）】 ・登録：9名 ・配置：随時参加

事業を実施して

- いきいき活動（放課後子ども教室）と地域の関わりをより深めることができている。「町で見かけたら声をかけてくれるのですよ」と嬉しそうに話してくださる地域の方もいらっしゃる。
- 子どもたちの方からも「この間のおばあちゃんに昨日会ったよ」と時々報告してくれるようになった。
- これからも、これらの活動が地域と子どもたちのかけはしの一端を担うことができればと願っている。

本田小学校いきいき活動放課後子ども教室【大阪府大阪市】

◆事業の目的・理念

- 都市化の影響、少子化や地域のつながりの低下等によって失われた、「暮らし」とともに子どもが育まれる環境を整え、健やかな育ちを支援する。
- 学校と地域との協力のもと、児童が多くの事柄を学ぶことができる様々な体験や活動プログラムを通じて、児童の個性を生かし、自立性、創造性、社会性などを育み、児童の健全育成を図る。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	290日/年間	
参加人数	72人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	●	—
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	—	—

教室の実施場所

- 本田小学校の普通教室（活動室）、グラウンド、体育館など

教室の開催日

- 課業期間中の平日：放課後～18時
- 土曜日・長期休業中：9時～18時

参加対象者

- 本田小学校の学区内に在住する小学生

申込み手続きなど

- 本田小学校いきいき活動室にて所定の申し込み用紙を提出。
- 利用料金は不要。ただし、災害補償制度運営費として児童1人あたり500円(年額)の保険料実費負担がある。



活動風景

活動内容

- 次の3点を主なねらいとして日々の放課後活動を展開している。
 - ・互いを大切にして、安全に楽しく過ごすことができる。
 - ・児童が互いによさを認め合い、人として尊重することができる。
 - ・遊びを通じて、助け合うことやルールを守ることの大切さを理解することができる。
- 本田小では特に、支援を要する児童の参加に対する取り組みを行っている。学級とは違い、異学年の子ども達が過ごす中で、支援を要する児童もまた「特別な存在」ではなく、集団の中の1人として楽しく過ごせる環境づくりをめざしている。
- 季節ごとに行事をもうけて活動に幅をもたせている。

九条北小学校いきいき活動放課後子ども教室 活動予定表	
日常活動	読書、紙芝居、パズル、将棋、ビーズでの創作、折り紙、絵、ビデオ視聴、ミサンガ作り、なわとび、ボール遊び、鬼ごっこなど集団遊び、鉄棒、一輪車、砂遊び 他
行事関係	
春休み	お花見昼食会
1学期	塗り絵コンテスト
夏休み	七夕まつり、お話会、水遊び大会、映画会
2学期	塗り絵コンテスト ゲーム集会 クリスマス会、お話会
3学期	正月お楽しみ会



ブロック遊び

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
(財)大阪市教育振興公社にて一括募集・採用
- 配置人数
『コーディネーター(嘱託指導員)』 ・登録：2名 ・配置：1名
『安全管理員(地域指導員)』 ・登録：16名 ・配置：10～12名
『ボランティア等(いきいきパートナー)』 ・登録：7名 ・配置：随時参加

事業を実施して

- 支援を要する児童も、集団の中の1人として楽しく過ごせる環境づくりのため、特定の指導員1人が特定の児童の支援をするのではなく、指導員全員が児童全員に接し、支援のあり方を知ろうとする姿勢を生み出した。児童の支援をする・支援を受けるという関係だけでなく共に過ごすことによって互いに親しみ、人として高めあうという姿をめざしている。
- 日々、支援を要する子ども達と接する中で、指導員と子どもたちが互いに多くのことを学ぶことができる。それをすぐ適切な形にして表すことができるかどうかについては多くの課題も残るが、少しずつではあっても、あせらず、指導員と保護者とのコミュニケーションを絶やさず積極的に取り組む姿勢を持ち続けていきたい。

出来島小学校いきいき活動放課後子ども教室【大阪府大阪市】

◆事業の目的・理念

- 都市化の影響、少子化や地域のつながりの低下等によって失われた、「暮らし」とともに子どもが育まれる環境を整え、健やかな育ちを支援する。
- 学校と地域との協力のもと、児童が多くの事柄を学ぶことができる様々な体験や活動プログラムを通じて、児童の個性を生かし、自立性、創造性、社会性などを育み、児童の健全育成を図る。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	290日／年間	
参加人数	36人／1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	●	—
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	—	—

教室の実施場所

- 出来島小学校の普通教室（活動室）、グラウンド、体育館など

教室の開催日

- 授業期間中の平日：放課後～18時
- 土曜日・長期休業中：9時～18時

参加対象者

- 出来島小学校の学区内に在住する小学生

申込み手続きなど

- 出来島小学校いきいき活動室にて所定の申し込み用紙を提出。
- 利用料金は不要。ただし、災害補償制度運営費として児童1人あたり500円(年額)の保険料実費負担がある。



クリスマス会でみんな集合

活動内容

- 子ども達が自分で仲間をつくり、自分で遊べるようにする。1人でできる遊びや作業はあまりしないようにしている。「みんな明るくみんな仲よくいきいき遊ぶ」を目標にしている。
- 重度の支援を要する児童に対して、集団のなかで行動していく楽しさを体験させ、社会へ目を向けさせることへの指導にとりくんでいる。
- また、他の児童らも集団活動を通じて障害への理解や、仲間として受け入れる姿勢を学んでいる。



特別活動：世界陸上観戦(2007年)

出来島小学校いきいき活動放課後子ども教室 活動予定表

日常活動	トランプ、ウノ、将棋、レゴ、オセロ、折り紙、工作、オルガン、読書、積み木、けん玉、ドミノ、お絵かき、パズル、カプラ、ボール遊び、一輪車、竹馬、鬼ごっこ、縄跳び、鉄棒 等
行事関係	
春休み	新入生体験参加
1学期	五月の節句、たなばた祭り
夏休み	水泳大会など
2学期	球技大会(ドッジボール、バスケットボール、サッカー) クリスマスお楽しみ会、 都島工業高校「フォークソング同好会」の演奏、交歓会
3学期	節分の会 おひな祭り

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
(財)大阪市教育振興公社にて一括募集・採用
- 配置人数
「コーディネーター(嘱託指導員)」 ・登録：2名 ・配置：1名
「安全管理員(地域指導員)」 ・登録：6名 ・配置：3～4名

事業を実施して

- 重度の支援を要する児童の参加を通じて、児童の目線で活動を考えることができた。活動室へ入る際の段差、座机などの配置、活動中の決まり「走らない、物を投げない」などを設定し、また、「1人での行動、特定の人とだけの行動」ということも避けるようにし、指導員と子ども達と一緒に行動し、仲間として活動を行う環境を築くことができた。
- 支援を要する児童を含めて、異学年との交流を進めることで、学校の中でも廊下や階段ですれ違っていると、学年を問わずに「がんばってね」とエールを送っている光景を目にすることができる。
- 今後も、全ての児童に対して安全に安心して活動できる環境づくりをより推進していきたい。

新高小学校いきいき活動放課後子ども教室【大阪府大阪市】

◆事業の目的・理念

- 都市化の影響、少子化や地域のつながりの低下等によって失われた、「暮らし」とともに子どもが育まれる環境を整え、健やかな育ちを支援する。
- 学校と地域との協力のもと、児童が多くのお話を学ぶことができる様々な体験や活動プログラムを通じて、児童の個性を生かし、自立性、創造性、社会性などを育み、児童の健全育成を図る。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	290日／年間	
参加人数	120人／1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	●	—
他事業との連携	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	—	—

教室の実施場所

- 新高小学校の普通教室（活動室）、グラウンド、体育館など

教室の開催日

- 課業期間中の平日：放課後～18時
- 土曜日・長期休業中：9時～18時

参加対象者

- 新高小学校の学区内に在住する小学生

申込み手続きなど

- 新高小学校いきいき活動室にて所定の申し込み用紙を提出。
- 利用料金は不要。ただし、災害補償制度運営費として児童1人あたり500円(年額)の保険料実費負担がある。



土曜日の将棋教室

活動内容

- 参加児童数が多い中で、限られた活動スペースを安全に活用し、充実した放課後活動とするため、部屋の中での通常活動だけではなく、様々な取り組みをおこなっている。
- 将棋連盟から講師を招いて月に1度、将棋教室を開いている。「いきいき」基準の検定を設け、認定証を発行している。
- 夏休みには、学校からプロジェクターを借り、多目的室で毎日上映会をして楽しみながら体を休めたり、校庭への水撒きついでに霧状の水をくぐる遊びをしたりしている。冬休みには、校内にあちこちにもうけたポイントを、学年縦割りグループを組んで目標時間により近い時間でゴールするタイムトライアル大会などを実施している。他にも遠足など色々なイベントがある。



体験プログラムの活用（アフリカ音楽体験）

新高小学校いきいき活動放課後子ども教室 活動予定表

日常活動	図画工作、手芸、折り紙、将棋、囲碁、オセロ、トランプ、ウノ、ブロック遊び、すごろく、パズル、コマ、けん玉、卓球、福笑い、ドミノ、ボール遊び、一輪車、鬼ごっこ等外遊び、紙芝居等
行事関係	
春休み	新入生体験参加
1学期	毎月第3土曜日「将棋教室」
夏休み	「いきいき遠足」「お楽しみ会」 PTAフェスティバル参加
2学期	新高幼稚園運動会(交流) クリスマスお楽しみ会
3学期	特別プログラム

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
(財)大阪市教育振興公社にて一括募集・採用
- 配置人数
『コーディネーター(嘱託指導員)』・登録：2名・配置：1名
『安全管理員(地域指導員)』・登録：23名・配置：15～16名
『ボランティア等(いきいきパートナー)』・登録：1名・配置：随時参加

事業を実施して

- 1教室分の活動室で100名を越える児童と一緒に活動しているため、安全面の配慮や楽しい活動への工夫に継続的に取り組む姿勢が培われた。
- 病院にかかるような怪我が少ないこと、毎日参加する児童が「楽しいよ!」と笑って言うこと、夏冬のイベントや遠足にはいつも100名を越える参加があることなどは成果といえる。これが指導員の励みにもなり、一層のチームワークの強化と創意工夫に繋がっている。
- 今後も、指導員だけでなく児童自身が強く安全意識を持って活動するよう指導していきたい。

東小路小学校いきいき活動放課後子ども教室【大阪府大阪市】

◆事業の目的・理念

- 都市化の影響、少子化や地域のつながりの低下等によって失われた、「暮らし」とともに子どもが育まれる環境を整え、健やかな育ちを支援する。
- 学校と地域との協力のもと、児童が多くの事柄を学ぶことができる様々な体験や活動プログラムを通じて、児童の個性を生かし、自立性、創造性、社会性などを育み、児童の健全育成を図る。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	290日／年間	
参加人数	45人／1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	●	—
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	—	—

教室の実施場所

- 東小路小学校の普通教室（活動室）、グラウンド、体育館など

教室の開催日

- 授業期間中の平日：放課後～18時
- 土曜日・長期休業中：9時～18時

参加対象者

- 東小路小学校の学区内に在住する小学生

申込み手続きなど

- 東小路小学校いきいき活動室にて所定の申し込み用紙を提出。
- 利用料金は不要。ただし、災害補償制度運営費として児童1人あたり500円(年額)の保険料実費負担がある。



活動風景：紙芝居

活動内容

- 地域指導員（安全管理員）には、その人特有の持ち味を持っている人がいる。平素はややマンネリ化した日々の活動になりがちであるが、このような指導員の持ち味や特技を活かした活動を積極的に進めていくことにより、日々の子どもの活動に大きな変化を与え、より楽しい活動に繋げていく。
- 音楽を得意とする指導員を中心に、歌集などから曲を選んで、歌詞を模造紙に大きく書き黒板に貼って、オルガンの伴奏に合わせて子どもたちが歌う。どんどんレパートリーを増やしていく。
- 新聞に掲載されている子ども向けの話を毎日指導員が交代で読み聞かせている。
- 百人一首大会や数独パズル。
- その他にも季節の変化に応じてその時々々の行事を実施している。



活動風景：歌を歌おう

東小路小学校いきいき活動放課後子ども教室 活動予定表

日常活動	読書、折り紙、ブロック遊び、伝承遊び、ビデオ視聴、クイズ、トランプ、オセロ、将棋、かるた、歌を歌う、紙芝居、読み聞かせ、ボール遊び、縄跳び・鬼ごっこ等外遊び、鉄棒、一輪車 等
行事関係	
春休み	新1年生を迎える会
1学期	こどもの日のお楽しみ会 たなばた祭りのお楽しみ会
夏休み	夏休みのお楽しみ会 いきいきパートナー(ボランティア)との交流会
2学期	秋のお楽しみ会、なわとび、 こままわし大会 冬休み・クリスマスお楽しみ会
3学期	百人一首かるた大会 節分お楽しみ会、ひな祭りお楽しみ会

コーディネーターや地域の方々などの参加

●採用・募集

(財)大阪市教育振興公社にて一括募集・採用

●配置人数

「コーディネーター(嘱託指導員)」 ・登録：2名 ・配置：1名
 「安全管理員(地域指導員)」 ・登録：7名 ・配置：3～5名
 「ボランティア等(いきいきパートナー)」 ・登録：1名 ・配置：随時参加

事業を実施して

- 新しく創意工夫した活動を導入することで、参加する子ども達の興味関心が高まり、日々の活動に変化を与えるとともに、より楽しい活動をつくりあげることができた。
- 指導員が積極的に種々の活動を推進していくことで、子ども達との人間関係が深まった。
- 今後の課題としては、指導員が入れ替わった際に今まで取り組んできた活動をどう継続していくか、といったことがある。
- 幅の出てきた子ども達の活動の安全を確保するために、学校や地域の諸団体の人々との連携を深め、安全管理をさらに徹底していく。

瓜破西小学校いきいき活動放課後子ども教室【大阪府大阪市】

◆事業の目的・理念

- 都市化の影響、少子化や地域のつながりの低下等によって失われた、「暮らし」とともに子どもが育まれる環境を整え、健やかな育ちを支援する。
- 学校と地域との協力のもと、児童が多くの事柄を学ぶことができる様々な体験や活動プログラムを通じて、児童の個性を生かし、自立性、創造性、社会性などを育み、児童の健全育成を図る。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	290日/年間	
参加人数	58人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	●	—
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	●	—

教室の実施場所

- 瓜破西小学校の普通教室（活動室）、グラウンド、体育館など

教室の開催日

- 課業期間中の平日：放課後～18時
- 土曜日・長期休業中：9時～18時

参加対象者

- 瓜破西小学校の学区内に在住する小学生

申込み手続きなど

- 瓜破西小学校いきいき活動室にて所定の申し込み用紙を提出。
- 利用料金は不要。ただし、災害補償制度運営費として児童1人あたり500円(年額)の保険料実費負担がある。



製作活動「破いた新聞にボンドを塗って…」

活動内容

- モノを大切にという意識を育てるため、廃材活用による作品づくりを行っている。
- 最近の主な作品は次のとおり。共同作品や個人作品など様々なものがある。
 - ・新聞のカラー刷りを利用して大きな木を作成。蛍光塗料を利用して昼夜の変化をもたせる工夫も。（「すてきな木」）
 - ・ティッシュや和紙で作った干支の色紙。338本のアイスクリームのスプーンで作った「輝くくじゃく」。スプーンが羽に。
 - ・使用済みのペットボトルをカラフルに着色した「マイペットボトル」。
- 廃材を家に持って帰ることのできる作品に仕上げる努力をすることで、保護者の理解も得るよう努めている。



完成作品「すてきな木」

瓜破西小学校いきいき活動放課後子ども教室 活動予定表

日常活動	読書、オルガン、工作、ビデオ鑑賞、ブロック、パズル、将棋、トランプ、カルタ、コマ回し、ボール遊び、縄跳び、鬼ごっこ、一輪車、遊具、砂遊び、フラフープ 等
行事関係	
春休み	新1年生の受入準備、教室の壁面製作
1学期	タペストリー製作、工作(雨と傘の絵描き工作)オセロ大会
夏休み	大型作品の共同製作、いきいきパートナー(ボランティア)の指導による手芸
2学期	クリスマスツリーの共同製作 お正月用「寿ばし入れ」作り
3学期	かるた、コマ回し、的あて大会

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
(財)大阪市教育振興公社にて一括募集・採用
- 配置人数
 - 『コーディネーター(嘱託指導員)』 ・登録：2名 ・配置：1名
 - 『安全管理員(地域指導員)』 ・登録：14名 ・配置：4～7名
 - 『ボランティア等(いきいきパートナー)』 ・登録：2名 ・配置：随時参加

事業を実施して

- 廃材活用を通じて、1人1人の小さな心がけや努力により地球環境問題の解決の糸口になることを子どもたちに理解させることを目標の一つとした。一見「ゴミ」と思われるものを廃棄するのではなく、モノの価値を最大限活かすことにより「モノを大切に」することの必要性を理解させることにつながった。
- ひとつの大きな作品をみんなで制作している期間、作品が日々変化していくことを通して、子ども達が努力と協調性の大切さを学び、また、作品を完成させることによって達成感や喜びを知ってもらうことができた。
- 環境問題に目を向けるきっかけにしてほしい。

港北放課後子ども教室(秋田県秋田市)

◆事業の目的・理念

- 放課後の子どもたちの安全・安心な居場所を確保する。
地域の方々の協力を得ながら、体験・交流・学習活動の機会を子どもたちへ提供し、心豊かで健やかに育まれる環境作りを推進する。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	289日/年間	
参加人数	86人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

- 主に秋田市立港北小学校に隣接する港北児童センター内で実施
※小学校のグラウンド等も活用

教室の開催日

- 月～金曜日 13:00～18:00
- 土曜日・長期休業日 8:30～18:00

参加対象者

- 市の区域内に住所を有する幼児、児童、生徒であれば誰でも利用できる
※主な利用者は港北小学校在籍児童(712名)で、低学年の利用が特に多い

申込み手続きなど

- 申込みせずに、いつでも、誰でも子ども教室を利用できるが、行事によっては、事前に参加申込みの必要な場合がある。



体育館でのドッジボールの様子。異学年混じって行うため、学年に応じた独自のルールがあり、事故の防止策となっている。

活動内容

- 毎日、100人近い子どもたちが来館し、日々の遊びや活動の中で、学年を超えた異学年交流が実施されている。
- スポーツ、運動遊び、ゲームなどの遊びや、簡単工作、地域の伝統行事、昔遊び等の体験活動、地域住民との世代間交流など、地域の特徴を踏まえた活動が実施されている。

平成21年11月の主な活動		
月日	行事名	内 容
11月 4日	チャレンジ・ランキング「りんご皮むき」	毎月、学年に関係なく取り組めるテーマを決め、順位を競い合う恒例行事 10月は、りんごの形に切り取られた紙を、はさみを使い、3分間で、どのくらい長くできるかを競いあう。 切り方によって、長さが変わるため、一生懸命考えながらチャレンジし、学年を問わず盛り上がる。
11月11日	スポーツチャンバラ	基本技だけでなく、武道の作法も学ぶ体験学習。日頃のストレスが発散できる人気行事
11月19日	おはなし会	地域ボランティアが、季節にちなんだ絵本の読み聞かせする毎月恒例行事 臨調感あふれる語り口に、子どもたちは想像力をフル回転させ、くぎ付けに
11月26日	おったりきったり「のびのびカメレオン」	折り紙や色画用紙を使った簡単工作 完成したもので友達と遊ぶ中で、思わぬ遊びに発展することも
11月 3日	レッツ! 火スポ	毎週火曜日をスポーツの日とし、地域のボランティアが様々なスポーツを指導 普段子ども教室を利用しない子ども、火曜日だけは別という人気行事
11月10日		11月 3日 トランポリン教室
11月17日		11月10日 卓球教室
11月24日		11月17日 ホッケー教室 11月24日 ミニテニス教室



図書室での様子。読書、ブロック遊び、折り紙、勉強など、思い思いの時間を過ごしている。

コーディネーターや地域の方々などの参加

- コーディネーター**
放課後子ども教室と放課後児童クラブを所管する秋田市教育委員会生涯学習室に2人配置している。
- 安全管理員**
教員資格又は保育士資格を有する安全管理員を3人配置している。
- 学習アドバイザー**
教員免許有資格者を配置し、子どもたちの自主学習を支援している。
- ボランティア**
教育委員会から委嘱を受けた運営委員会(15名)のほか、地域ボランティア組織である児童育成クラブ(16名)が、子ども教室の活動をサポートしている。

事業を実施して

- 放課後子ども教室の実施に伴い、行事の実施回数が増え、子どもたちに様々な体験活動の機会を提供している。
- 学習アドバイザーの配置に伴い、自発的に学習に取り組む習慣が定着している。また、地域の方を講師に、英会話を楽しみながら学ぶ、英語教室を定期的実施するなど、行事と学習活動の融合に取り組んでいる。
- 子ども教室、学校、地域の連携が強化され、「子どもたちを地域で見守り、地域で育てる」意識の向上につながっている。

高山放課後子ども教室(愛知県豊橋市)

～地域で育む心豊かな子どもたち～

◆事業の目的・理念

- 地域の方々の参画を得て高山小学校の児童の安全で安心な居場所づくりを推進する。
- 友だちや保護者、地域の方々とのさまざまな関わりの中で豊かな人間関係を育む。
- 利用する家庭も含め、地域全体で支える事業として展開する。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	200日/年間	
参加人数	33人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

- 高山校区市民館(児童室・集会室)・小学校校庭 などで実施

教室の開催日

- 当該小学校の授業日(月～金曜日) 授業終了時から午後6時まで

参加対象者

- 高山小学校に在籍する小学生

申込み手続きなど

- 申込書を市教育委員会青少年課へ提出
- 登録料年間600円(スポーツ安全保険料)



山と緑に囲まれて元気に遊びます！

活動内容

一日の活動の流れ



参加者はネコのバス停前に集合！歩いて隣の子ども教室へ



自分でカードを「出席」にします



まずは自主学習！



通学団で集団下校します



カードを戻して「さようなら」



自主学習の後は、友達と遊んで楽しく過ごします



クリスマスのリース作り

コーディネーターや地域の方々などの参加

●採用・募集

上記の「事業の目的」に賛同する方を募集し、高山放課後子ども教室運営委員会で協議の上、決定。

●配置人数

1回あたり、ボランティアスタッフ2～3名を基本とする。必要に応じて、増員したり、コーディネーターが参加する。

■運営委員には、自治会長・小学校教頭・小学校PTA会長などが参画。

事業を実施して

- 高山小学校は市内のどこからでも通学できる特認校制度を採用しているため、利用者の中には遠方から車で送迎を毎日している方も少なくない。高山放課後子ども教室ができたことにより、校区外の児童にとってお迎えまでの安全で安心な居場所にもなっている。
- 全児童が参加対象となるため、いろいろな遊びを通して異学年との交流が自然と行われ、高学年は低学年に思いやりの気持ちを持ち、低学年は高学年を敬うなど、子どもたちそれぞれの成長が見られる。
- 地域の方の協力を得て、郷土芸能を教わるなど、郷土の良さを認識することができた。

浦風こどもクラブ【兵庫県尼崎市】

～尼崎市児童育成環境整備事業～

◆事業の目的・理念

● 少子化と核家族化が進み、地域社会も変貌するなかで、児童の育成環境が大きく変化してきており、児童の成長にとって重要な要素である遊びや異年齢の児童とのふれあい、学習ができる安全な居場所の確保が求められている。また、学校週5日制の実施に伴い、学校、家庭、地域社会が一体となって、それぞれの役割を明確にし、相互に連携していくことがますます重要となっている。そこで、全児童を対象に学校施設を活用して、児童育成環境整備事業（こどもクラブ事業）を実施し、安全で安心な遊び場と異年齢の児童の交流の場を提供する。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	290日／年間	
参加人数	45人／1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	●	—
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	—	—

教室の実施場所

● 浦風小学校グラウンド、体育館、専用プレハブ施設ほか
 ※尼崎市では、各公立小学校に「こどもクラブ」を設け、児童育成環境整備事業を実施している。各小学校の余裕教室や専用施設を拠点に運動場や体育館などを利用し、自主事業を実施したり、自由遊びの見守り、指導を実施している。

教室の開催日

- 月曜日から土曜日（年末年始は休室）
 - 平日 午後1時から午後4時30分（学校の下校時刻まで）
 - 学校休業日 午前9時から午後4時30分（学校の下校時刻まで）

参加対象者

● 尼崎市に居住する小学生で、参加を希望する児童（一部例外を認めている）

申込み手続きなど

- 参加申込書に所定の事項を記入し、こどもクラブに提出する。（登録）
- 登録の有効期間は、申込日から年度末までとする。（参加費用は無料）
- 参加する日は、受付を済ませ事業に参加する。また、帰宅時は所定の手続きを行う。



じゃんけんゲームを行う様子

活動内容

● 児童育成環境整備事業実施要綱 第2条

事業内容は次のとおりとする

- ① 児童の安全な居場所の確保と遊び場の提供を行う事業
- ② 遊びに対する意欲及び態度の形成を図る事業
- ③ 遊びを通して思いやりの心や自主性、社会性及び創造性を培う事業
- ④ 学ぶ意欲のある子どもに対して、学習の場の提供を行う事業
- ⑤ 家庭や地域団体等との協働により行う遊びと交流を行う事業
- ⑥ その他児童の健全育成上必要な活動を行う事業

● 児童育成環境整備事業実施要領 5活動内容

要綱第2条に定めるところにより、次の活動を行う。

- ① 文化的な活動
- ② 運動的な活動
- ③ 自主的な活動
- ④ 体験的な活動
- ⑤ 伝承的な活動

平日の1日の流れ

- 13：00～ ・順次、参加受付
 ・退室時刻等を記入したカードを提出させ、指導員が確認
 ・参加児童は参加リボンを付けて自由遊び又は自主学習を行う
 ・イベント活動に参加
 ・ルールを守り、異年齢で遊びを楽しむ
- 15：00頃 ・早退児童は集まり、できるだけ集団で帰宅させる
- 15：30頃 ・参加リボンを所定の場所に戻し、カードを持って帰る
 ・他児童は遊びの続きを楽しむ
- 16：00頃 ・遊具の片付け、室内の清掃
- 16：30 ・退室
 ・参加リボンを所定の場所に戻し、カードを持って帰る
 【冬期は16：00退室】

学校休業日の1日の流れ

- 8：45 ・学校開放職員等が開門、警備解除、開錠等
 - 9：00～ ・参加受付開始
 ・退室時刻等を記入したカードを提出させ、指導員が確認
 ・参加児童は参加リボンを付けて自由遊び
 ・イベントの準備
 - 10：00頃 ・運動場、体育館でのイベント活動、各種団体との共催事業
 【イベントは不定期】
 - 11：40頃 ・イベント活動に参加
 ・ルールを守り、異年齢で遊びを楽しむ
 ・他児童は遊びの続きを楽しむ
 ・遊具の片付け、室内の清掃
 ・退室
 ・参加リボンを所定の場所に戻し、カードを持って帰る
 - 12：00～ ・弁当持参の留守家庭児童は昼食
- 【午後は平日に準ずる】
- ・共催事業や集団遊びがあれば午前と同様
 - ・14：00からは学校開放事業開始

コーディネーターや地域の方々などの参加

- **採用・募集** コーディネーターは、こどもクラブ・児童ホーム責任者として、公募、試験により採用している。（児童ホームは放課後児童クラブ）。資格は、教員免許又は保育士資格を有し、5年以上の実務経験を有する者。
- **配置人数** 責任者のほか、有資格の指導員（学習アドバイザー）1名と無資格の補助指導員（安全管理員）2名を配置。3人が出勤する体制としている。
- **職員研修** 集合研修のほか、ブロック研修、責任者別研修などを実施。児童ホームとの連携や合同行事の打ち合わせなどを実施している。

事業を実施して

- 学校、保護者、地域、関係機関と連携し、事業を実施している。（例：子ども会、母親クラブ、PTA、ボランティア団体等）今後も、更に、これらとの連携を深めていくほか、他の団体や地域の方々にも本事業をPRし、地域に根ざした事業としていきたい。

坂本放課後子ども教室きらきらクラブ【愛媛県松山市】

～子どもが「たくましく・美しく(校訓)」輝けるように～

◆事業の目的・理念

- 地域の方々の協力を得て、坂本小学校の子どもが補充学習や体験学習、スポーツ、文化活動等、放課後に安心して活動できる機会や場所を提供し、心豊かで健やかな子どもの育成を図る。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	212日/年間	
参加人数	21人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

- 坂本小学校の図書室、図書室前オープンスペース、パソコン室、図工室、家庭科室、多目的室、体育館、運動場など(学校が全面的に協力)

教室の開催日

- 月曜日 14:00～17:00 ● 火曜日～金曜日 15:00～17:00
※必要に応じて 13:00～17:00
- 春休み、夏休み中は、月曜日～金曜日 9:30～11:30

参加対象者

- 坂本小学校の1年生～6年生

申込み手続きなど

- 学校を通して案内文書・登録申込書などを配布し、参加登録手続きをする。
- 財団法人スポーツ安全協会のスポーツ安全保険に加入。子どもは年間保険料600円を実費負担。スタッフは、きらきらクラブの予算で加入。



夏休みお楽しみイベント「そうめん流し」

活動内容

- 出席した子どもは、最初に宿題にとりかかる。…学習アドバイザーがサポート。
- パソコン教材「ドットコムキッズ」による国語・算数のプリント学習を自主的に進める。
(オリジナルのチャレンジカード・修了証を作成) …そのほかにも、計画的に学習機会・教材を準備。
1年生は、たし算・ひき算の繰り上がり・繰り下がりマスターするための「算数プリント」にチャレンジ。
2年生以上は、「九九マスター」にチャレンジ。…どちらも、チャレンジ・修了したご褒美は、万華鏡工作セット。
- 宿題・自主学習ができれば、自由に遊んで過ごす。
読書、オセロ、トランプ、かるた、折り紙、あやとり、ジグソーパズル、おはじき、ボードゲーム、ドミノ、自由工作、など。
…冬は毛糸を使って、指編みのマフラーや、リリアン調の帽子編みが流行。(高齢者ふれあい・いきいきサロンから道具を拝借)
- 懇談会などで全校一斉午後1時下校のときには「お楽しみイベント」を実施。(以下、抜粋して紹介)
○おやつ作り(登録児童の保護者の協力と指導で)
○体育館で遊ぼう(坂本公民館の協力で)
○すざりんと芸術遊び(愛媛大学 杉林先生の指導で)
○ゲートボール教室(坂本体協ゲートボール部の指導で)
○日食を観察しよう(教頭先生の指導で)
○そうめん流し(夏休みに民生児童委員の協力で)
○スライム作り(地域学習振興課 立石先生の指導で)



宿題を済ませてから…



教えあって毛糸で帽子編み



夏休みお楽しみイベント「日食観察」

コーディネーターや地域の方々などの参加

- 採用・募集
 - ・ コーディネーター：地域の実情に詳しく、学童教育に情熱を有し、各団体・保護者と良好な連携を築ける人物を、実行委員会が選定する。
 - ・ 学習アドバイザー：有資格者や指導能力の高い人物を実行委員会が選定する。
 - ・ 安全管理員：参加登録児童の保護者を中心に、地域から募集する。
- 配置人数
1回あたり、学習アドバイザー2名、安全管理員1名を基本とする。必要に応じて、増員したり、コーディネーターが参加する。

事業を実施して

- 全校児童のほぼ半数が参加登録。低・中学年の参加率が高い。
- 習い事のない日の放課後に、「きらきらクラブ」に参加して、友だちと一緒に勉強し、遊んで過ごせることが好評を得ている。習い事のある日も、「きらきらクラブ」で宿題だけ済ませて下校する子どももいる。学習する場として定着している。
- 保護者は積極的に安全管理員スタッフとして協力している。自分の子どもだけでなく、すべての子どもが仲よく遊び、ケガをしないように見守り、指導に協力している。
- 坂本地区の子どもが元気で明るく過ごせるように、地域の皆さんの協力をいただき、引き続き運営していきたい。

こどもひろば【高知県高知市】

～安心・安全なこどもの居場所を目指して～

◆事業の目的・理念

●放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものである。

実施場所	学校内	学校外
開催日数	●	—
参加人数	228日／年間 23人／1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
学習活動の特徴	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部

教室の実施場所

●高知市立浦戸小学校の運動場、体育館など

教室の開催日

- 月～金曜日 放課後～17:00
- 土曜日・日曜日 地引網等のイベント時のみ開催

参加対象者

●浦戸小学校区内に在住する小学生

申込み手続きなど

- 学校を通じて配布される所定の参加申込書により申込み手続きを行う。
- 参加料金は不要。ただし、必要に応じて実費負担がある。



これから何しようかな！

活動内容

- 平日の主な活動～運動場でサッカーやバスケットボールをしたり、遊具で遊ぶ。
- 土曜日・日曜日のイベント等～つり大会、親子料理教室、地引き網、夏祭り等。

【講師を招いての特別教室】

〈マナー教室〉

有資格者の講師を招き、挨拶の作法から浴衣の着付け等に至る本格的な講座に子どもたちも真剣に取り組めたことが成果となった。

〈折り紙教室〉

定番のツル等に加え、干支の動物から各月の慣習（例えば節分等）に関わる動物等まで折り方を教わった。次回の教室の開催を心待ちにする程に子どもたちに好評であった。日本の伝統文化を楽しく学べる有意義な講座となった。

〈親子料理教室〉

クリスマス前に親子でケーキ作りを行った。講師を3人招いたことで各親子に指導が行き渡り、好評であった。

〈夏祭り〉

子どもたちが出店を行い、招いた地域の方にお客さんとしてゲーム等を楽しんでいただき、子どもたちが自分たちで作った作品を景品としてプレゼントした。地域の方との繋がりをより深めることができた。



サッカーを楽しむ子どもたち



校庭の遊具で遊ぶ子どもたち

コーディネーターや地域の方々などの参加

●採用・募集

浦戸小学校放課後子ども教室実行委員会が募集し、採用している。

●配置人数

安全管理員を必ず1名配置している。

■ボランティアとして参加する方の主な所属団体

- ①浦戸ふれあいセンター
- ②民生児童委員
- ③体育会
- ④青少年育成協議会
- ⑤町内会連合会
- ⑥浦戸地区PTA
- ⑦交通安全会議
- ⑧コミュニティー

事業を実施して

- 1日当たりの利用者数が20～30人程度であり、学年問わず全員が友達になれる。そのため、子どもの自主的な異学年同士の交流が活発となり、子どもたちそれぞれの個性や社会性が育まれている。
- 放課後子ども教室における異学年同士の交流により、子ども同士の連帯感が醸成され、学校生活にもその良好な関係性が波及している。そのため、学校生活と放課後の居場所が一体のものとなり、子どもの成長・発展に寄与している。
- 太平洋を眼前に有する地域の特徴を活かして、地引網等のイベントを地域の方々と一緒に協力し合って実施している。これにより、異学年同士のみならず異世代間交流が可能となり、社会勉強としても役立っている。また、このことが地域の拠点である学校の位置付けを明確にし、地域の一体性にも貢献している。

宮崎西小放課後子ども教室(西小っ子クラブ)【宮崎県宮崎市】

～地域の子どもは地域で育てる～

◆事業の目的・理念

●宮崎市の小学校区において、放課後や週末等に学校の諸施設等（体育館、校庭、余裕教室等）や公民館等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動・地域住民との交流活動等の取り組みを実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

実施場所	学校内	学校外
	●	—
開催日数	253日/年間	
参加人数	37人/1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム型
	●	—
学習活動の特徴	自主学習	学校と連携
	●	—
他事業との連携	児童クラブ	支援本部
	—	—

教室の実施場所

- 宮崎西小学校の余裕教室、運動場、体育館など
- 学校前にある里山公園 ●校区内の各施設等

教室の開催日

- 月～金曜日 15:00～17:00 ●土曜日 10:00～12:00
- スーパードッジボール教室 毎週土曜日 午前7:30～9:00
- 子ども書道教室 月3回土曜日 午前8:00～10:00
- 子ども生け花教室 第2・第4土曜日 午前9:30～11:00
- 長期休業日等は休み

参加対象者

- 宮崎西小学校の校区内に在住する幼、小、中学生

申し込み手続きなど

- 学校を通じて参加申込書を配布、直接教室に申し込み。



子ども書道教室の様子



子ども生け花教室の様子



スーパードッジボールの様子



普通の西小っ子クラブの様子

活動内容

- 平日の放課後は、宿題を終え、教室で自由遊び、その後、戸外遊び
- 毎週土曜日、中学生がスーパードッジボールに参加指導 ●月一回程度土曜日に、地域交流のイベントに参加
- 定例行事として、生け花教室と書道教室を実費にて開催



田植えの様子



稲刈りの様子



もちつきの様子

平成21年度の主な活動予定表

4月	里山探検（危険予知訓練）	10月	大塚台クリーン作戦
5月	田植体験学習		料理教室（ちまきづくり）
6月	里山探検	11月	しめなわ作り
7月	レクリエーション大会	12月	もちつき大会
8月	宿泊研修	1月	チャレンジマラソン大会
	小刀教室（里山公園）	2月	ふれあいレクリエーション大会
9月	稲刈り体験学習	3月	里山の樹木調べ

コーディネーターや地域の方々などの参加

●採用・募集

小学校関係者、PTA・子ども会役員、学生、地域の方へチラシを配って参加を呼びかけている。

●配置人数

基本的には学習アドバイザー2名 安全管理指導員2名を配置。学生、地域のボランティアが都合のいい日に参加する。

●協力団体

宮崎西小PTA、生目南中PTA、大塚台子ども会育成連絡協議会、地区社会福祉協議会、地域まちづくり推進委員会の行事に参加する場合は地域の方々の協力をもらう。

事業を実施して

- 毎日開設する事により児童の色々な様子が見え、問題を抱えている児童の居場所にもなっているのだと実感する。
- 地域の行事に参加するようになり、今までにない経験を沢山つむ事ができた。また、地域活性化にも子どもの存在が不可欠と感じた。
- 保護者からは、「働いているので子どもの居場所を作っていただき大変ありがたい」「友達もでき宿題も済ませてくれるので感謝」との声が寄せられている。
- 地域の中で子ども達をみんなで見守っていくという流れが出来てきた。

第2回放課後子ども教室推進表彰教室について

●表彰要件

「放課後子ども教室推進事業」の国庫補助金を受けている放課後子ども教室のうち、優れた取組を行っており、他の模範と認められる放課後子ども教室であり、平成20年度において200日以上実施、平成21年度において200日以上の実施を予定していること。ただし、特段の理由がある場合は、開催日数が200日未満の場合でも推薦できるものとする。

●表彰教室について

区分	自治体数	表彰教室数
都道府県(47)	42	48
政令市(18)	6	17
中核市(41)	6	6
合計	54	71

※平均教室回数(H20・H21平均) 216.6日

※表彰教室が2教室以上ある自治体

東京都 7教室(該当教室数 308教室)
横浜市 2教室(該当教室数 349教室)
名古屋市 6教室(該当教室数 253教室)
大阪市 6教室(該当教室数 298教室)

●表彰式について

平成21年11月24日(火)の放課後子ども教室全国研究大会冒頭で実施。

於：文部科学省講堂



放課後子ども教室について

●実施体制

都道府県（指定都市・中核市）

●推進委員会の設置

【放課後対策の総合的な在り方を検討】

事業の実施方針、安全管理方策、広報活動方策、事業実施後の検証・評価など

委員構成

行政・学校・社会教育・児童福祉関係者、学識経験者など



●コーディネーター・安全管理委員等研修の実施

市 町 村

●運営委員会の設置

【活動内容や運営方法などを検討】

事業計画の策定、活動プログラムの企画、人材確保方策、広報活動方策、安全管理方策、事業実施後の検証・評価など

委員構成

行政・学校・社会教育・児童福祉関係者、PTA、事業関係者など



●コーディネーターの配置

●安全管理委員等研修の実施

コーディネーター

学校や関係機関との連絡調整、人材確保、人員配置、活動プログラムの作成、保護者を含めた地域住民への参加の呼びかけなどを行う総合的な調整役

人 材

生涯学習インストラクターや民生委員・児童委員など



●事業目的

すべての子どもを対象として、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用し、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。

放課後子ども教室

●地域の実情に応じて、学習・体験・交流・遊びなど様々な取組ができます。

学習アドバイザー

子どもたちの学習をサポートする

人材

- 教職を目指す大学生
- 退職教員
- 社会教育団体関係者
- 民間教育事業関係者
- 地域住民など



安全管理員

子どもたちの安全管理を図る

人材

- 子どもたちの健全育成に情熱を持つ地域の方など



活動内容

学び

予習や復習、補習などの学習活動



体験

スポーツや文化芸術活動などの体験活動



交流

地域の大人や異年齢の子どもとの交流活動



遊び

剣玉やお年玉などの昔遊びや様々な遊び



実施場所

学校

(余裕教室や図書館、体育館)

公民館など



運営にあたり

●事業費負担割合

■ 都道府県・市町村

補助対象経費		
国 1/3	都道府県 1/3	市町村 1/3

■ 指定都市・中核市

補助対象経費	
国 1/3	指定都市・中核市 2/3

●指導者の謝金

1人1時間あたりの謝金について、コーディネーター1,480円、学習アドバイザー1,480円、安全管理員1,330円までを補助の対象としています。

市町村の負担で上限額を超える謝金の設定をすることもできます。

●人員配置

安全管理員など、人員の配置については各教室の実情に応じて必要な人数の配置ができ、それら全てが補助の対象となります。

●開設日数

年間を通じての開設が理想ですが、何日以上開催しなければならないという制限はありません。

●備品

新規に教室を開設するにあたり、当該年度に限り、机やロッカーなど必要な備品を補助対象経費として整備することができます。

●補助の対象とならない経費

子どもたちのおやつ等の飲食物代、実費相当の保険料・材料代、また運営委員会開催等にかかる飲食費（地方公共団体が認める会議費以外のもの）及び交際費は補助の対象外となります。

着実に増えています「放課後子ども教室」

平成21年度は、平成19年度から約2,500箇所増える予定で、着実に事業が浸透してきております。

平成 19年度	6,201箇所 (851市町村)
平成 20年度	7,919箇所 (1,015市町村)
平成 21年度	8,719箇所 (1,065市町村)



推進委員会・運営委員会の設置を

教室運営は、地域や学校教育関係者の協力が不可欠です。事業を円滑かつ効果的に進めるためにも、委員会の設置と定期的な開催をお願いします。また、単独で委員会を設置できない場合は、既存の委員会を充てることもできます。

なお、翌年度に教室を開催するにあたって、先に委員会を設置し円滑な事業の実施などを検討する場合も補助対象となります。

放課後子ども教室推進表彰要項

平成20年11月11日
生涯学習政策局長決定

1. 趣旨

文部科学省「放課後子ども教室推進事業」の国庫補助金を受けている放課後子ども教室のうち、優れた取組を行っており、他の模範と認められる放課後子ども教室に対し、その功績をたたえ、文部科学省生涯学習政策局長が表彰する。

2. 被表彰放課後子ども教室の対象

表彰の対象は、次の(1)及び(2)に該当する放課後子ども教室とする。

- (1) 文部科学省「放課後子ども教室推進事業」の国庫補助金を受けていること。
- (2) 前年度において200日以上実施しており、今年度についても200日以上の実施を計画していること。ただし、特に取組が優れている等特段の理由がある放課後子ども教室については、各年度の実施日数が200日未満の場合でも、理由を添えて対象とすることができるものとする。

3. 推薦の方法

- (1) 文部科学省における推薦依頼
文部科学省は、上記2を満たす放課後子ども教室のうち、都道府県、指定都市、中核市(以下、「都道府県等」という。)が表彰するに相応しいと判断する放課後子ども教室について、都道府県等に対し推薦の依頼を行うものとする。
- (2) 都道府県等における推薦方法
都道府県等は、上記2に該当し、他の模範と認められる放課後子ども教室について、別紙推薦書を文部科学省に提出するものとする。(なお、推薦がない場合は提出する必要はない。)

推薦教室数については、1都道府県等あたり1教室とし、都道府県については、都道府県が直接実施する放課後子ども教室及び都道府県から補助金を受けている域内の市区町村の放課後子ども教室を合わせて1教室とする。なお、上記2に該当する放課後子ども教室(2(2)のただし書きの放課後子ども教室、当該表彰状の交付を受けた放課後子ども教室は除く)の数が50教室を超える場合は、以下の表に従い、推薦教室数を追加できるものとする。

追加推薦教室数	0	1	2	3	4	5
該当教室数	1～50	51～100	101～150	151～200	201～250	251～300

※該当教室数301以上についても、該当教室数50につき、推薦教室数1を同様に追加できるものとする。

4. 被表彰放課後子ども教室の決定

上記3(2)により推薦された放課後子ども教室について、文部科学省で確認の上、生涯学習政策局長が決定するものとする。

5. 交付歴について

当該表彰状の交付は1放課後子ども教室あたり1回限りとする。
(他の表彰等の受賞歴は問わない。)

6. 表彰状交付の方法

別紙様式(略)による表彰状を交付する。なお、表彰状交付式の日程等については、別途連絡する。
(交付式への出席にかかる交通費等については自費とする。)

7. 本表彰にかかる事務

文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課において処理するものとする。